

介護予防・日常生活支援総合事業の基盤整備における第1層協議体
(平成30年度 第1回)

日 時：平成30年8月7日(火) 午後2時～ 4時
場 所：枚方市市民会館 3階 第3会議室

〈 案 件 〉

1. サービス事業等の実績報告について

資料1 介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年度サービス事業等の実績報告
参考資料 ・大阪府枚方市2018年度(平成30年)介護保険法改正における訪問介護事業所の実態調査アンケート報告書

2. 第2層協議体(元気づくり・地域づくり会議)の設置状況報告について

資料2-1 元気づくり・地域づくり会議の設置状況
資料2-2 元気づくり・地域づくりプロジェクトの地域課題・取り組みについて
資料2-3 元気づくり・地域づくりコーディネーターアンケート集計結果について
資料2-4 平成29年度元気づくり・地域づくりプロジェクト活動内容

3. その他

参考資料 ・高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果(平成29年度)
・高齢者居場所づくり事業 登録及び補助金交付申請の手引き
・高齢者居場所づくり事業 登録一覧

事務局：枚方市地域包括ケア推進課・高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)

介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年度サービス事業等の実績報告



枚方市 長寿社会部
地域包括ケア推進課

サービス事業の実績

(件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訪問型	予防訪問事業	2	124	274	441	593	688	897	1045	1187	1286	1410	1545
	生活援助訪問事業	0	0	7	16	24	37	50	54	61	68	69	76
	活動移動支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	通院等移動支援事業	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
通所型	予防通所事業	2	114	311	432	618	704	849	1052	1155	1304	1357	1606
	教室型通所事業					3	4	7	7	8	6	4	2
その他	リハ職訪問通所指導事業		4	8	10	11	14	17	17	12	7	6	6
	リハ職行為評価事業	2	5	13	22	13	8	12	12	6	3	5	9
	栄養士派遣指導事業	0	2	4	4	2	4	4	5	4	4	2	0
介護予防ケアマネジメント		2	187	404	907	766	926	1115	1315	1474	1588	1650	1779

リハ職訪問通所指導事業は5月10日開始、リハ職行為評価事業は4月27日開始、教室型通所事業は8月開始

生活援助訪問事業の効果

- 生活支援員養成研修修了者の平均年齢は65歳、就労している生活支援員は、「この歳になって」の後に「**社会に必要とされていることが嬉しい。**」「**社会とつながることができた。**」や「**仲間や友達ができた。**」など、生活支援員の生きがい、役割の獲得につながっている。

【生活支援員養成研修修了者数】

平成28年度：299人 平成29年度：219人 合計：518人

- 事業利用者の2割程度は、一定期間（3～6か月）経過後に目標を達成している。

【自立の支援に向けて】

地域包括支援センター職員が、ケアプラン作成時に明確な達成可能な目標と期間を設定し、利用者を含む支援チーム全員が目標を達成するための支援を行っていることから、目標達成につながっている。



リハ職行為評価事業の実績・効果

【 実績からの考察 】

- 要支援高齢者の自立支援には、買物・掃除・調理等の家事の支援とリハ職行為評価事業等のリハビリテーション専門職が生活行為評価を関連づけて支援チームで取り組むとよい傾向が示唆された。
- 75歳以上の要支援認定者では、移動行為（外出、買物、散歩、畑や集いの場の往来等）の評価を求める利用者が多く、次に掃除行為が多かった。後期高齢者においても外出や参加の支援が自立促進の鍵となる傾向が示唆された。

【 成果 】

- 事業の発展に役立つ実績と事業の形式が完成

リハ職訪問通所指導事業の効果

- 毎回のように修了式があり、目標を達成していく経過や状況を目の当たりにしていることから、全員が自分が修了する時（目標達成時）をイメージしながら事業に参加している。
- **修了時の目標達成率 = 93.3%（37人）**



利用者の変化を見逃さない工夫（行動変容の促進）

- ・万歩計の配布
- ・目標達成度主観評価表
- ・修了証書授与式

全12回の実施を終えた、事業修了者



介護予防ケアマネジメント

- 一人ひとりの自立支援を考え、サービスのマッチングではなく、基本チェックリストを活用し、地域資源も含めた様々な資源から支援している。
- 自立支援型地域ケア会議を活用し、社会資源の開発、協力機関（介護保険事業所等）の拡充に努めている。

	平成28年度	平成29年度
65歳以上人口	107,016人	109,455人
高齢化率	26.4%	27.1%
要支援認定者数	7,292人	7,119人
ケアプラン件数	49,463件	49,215件

ひらかた元気くらわんか体操の実績

- 週1回集まって体操を実践するグループ数：23
- 体操を取り入れている介護保険事業所数：51
- 活動の中で体操を取り入れている団体等：104
(うち、高齢者居場所51か所)

その他、イオン枚方店と平和堂（アルプラザ）で地域包括支援センターが定期的（毎週）体操を実施

毎朝8時50分からFMひらかたで放送



ひらかた元気くらわんか体操の効果

- 4～6か月毎に5つの測定等で、多様な効果を検証

体力測定（4種）

- ①握力測定（全身の筋力変化の指標）
- ②長座位体前屈測定（全身の柔軟性の変化の指標）
- ③開眼・片足立ち測定（バランス感覚の変化の指標）
- ④ 2 STEP検査（ロコモ度“転びやすさ”の変化の指標）

認知機能測定

かなひろい検査（注意力の変化の指標）

主観的健康観の測定

5段階で評価（健康度の変化の指標）

主にラジオ体操の効果

長座位体前屈測定・柔軟性の変化

n=206人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の全身の柔軟性が向上
*** $P < 0.001$

体前屈
(cm)

36.0

34.0

32.0

30.0

28.0

事前

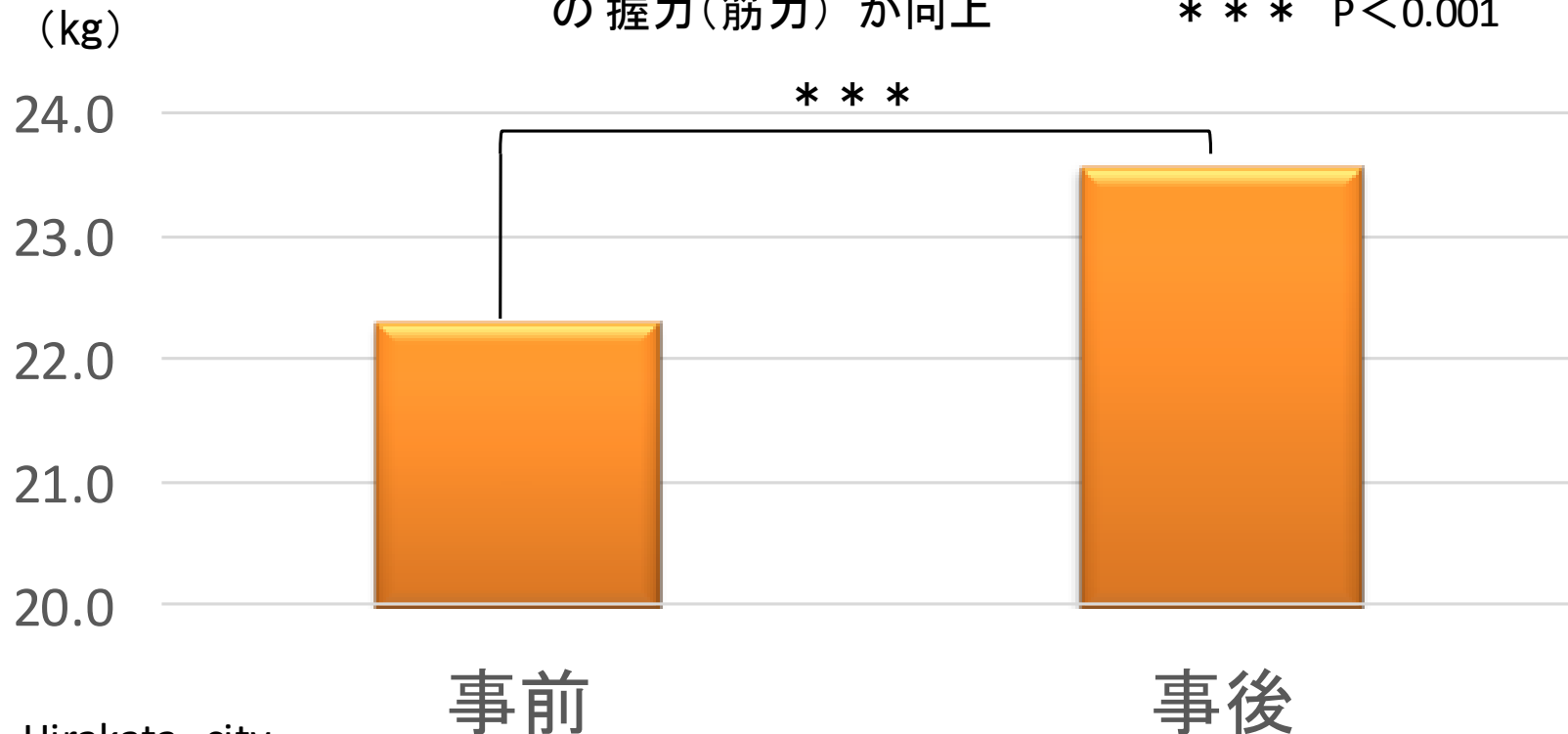
事後

主にロコモ体操の効果

握力測定・筋力の変化

n=279人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の握力(筋力)が向上
* * * $P < 0.001$

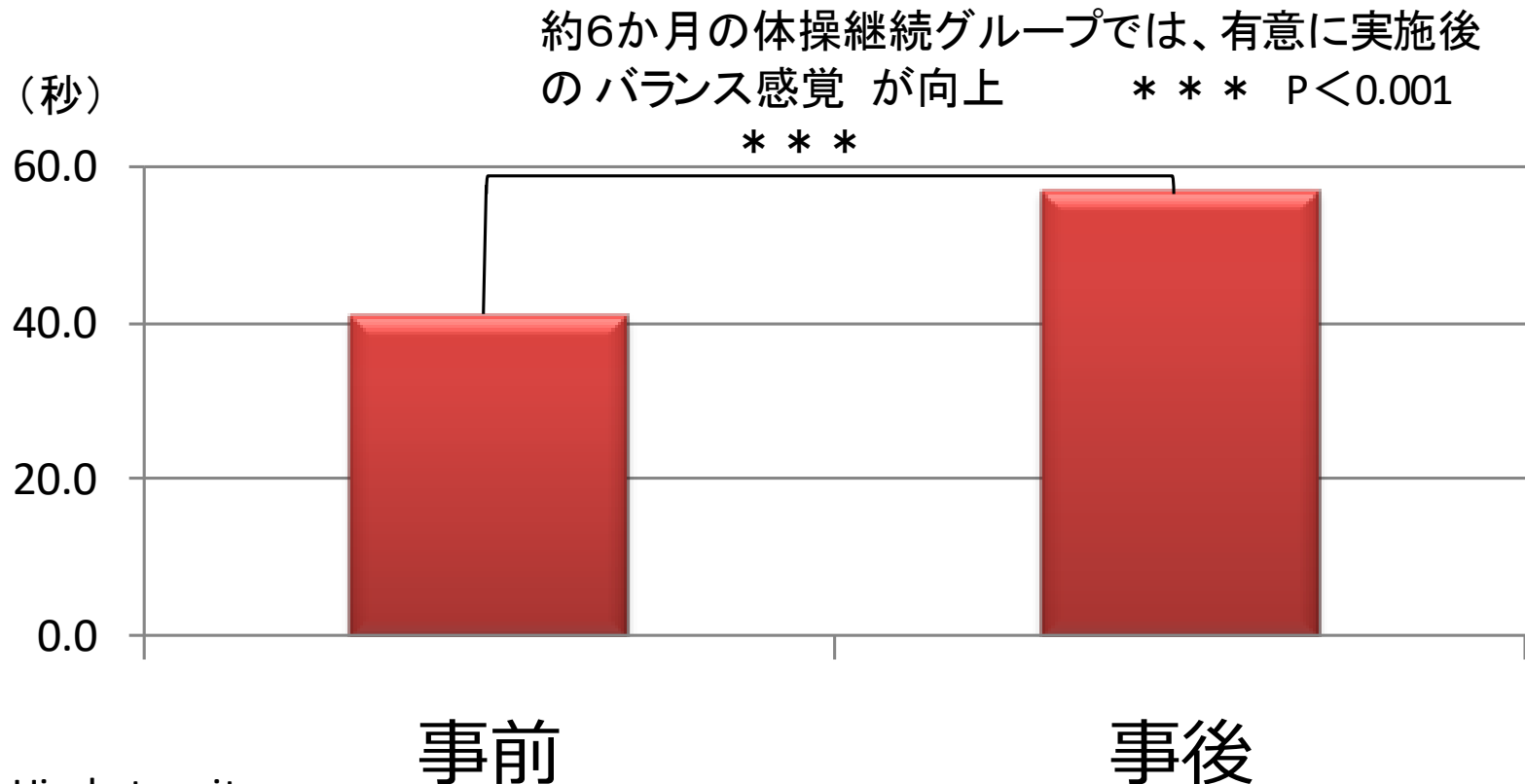


Hirakata city

主にロコモ体操の効果

片足立ち測定・バランス感覚の変化

n=291人



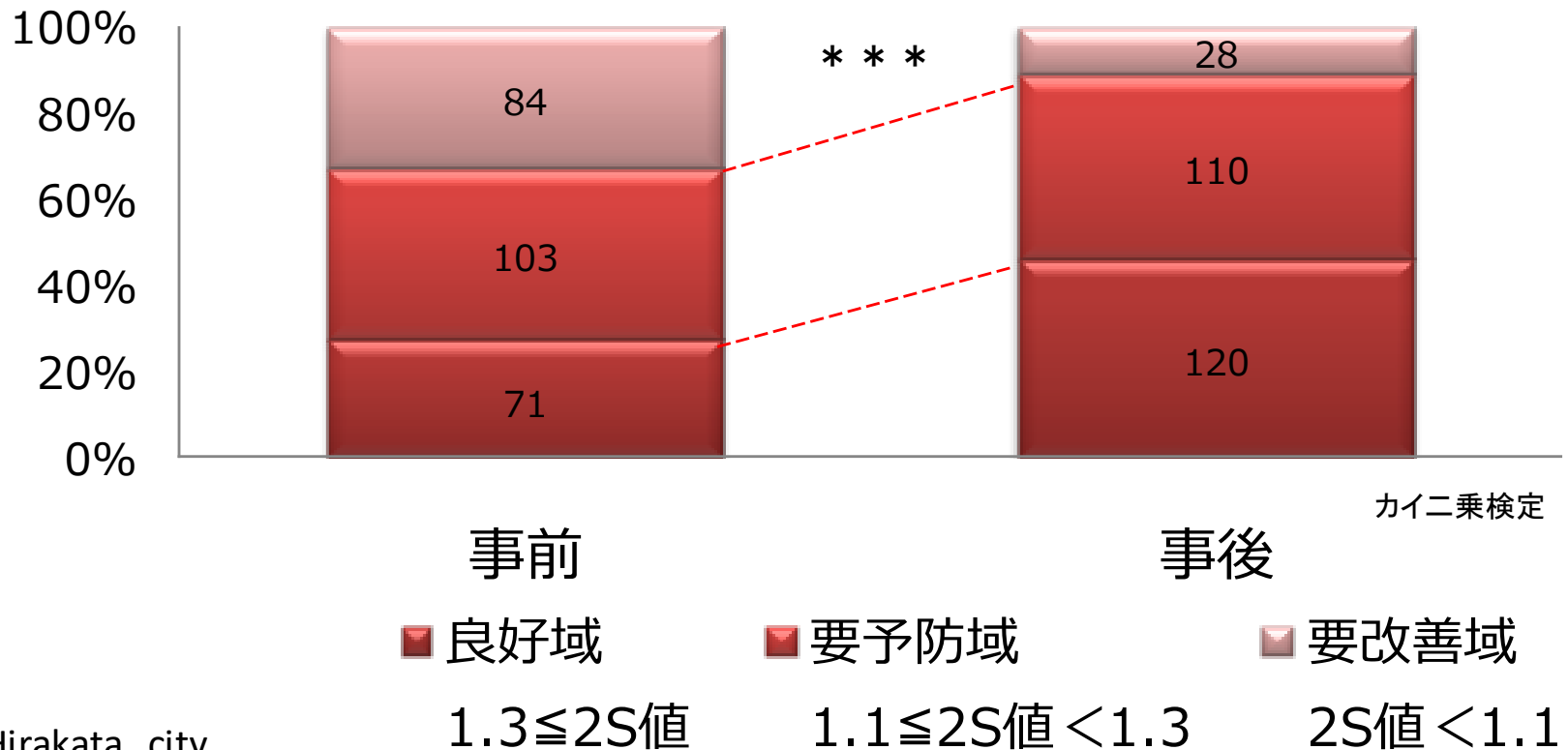
Hirakata city

主にロコモ体操の効果

ロコモ度測定「2 STEP」転びやすさの変化

n=258人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後のロコモ度(転びやすさ)が改善 * * * $P < 0.001$



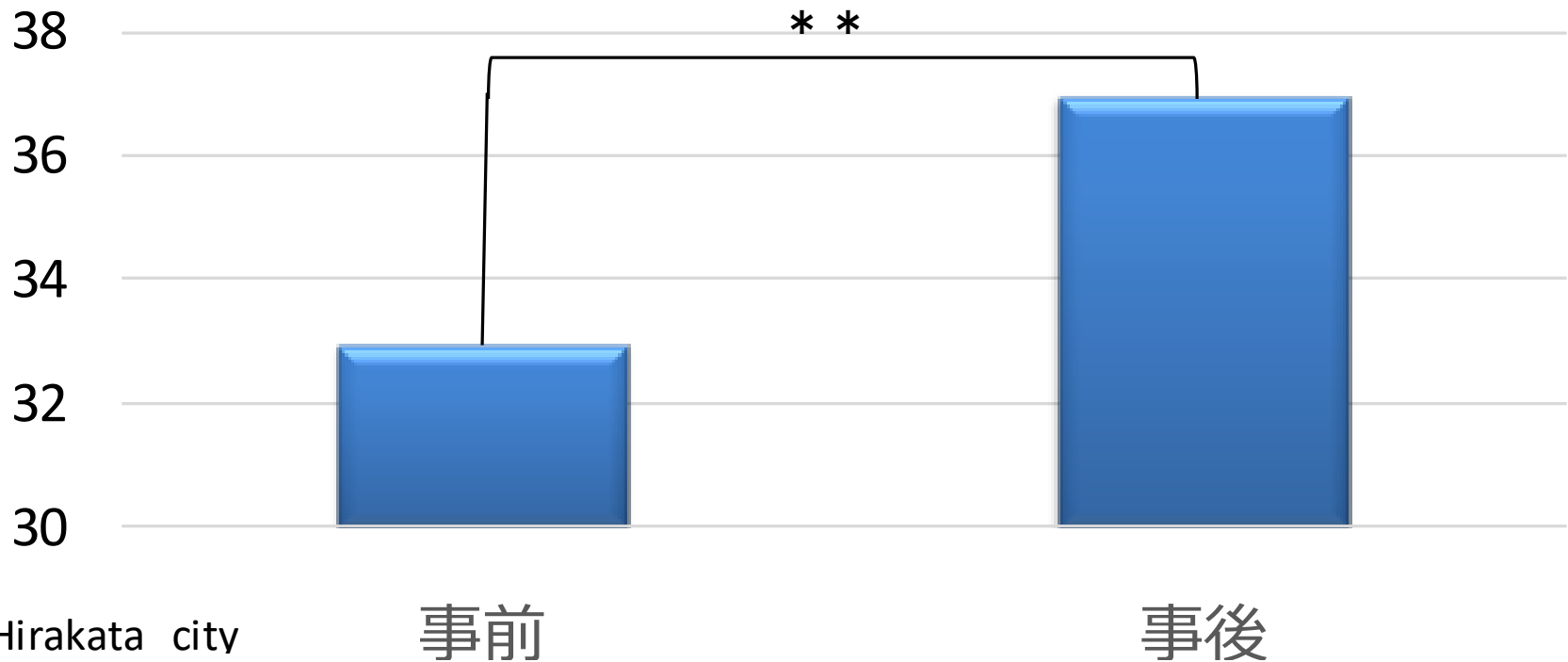
主にひらかた体操の効果

かなひろい検査・認知機能（注意力）の変化

n=87人

かな選択数
(個)

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の
の 注意力(認知機能)が向上 * * $P < 0.01$

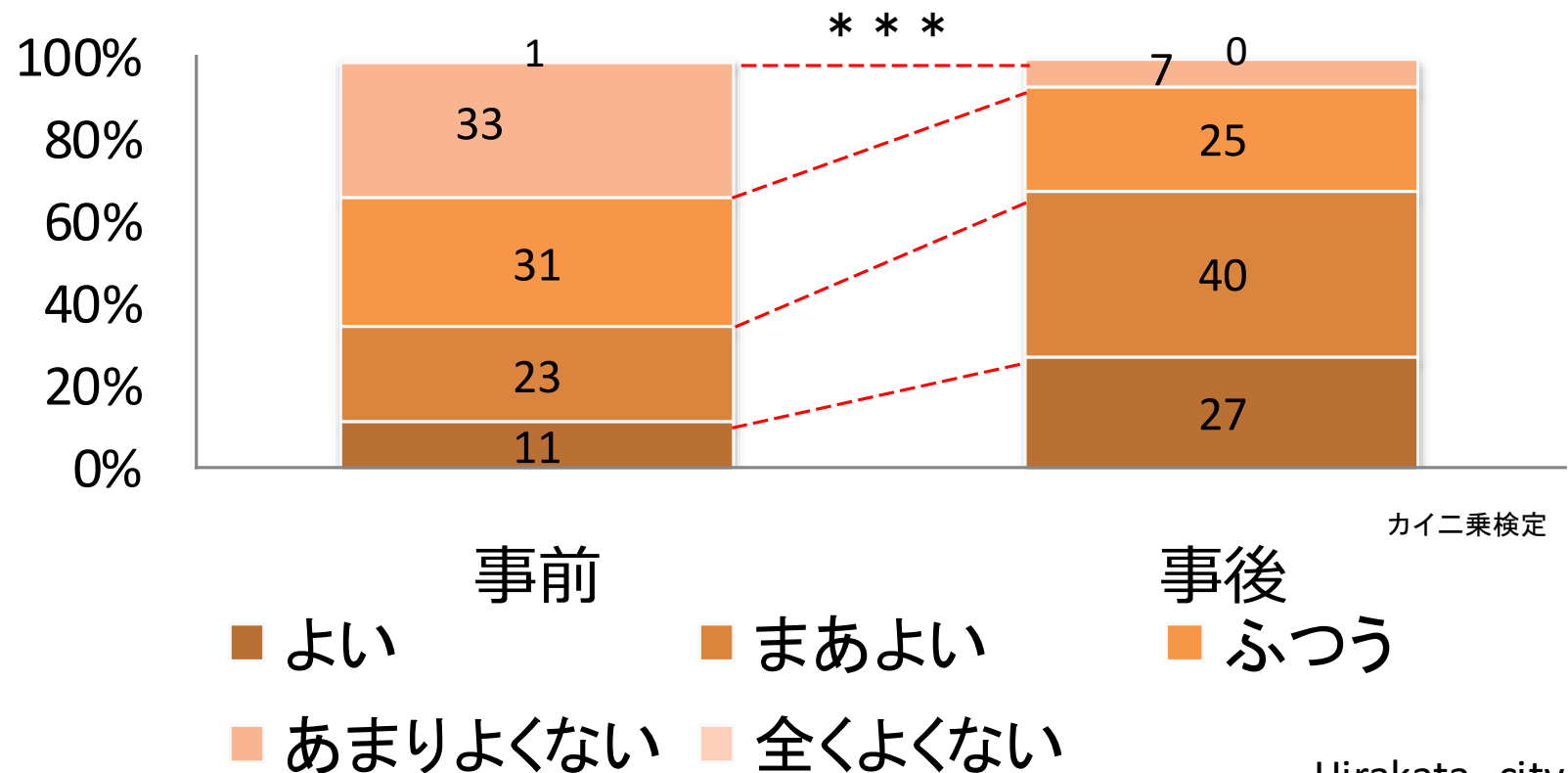


集いグループ介護予防活動の効果

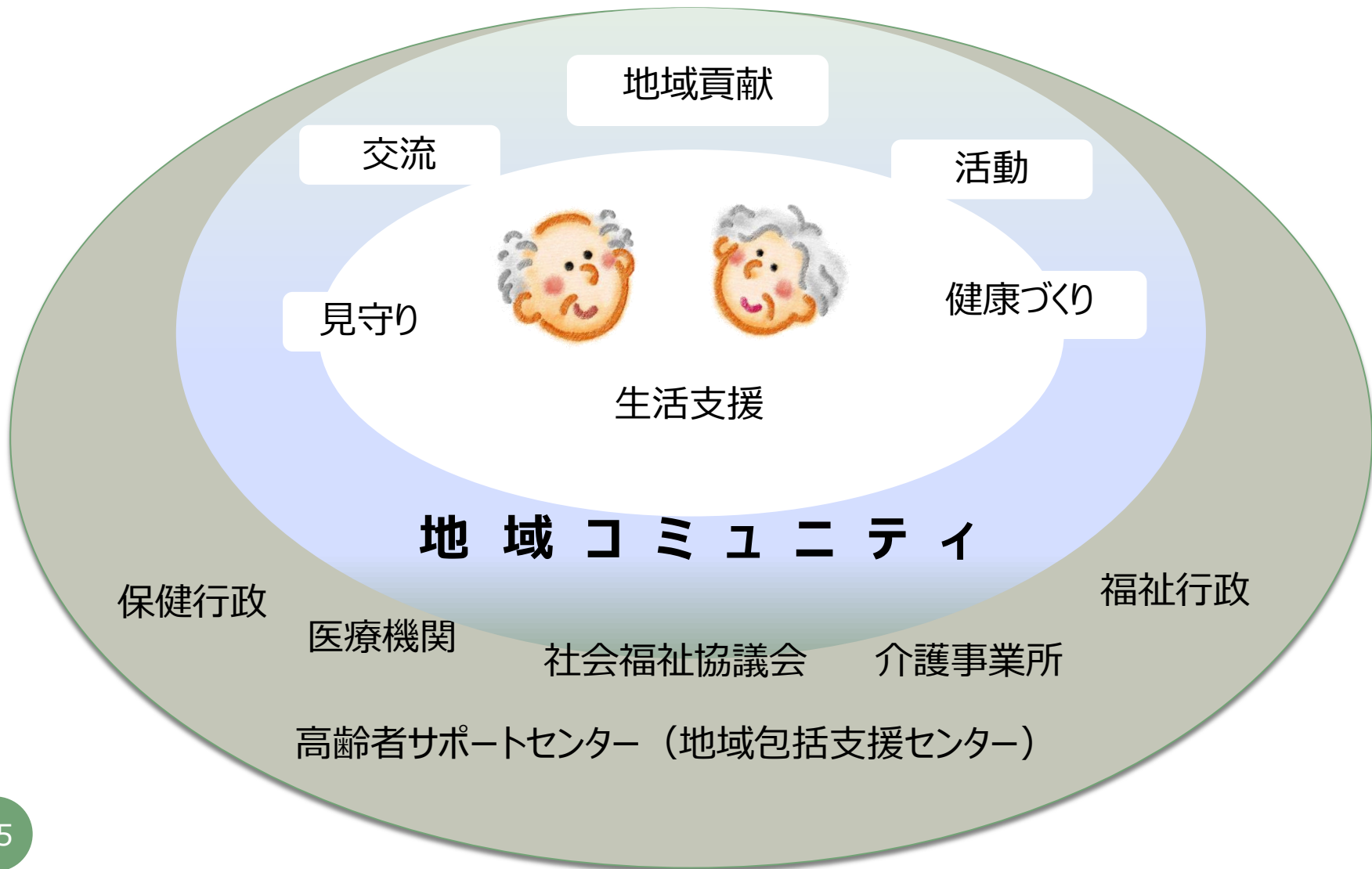
主観的健康観の変化

n=99人

約6か月の体操継続グループでは、有意に実施後の『主観的健康観』が向上 * * * $P < 0.001$



地域で自分らしく暮らす



2018年 8月 作成

大阪府 枚方市
2018年度(平成30年)
介護保険法改正における
訪問介護事業所の実態調査アンケート
報告書

枚方市訪問介護事業者会 実行委員

アンケート調査実施概要

●調査期間:2018 年 4 月 1 日 ～ 2018 年 5 月 20 日

●調査目的:アンケートの目的

1. 枚方市内における訪問介護事業所の運営状況の把握

2. 人員(ヘルパー)の確保における課題抽出

●調査対象:枚方市内の訪問介護事業所 175 事業所

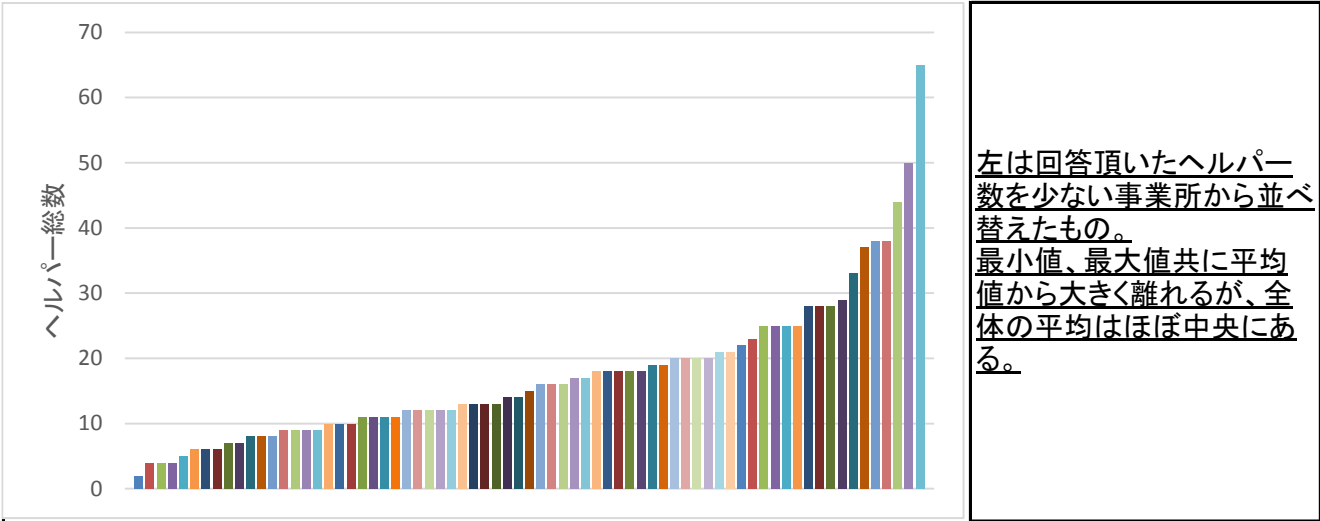
●回 収 数:74 事業所

●回 収 率:42,28 %

1. 現在置かれている事業所の状況(人員等)についてお聞かせください。

①現在事業所に何人のヘルパー(サ責除く)がいますか？また平均年齢及び内訳は？

ヘルパー総数の平均	17.43人	平均年齢	52.62歳
事業所形態別平均年齢 上記のうちサ高住等併設の事業所:44.94歳 サ高住等併設以外の事業所:53.74歳			

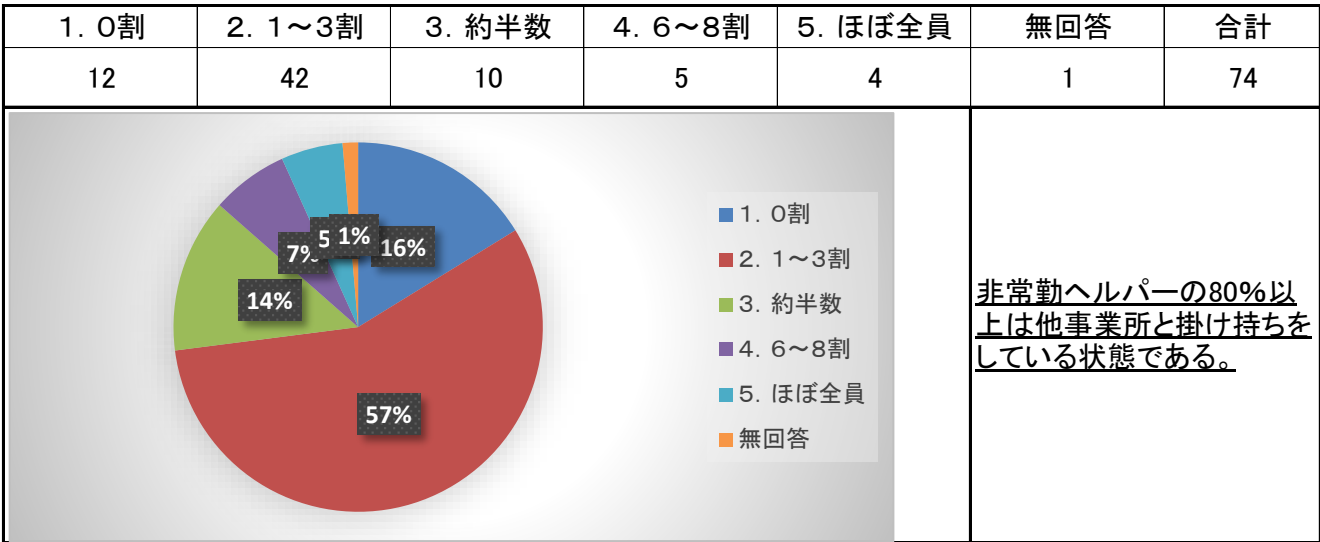


「訪問介護サービスは他の介護保険サービスと比べて若い人に敬遠されがちなのでは？」という実感があつたため、ヘルパーの平均年齢は、回答いただいた訪問介護事業所が施設と一体的に運営されているかどうかで分割して平均を出した。平均年齢に約10歳の差があることから、実感は妥当と思われる。

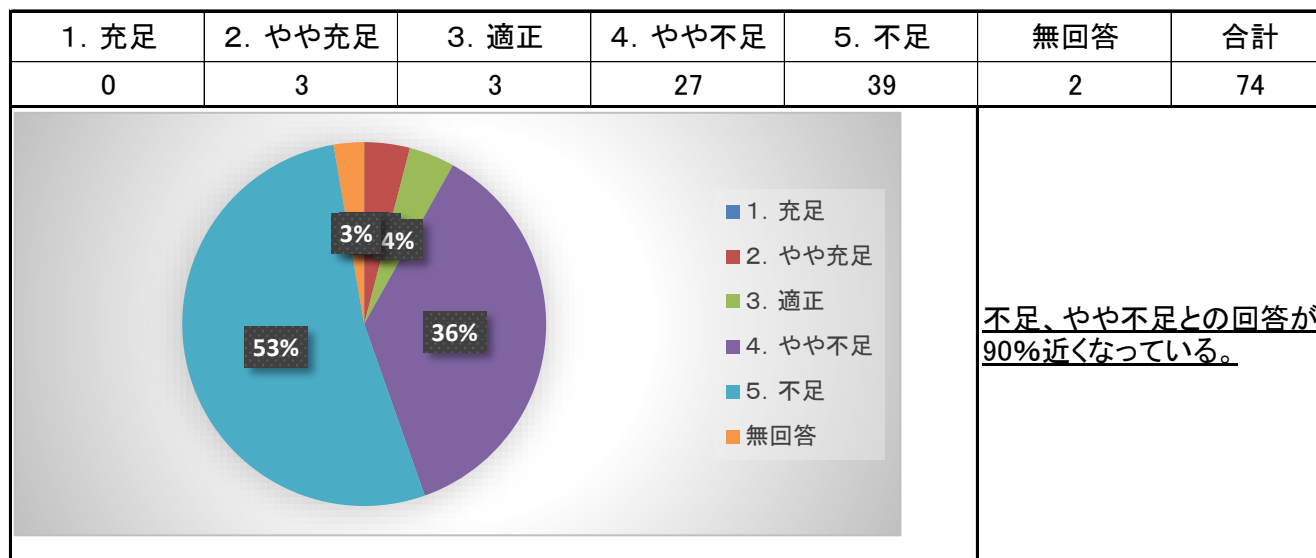
常勤ヘルパー	3.22人	非常勤ヘルパー(登録含)	14.21人
--------	-------	--------------	--------

常勤、非常勤の比率は、常勤者の方が多事業所もあったが、全体の傾向としては少数の常勤者と多数の非常勤者の組み合わせが多くなっている。

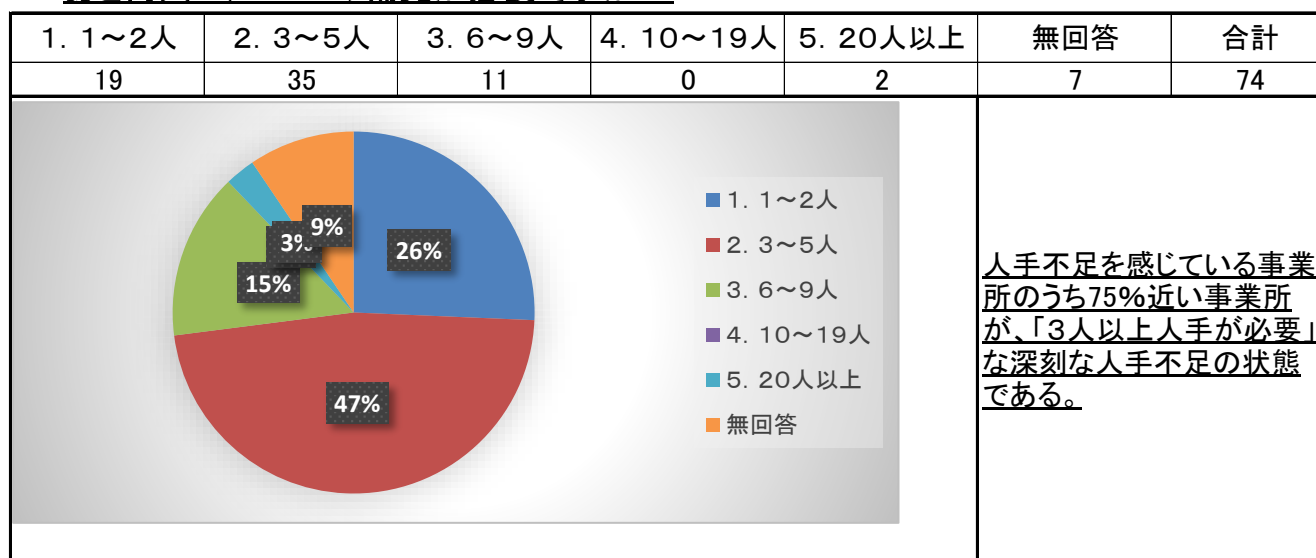
②上記①で非常勤職員(登録型ヘルパー含む)を雇用されている事業所に尋ねます。
自社以外でも勤務しているヘルパーの割合は？



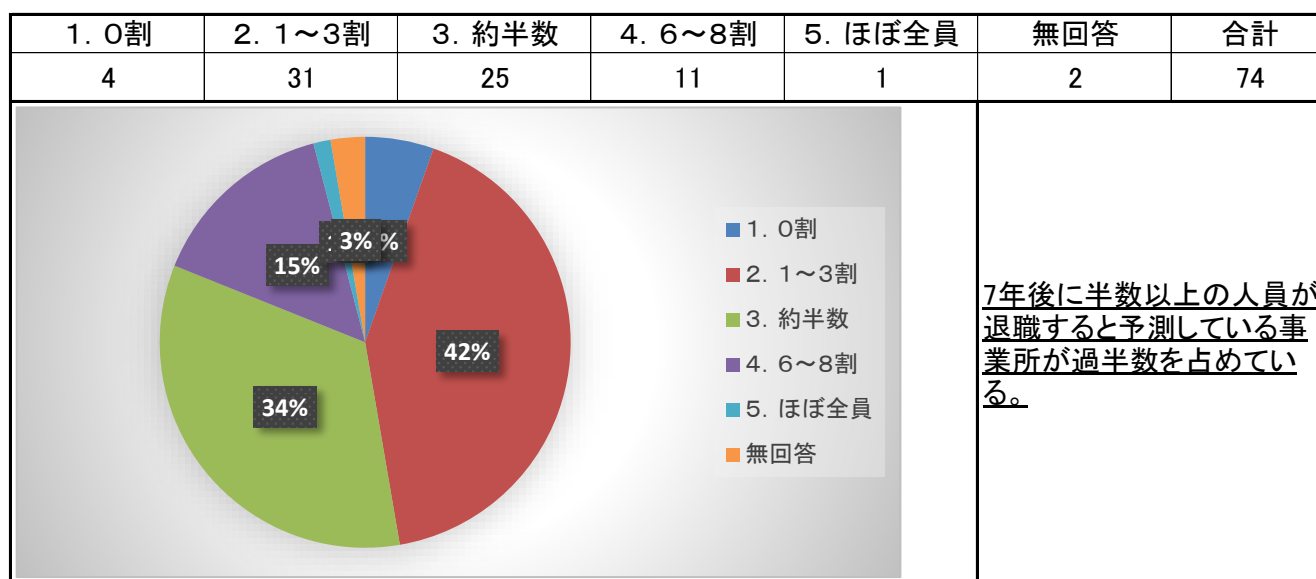
③現在の事業を今後3年継続すると想定した場合、ヘルパー数は確保できていますか？



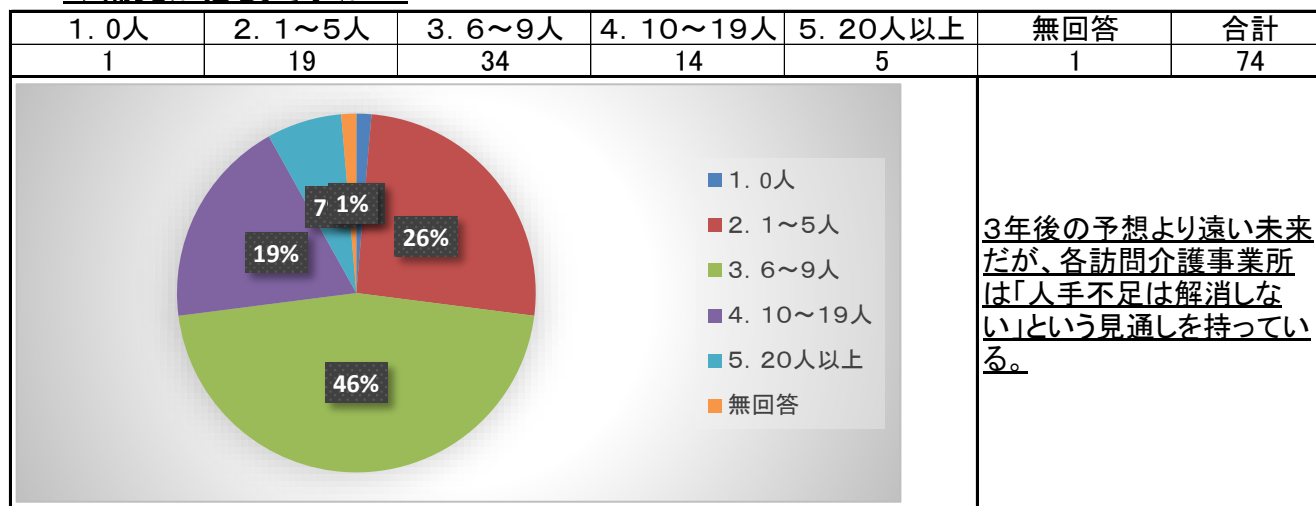
④上記③で『4. やや不足』または『5. 不足』を選択された事業所に尋ねます。
あと何人ヘルパーの補充が必要ですか？



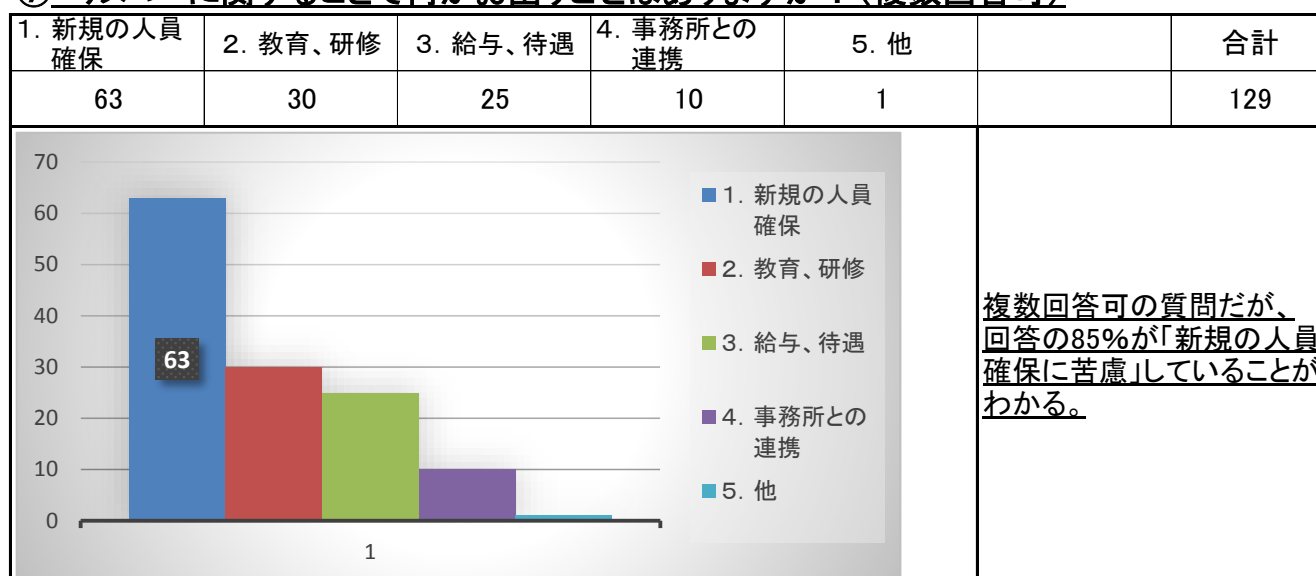
⑤7年後の2025年に、現在雇用されている非常勤職員（登録型ヘルパー含む）は
どのくらい自社に残られると予測されますか？



⑥現在の事業を今後7年(2025年まで)継続すると想定した場合、あと何人のヘルパーの補充が必要ですか？

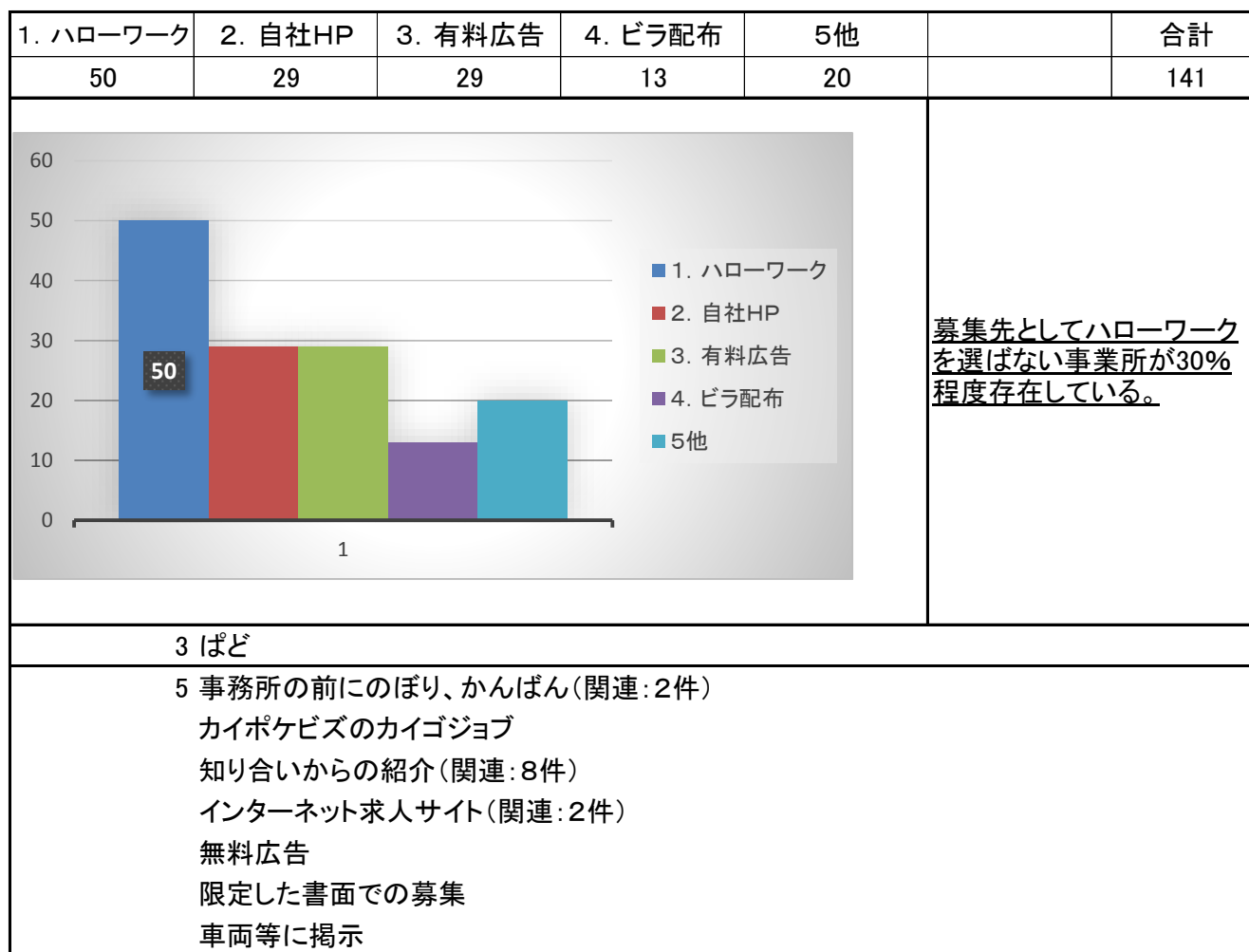


⑦ヘルパーに関することで何かお困りごとはありますか？(複数回答可)



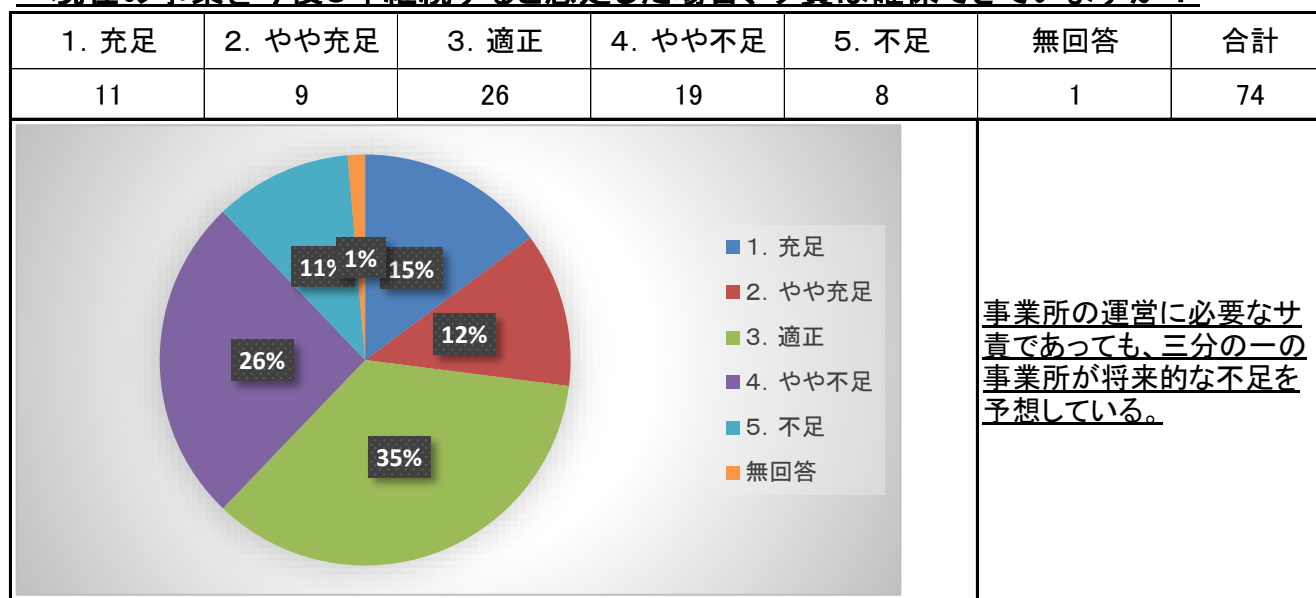
1	若いヘルパーさんが確保できない 採用をかけても募集がこない(関連:9件) すでにサービスに入っているのに新規が受けれない 登録ヘルパーがここ2年一人も増えない ハローワークにお願いしているが応募がない 定着しない
2	教育にかかる費用が捻出できない 少ない人数で行っているため、全員がケアに出ており、時間を持てない。 全員が集まれる時間帯調整が難しい
3	全体的に給与は上げていきたい 給与を多くしたら事業所がなりたたない。 加算頼みでは長期的な視点で見れず、根本的な解決とはならない 事故した際、車両の補償がない。 有給で休んだ際のヘルプが社員で対応するのが困難。 介護報酬が下がっていき、時給を上げることができない 多職種と比べて見劣りする
4	ペーパーレス化にしていきたい
5	直行直帰という考えそのものを変えたい。ケアマネと連携でイラッとした時、私が間違ってるの？と相談する所、グチをこぼす所がない。

⑧現在、ヘルパーの募集はどうされていますか？(複数回答可)

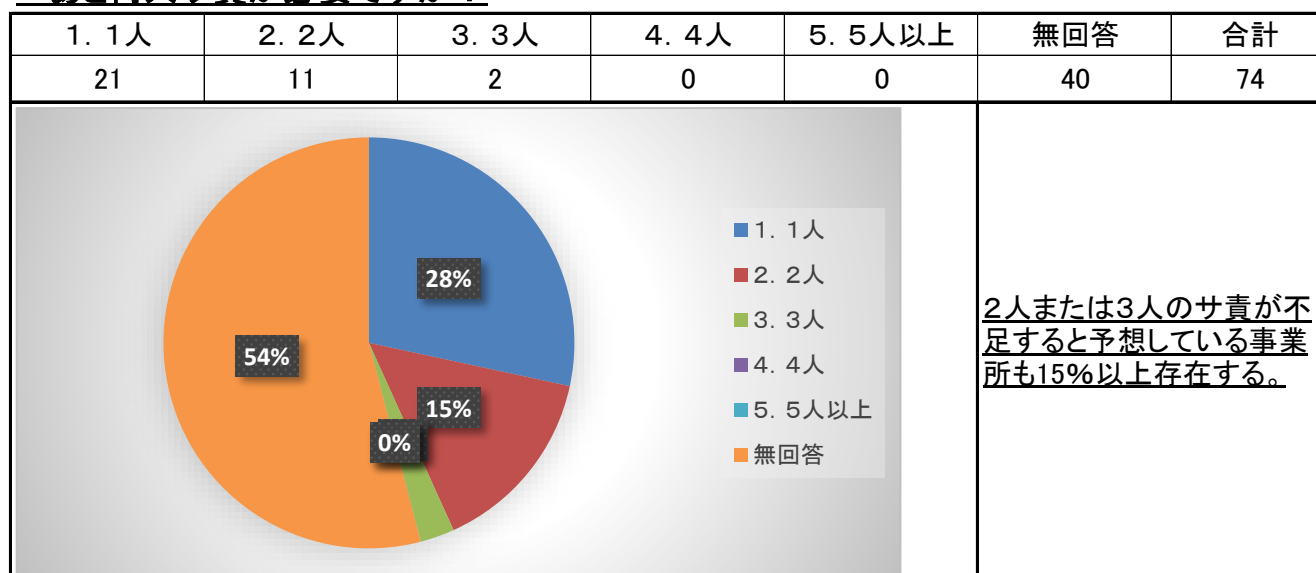


⑨サービス提供責任者についてお聞きします。

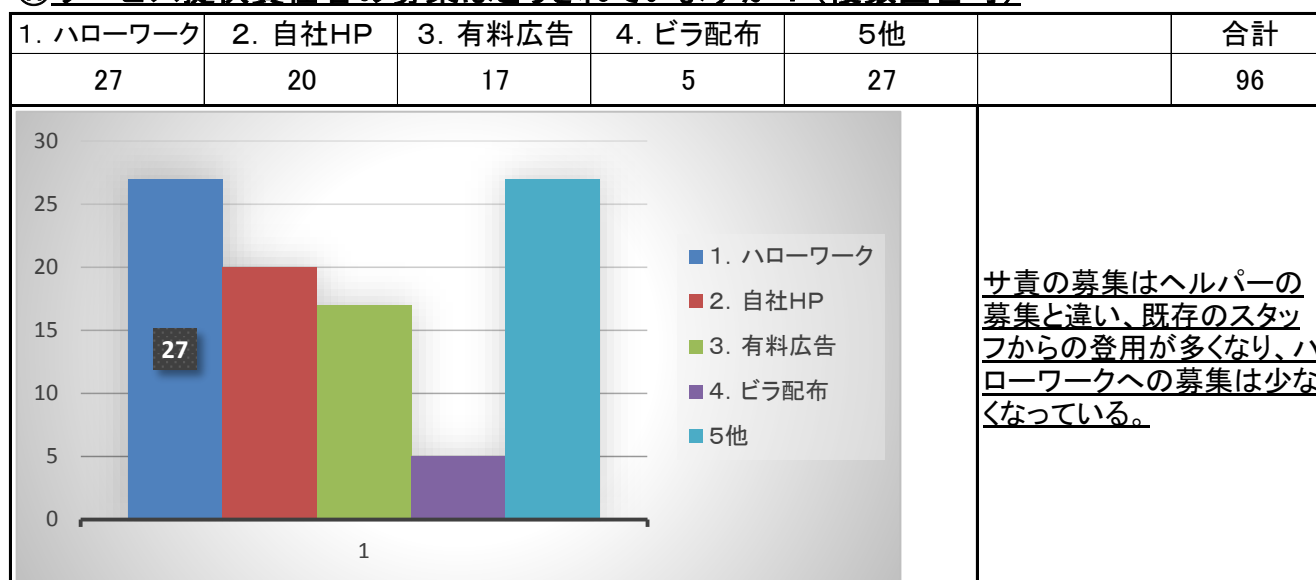
現在の事業を今後3年継続すると想定した場合、サ責は確保できていますか？



⑩ 上記⑨で『4. やや不足』または『5. 不足』を選択された事業所に尋ねます。
あと何人サ責が必要ですか？



⑪ サービス提供責任者の募集はどうされていますか？（複数回答可）

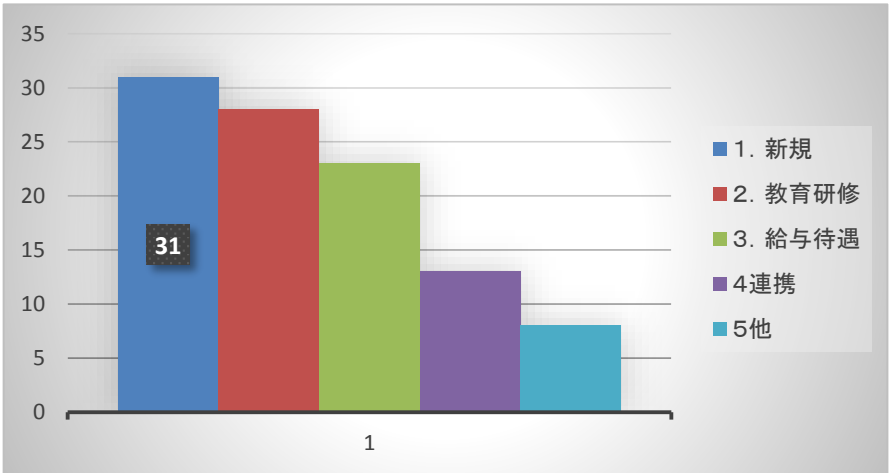


3 ぱど 等

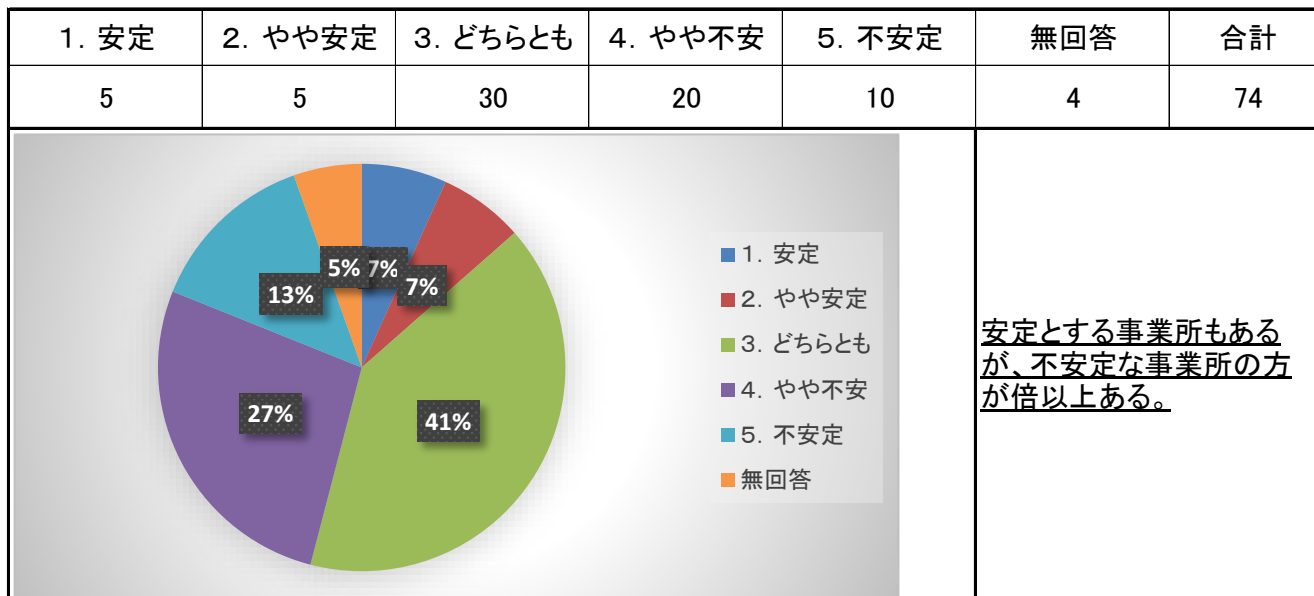
5 既存のスタッフ（非常勤）へ声掛け（関連：11件）

カイポケビズのカイゴジョブ
募集していません（関連：2件）
インターネット求人サイト
建物前にポスター掲示
管理者が兼ねてる
紹介
拠点内での異動や拠点間での異動

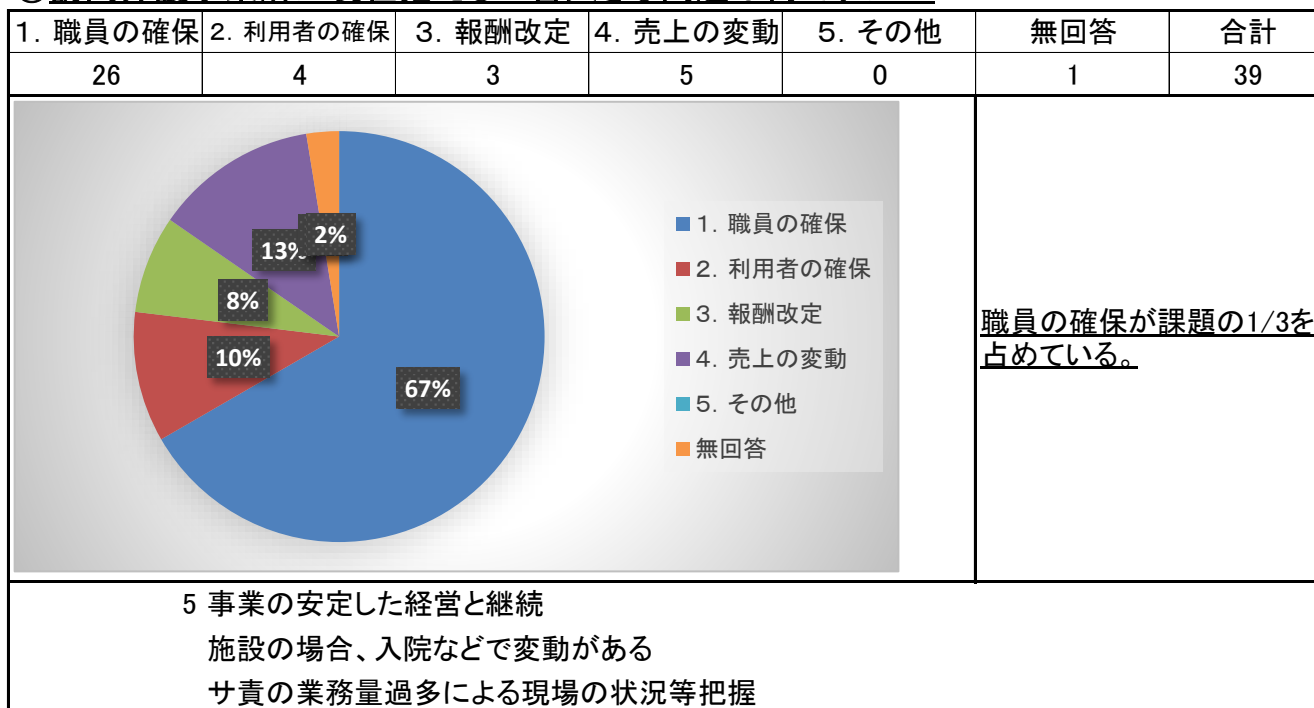
⑫ サービス提供責任者に関する事で何かお困りごとはありますか？（複数回答可）

1. 新規	2. 教育研修	3. 給与待遇	4連携	5他		合計
31	28	23	13	8		103
 サ責に関しては、ヘルパーと比べて新規採用の困難さは軽減しているが、困りごとはむしろ多様化している。						
1 募集しても集まらない(関連:2件) 定着しない						
2 サ責経験ありとなっているが知識がない等あり 教育にかかる費用が捻出できない 本人の自助努力にたよるところが大きい 時間的余裕がない(関連:2件)						
3 処遇改善加算があるので何とか支払いが出来ている状態 有給がとりにくい 優れた人に高い報酬を出せない 仕事内容に見合った待遇を用意できていない。 拘束時間や業務内容の繁雑さに見合わない						
4 常に高いスキルが求められるため、心理的負担大。						
5 残業からの事務処理が多い GW、年末年始、リフレッシュ休暇などがとれない 事務作業が膨大。なかなか評価されにくい立場。サ責業務は報酬とにならない。 現場に出ないとサ担で自信を持って発言出来ない。現場に出ると事務処理が出来ない。 その調整をどうして行くか困っている。 今までもサービス提供の教育を受けさせてもやめていく 休みの確保が難しい						

⑬訪問介護事業所における経営状態はどうか？



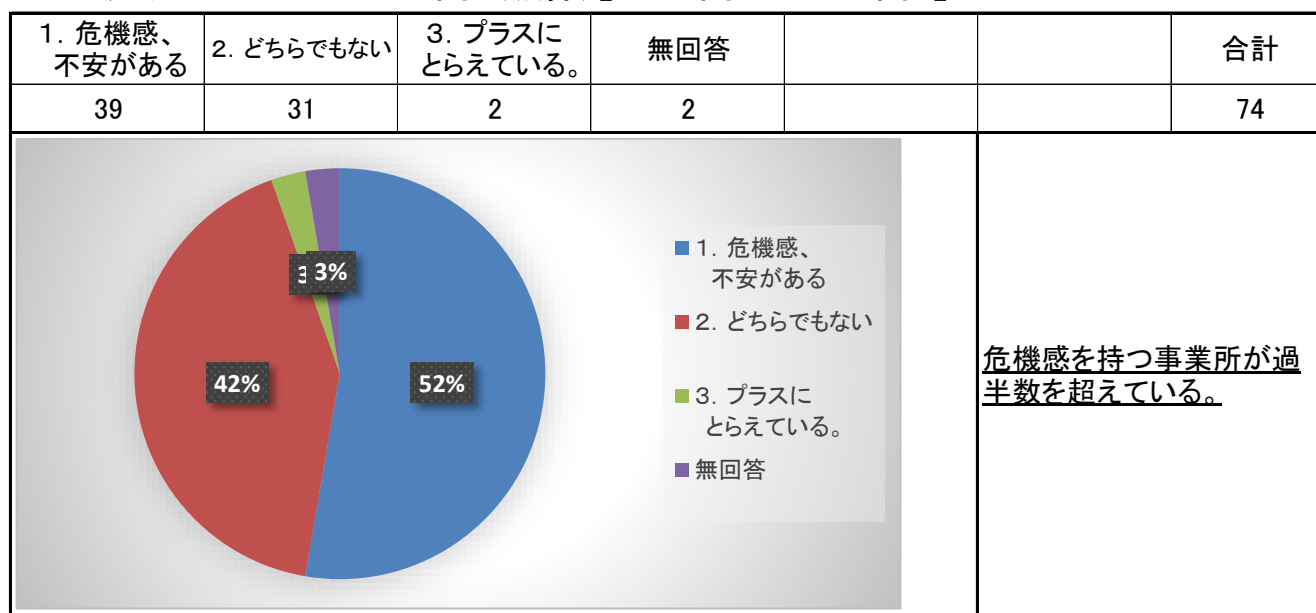
⑭訪問介護事業所が現在抱える一番大きな問題は何ですか？



2. 平成30年4月の報酬改定に伴う状況について

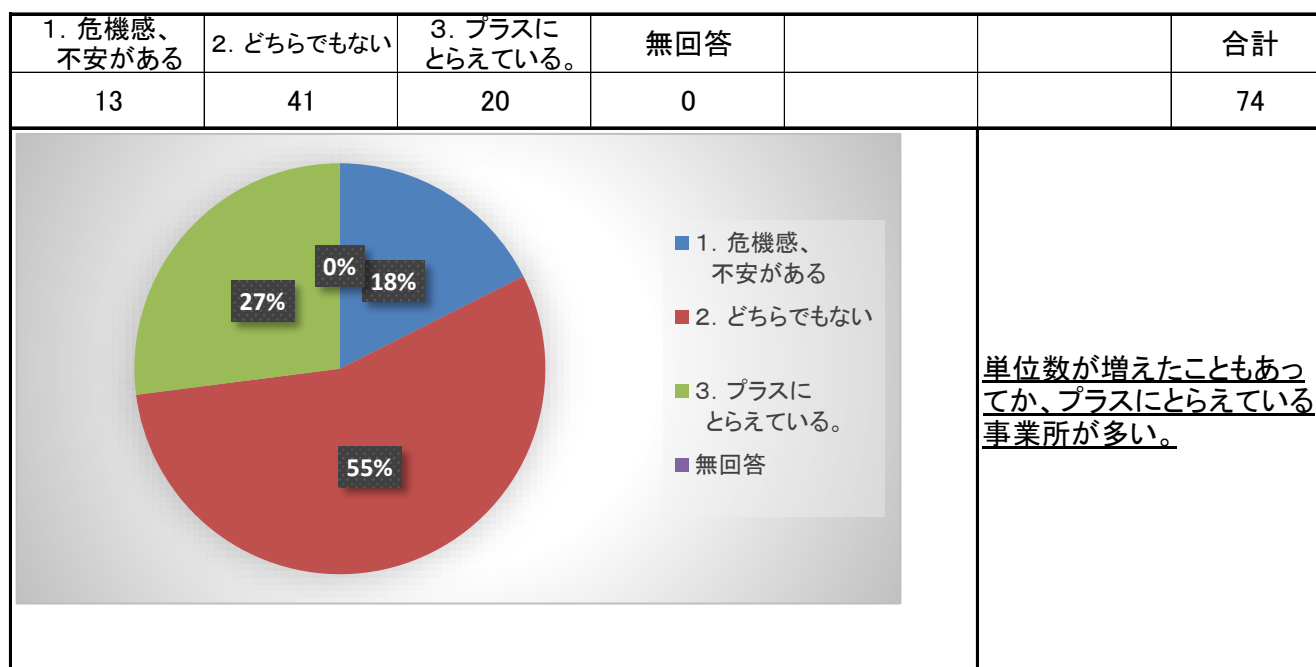
①生活援助の単価改定についてどのようにとらえていますか？

- ・44分以下について -2単位(減算)【183単位⇒181単位】
- ・45分以上について -2単位(減算)【225単位⇒223単位】

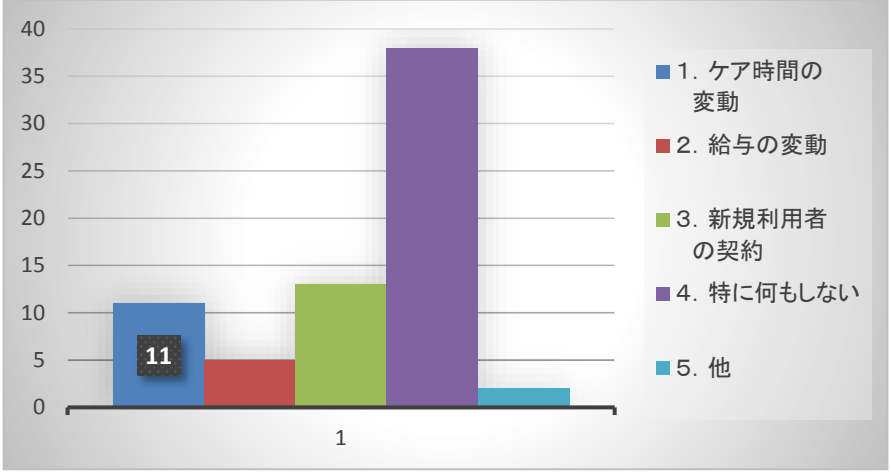


②身体介護の単価改定についてどのようにとらえていますか？

- ・20分未満 0単位()【165単位⇒165単位】
- ・20分以上30分未満 +3単位(加算)【245単位⇒248単位】
- ・30分以上60分未満 +6単位(加算)【388単位⇒394単位】
- ・以降30分毎 +3単位(加算)【 80単位⇒ 83単位】
- ・生活援助加算 -1単位(減算)【 67単位⇒ 66単位】



③今回の報酬改定において事業所で何か対策をとられますか？（複数回答可）

1. ケア時間の 変動	2. 給与の変動	3. 新規利用者の 契約	4. 特に何もしない	5. 他		合計
11	5	13	38	2		69
 1. ケア時間の 変動 2. 給与の変動 3. 新規利用者の 契約 4. 特に何もしない 5. 他						報酬改定に伴う対策は、あまり見られない。
1 ケア時間を短縮 生活援助70分→60分 サービス内容変更						
2 しばらく動向を見たうえで時給の検討 訪問手当が単位数と連動するようになっている 身体介護時給アップ						
3 総合事業を中心に契約を広げている 一部変更契約 H30.4月からの重要事項説明書の書き替え						
5 公費以外（介護保険及び障害福祉以外）の収入増の取組みを検討 利用者への料金の説明。重説の取り交わしを行う ヘルパーに対して、今後の流れの予測と発想の切り替えを促した程度						

④今回の報酬改定におけるご意見等がありましたらお聞かせください。

今回は全体的にプラス改定なので大きな変化はないが、今後、数年以内に生活援助がなくなると、現状のヘルパーの教育や医療的ケアに対しての事前投資が必要。課題がたくさんある。
ちょっとずつ下げられるとやりにくいし、職員の給与を下げるわけにはいかない。やるかやらないかではっきりしてほしい
高齢者が増える中、報酬・制度の改正はやむを得ないと思いますが、何か特別な特徴を事業所としてもてたらと思います。
3年後の2021年の大幅な改定が予測される今、とても不安である。
現場を見ず、ペーパー上での情報としか思えない改定であり、一方的過ぎると感じる。正直者がバカを見ると感じた。
加算で介護報酬で増すのではなく、基本で報酬を上げてほしい
今回の報酬はプラス改定とは名ばかりで、生活援助の報酬減には納得がいけない。
生活援助を中心に提供する事業所は運営維持が困難。
ヘルパーの離職に拍車がかかり、新たな担い手の確保も困難となる
今回の改定では大きな減収はないが、今後の生活援助に対する動向に大きな不安がある
加算の具体的な算定例、実のケアの取組みなどを他事業所と連携して共有できたらうれしいです。
施設系ですので集中減算が厳しい
介護の度合いによっては、サービスの難易度にバラツキが生じている。自立している人と寝たきりの人と両者共に同じ点数でサービスに入るとなればどちらが楽でどちらがキツイか、、、介護度による報酬差があっても良いのでは。
生活援助がだんだん削られているように思います。
今回と言うより今後の報酬がかなり下がって行く(生活援助)予定の中、高齢になっていく介護職員がいくつまで身体介護が出来るだろう、、、とヘルパーに不安あり。
口腔や服薬などサ責の業務がさらに増えるがそれを踏まえた改定とは言い難いように思います。
毎回改定の度にそうですが、書類の準備など手間が増える。
決定時期が遅く、対応が後手後手になってしまうので何とかならないかと思う(ソフトの対応も含め)
今回の改定では大きな変化は見られませんでした、次回の改定ではどれだけ大きな変化があるのか不安で気になります。
報酬改定の期間が短く、その都度利用者に料金説明しないといけないので、事務仕事が多くなり現場は大変です。

3. 訪問介護事業者会にご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

特になし。ありがたく思っている。
枚方市内の訪問介護事業所の発展の為に頑張って頂きたい
事業者会に参加させていただくことになります。よろしくお願い致します。
AMの研修会があれば良いと思います。
事業所運営継続が本当に厳しくなってきました。報酬改定のみならず介福＝身体介護。2級(初任者)、新職種59Hの家事型ヘルパーの新設など担い手づくりをどうしていくのか？国の施策と現場がどんどんかけ離れていく現実を変えられるか。事業者会、他連協の協同の輪が必要不可欠です。
事業所側が研修に参加させたいと思う研修の開催を希望
孤軍奮闘の事業所が多い中、皆をつなげる中心的存在であると思っています。志は高く、しかしすそ野のヘルパーにとっても交流の場となるような会になってほしい。
良い人材の流出を食い止める。新しい人材が定着するような業界となる事を目指すのみと考えます。

4. 行政に対するご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

様々な理由で報酬改定を行うたびに報酬が下がるのは分かりますが、このままだと今後の介護業界が衰退すると感じています。明るい介護業界になり社会を支えるシステム作りを願うばかりです。
介護職員の新たな担い手の確保。 現職員が永年勤続出来るための介護報酬体系の構築(処遇改善加算頼みの体系廃止もしくは縮小)
生活援助の単価引き下げが小幅にとどまり、身体介護が若干の引き上げになった事から収支的には現状維持と考えられます。ただ、慢性的な人手不足の解消には、処遇改善加算でなく基礎部分の引き上げによる経営体力の強化が望まれます。
正確なアナウンスが遅すぎる
十分な財源の確保(施設の報酬引き下げ、在宅の報酬引き上げによるバランス取り)
介護度区分見直し、並びに上限額の引き上げ
権限移譲の名のものと市町村任せの「総合事業」の根本的見直し
総合事業に対してもっと現場の実状を把握し、討議して沢議して欲しいです。
総合事業の報酬を少しあげれるなら対応して欲しいです。
市、各連協を集めて(居宅、訪問、通所)の情報交換協議の場が必要と思います。直面している介護現場の問題、課題を連協と一緒に真剣に考え、行政としても可能な限り協力してほしいと思います。
人手不足が予想される中、処遇改善含めての支援をお願いしたい(但し、事務処理等については簡略化してほしい)。
行政は、「介護予防」に力を入れているが、”住宅型有料老人ホーム”などでは、日々の訪問介護サービス以外に、施設内でデイサービスの余暇を楽しませてあげられる程の余裕のある施設は少ないと思うので、各施設を巡回する「介護予防指導員」たる者の養成も必要ではないか。
行政の窓口になるところが少し偉そうにしているので行きにくい。
忙しいとは思いますが、担当者によって同じ事でも対応がまちまちで困ってしまいます。
やりかたが汚い。単価を下げないでほしい。事業所によって違うのはお客様にとってトラブルになってしまう事が考えられる。
先日「ご利用者がインフルエンザのためサービスに入れないので、インフルエンザが治るまでサービスに入って欲しい」とケアマネより連絡がありました。身体介護の必要な方であり、5日間ならなんとか入らせていただきました。ご利用者がインフルエンザなら断っても良いか(ヘルパー感染→他の利用者様感染のリスクがあります)。制度として加算をつけてもらう提案はできませんか。
枚方市の地域区分率が低く経営に困難をきたす。土地価格等は大阪市内が高いが郊外も少し考慮願いたい。
国民の努力及び義務 第四条(…その有する能力の維持向上に努めるものとする)をもっと打ち出し、訪問介護の職員を家政婦みたいな概念ではなく維持向上する為のアイテムとして認識してもらう。そんな何かが出来れば…と思っています。そこに行政と事業者会の力が合流することで生まれる物は大きいのでは。
現状では事業所の存在は収支によって強く左右されるので、サービスの質の向上より報酬額の増加に目を向けざるを得ない傾向があるように思います。行政が、訪問介護事業所と共同で何らかの評価基準を作り、事業所に直接資金的な援助を行い、援助を受けた事業所は経営状況を全面的に公開するような、サービスの質の向上に取り組むことが事業所の存続に直接結びつく仕組みがあればと思います。
財政が厳しいからと切り詰める方向を間違えると逆効果に(利用者のレベルダウンに)つながる事もあり、現場も更に翻弄されて、悪循環となる事もあると理解して欲しいです。

※いただいたコメントは、文言等に明らかな間違いがないものについてはそのまま掲載しております。

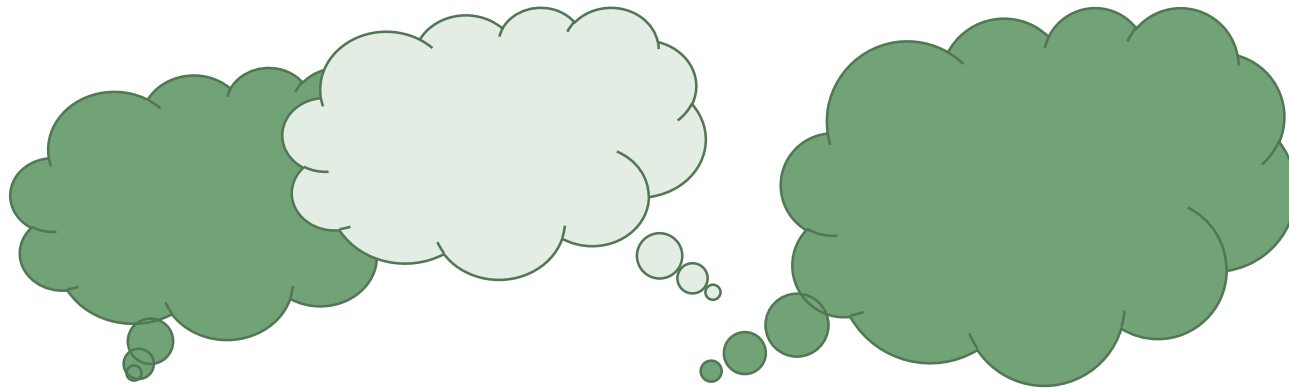
	校区	元気づくり・地域づくり会議 会議名称	コーディネーター事務 事務受託者	事務局事務 事務受託者
東	津田	津田校区元気づくり地域づくり会議	津田校区福祉委員会	地域包括支援センター東香会
	菅原	菅原元気づくり地域づくり会議	菅原元気づくり地域づくり協議体	地域包括支援センターパナソニック エイジフリー
	氷室	氷室校区元気づくり地域づくり会議	氷室校区福祉委員会	氷室校区福祉委員会
	田口山	田口山校区ふくしまづくり計画進行管理委員会	田口山校区福祉委員会	田口山校区コミュニティ協議会
	津田南	津田南校区コミュニティ協議会	介護予防・日常生活支援協議体	地域包括支援センター東香会
	菅原東結		菅原東校区福祉委員会	菅原東校区福祉委員会
	藤阪	元気かい！藤阪	藤阪校区福祉委員会	地域包括支援センター大潤会
	長尾			
	西長尾	西長尾元気づくり地域づくり会議	西長尾元気づくり地域づくり協議体	地域包括支援センターパナソニック エイジフリー
中	桜丘	桜丘校区第2層協議体	地域包括支援センター松徳会	地域包括支援センター松徳会
	山田	山田校区元気づくり・地域づくり会議	山田校区コミュニティ協議会	地域包括支援センターサール・ナート
	明倫	明倫校区元気づくり地域づくりプロジェクト	宮之阪中央商店街振興組合	地域包括支援センター松徳会
	殿一	殿一校区元気づくり・地域づくり会議	殿山第一校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター安心苑
	高陵	高陵校区元気づくり地域づくり会議	高陵校区福祉委員会	高陵校区福祉委員会
	交北	交北校区コミュニティ協議体	交北校区コミュニティ協議会	地域包括支援センターサール・ナート
	中宮	中宮校区元気づくり地域づくりプロジェクト	中宮校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター松徳会
	小倉	小倉校区健康づくり会	小倉校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター安心苑
	磯島	磯島校区元気づくり・地域づくり会議	磯島校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター安心苑
	桜丘北	桜丘北校区連絡会		地域包括支援センター松徳会
	中宮北	中北元気づくり・地域づくり会議	中宮北校区福祉委員	地域包括支援センターサール・ナート
	山田東	山田東元気づくり・街づくり会議	山田東校区福祉委員会	地域包括支援センターサール・ナート
南	枚方	枚方校区元気づくり・地域づくり会議	枚方校区コミュニティ協議会	地域包括支援センターみどり
	枚二	枚二校区コミュニティ協議会	介護予防・日常生活支援協議体(枚二みつば)	地域包括支援センターみどり
	蹠陀	蹠陀校区元気づくり・地域づくり会議	蹠陀校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター美郷会
	香里	あいさつのまち香里	香里校区福祉委員会	香里校区福祉委員会
	開成	開成元気づくり会議	開成校区コミュニティ協議体	地域包括支援センターアイリス
	五常			
	春日	春日校区元気づくり・地域づくり会議	春日校区福祉委員会	地域包括支援センター大阪高齢者生協
	山之上	山之上校区元気づくり・地域づくり会議	山之上校区コミュニティ協議会	地域包括支援センターみどり
	香陽	香陽元気づくり地域づくり会議	香陽校区福祉委員会	地域包括支援センターアイリス
	蹠陀西	絆でつなぐ蹠陀西	蹠陀西校区福祉委員会	地域包括支援センター美郷会
	川越	川越校区「元気ハツラツ・地域づくり」協議体	川越校区コミュニティ協議会	川越校区コミュニティ協議会
	蹠陀東	蹠陀東校区元気づくり地域づくり会議	蹠陀東校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター美郷会
	東香里	東香里元気づくり地域づくり会議	東香里校区福祉委員会	地域包括支援センター大阪高齢者生協
	伊加賀	暮らすメイト伊加賀	伊加賀校区福祉委員会	地域包括支援センター美郷会
北	殿二	殿二校区元気づくり・地域づくり会議	殿二校区福祉委員会	殿二校区福祉委員会
	樟葉	第1圏域元気づくり地域づくり会議	樟葉校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター社協こもれび
	牧野			
	招提			
	樟葉南	第1圏域元気づくり地域づくり会議	樟葉南校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター社協こもれび
	樟葉西	樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議	樟葉西校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター社協ふれあい
	西牧野	西牧野校区元気づくり・地域づくり会議	西牧野校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター安心苑
	樟葉北	第1圏域元気づくり地域づくり会議	樟葉北校区コミュニティ協議会	地域包括支援センター社協こもれび
	船橋	元気！ふなはし	船橋校区福祉委員会	地域包括支援センター聖徳園
	平野	平野校区元気広場	介護予防・日常生活支援協議体	地域包括支援センター聖徳園
設置または配置数		41／45校区	40／45校区	

元気づくり・地域づくりプロジェクトの 地域課題・取り組みについて



枚方市 長寿社会部
地域包括ケア推進課
平成30年 8 月

地域課題について



地域課題は、平成29年度のコーディネーター活動記録簿及び事務局業務記録簿等から抜粋したものです。

今回新たに追加した地域課題には、下線をひいています。

地域課題（情報共有）

- ① 元気づくり・地域づくりコーディネーターの活動が見えない。
- ② 会議のことをどうやって地域に周知したらよいのか。
- ③ 見守りのため、一人暮らし高齢者の訪問をしたいが、個人情報問題で把握できない。
- ④ マンション等は自治会に入っていない方が多く、情報が届きにくい。
- ⑤ 他の地域の取り組みがわからない。
- ⑥ 60代の方は自分を高齢者と思っていないことが多く、高齢者のイベントに興味がない、自分の問題として捉えていない人が多い。

地域課題（情報共有）

- ⑦ 地域で活動している人と介護や医療従業者など、それぞれがお互いの活動や情報を知らないので、情報共有の必要がある。
- ⑧ 校区内のニーズがわからない。
- ⑨ 回覧しても見てもらえない。



地域課題（活動の担い手）

- ① 夏祭りのブースが減少傾向にあり、学生ボランティア等の協力を得て盛り上げる必要がある。
- ② ひらかた元気くらわんか体操に取り組むには、場所がなく、世話役の負担が大きい。
- ③ 自治会などの役員になる人がいない。
- ④ 既存の活動もあり、これ以上の追加の活動は難しい状況である。
- ⑤ 自治会長など、役員が毎年交代するため引継ぎが大変である。
- ⑥ 活動する人も参加する人も増えない状況である。
- ⑦ 活動の中心となるリーダーがいない。

地域課題（地域での交流）

- ① 地域と関わりがない高齢者に、どうしたら自分から出てきてもらえるのか。
- ② 行事を開催しても、介護している人は参加がしにくい。
- ③ 参加メンバーがいつも同じで新規の参加者がいない。
- ④ 高齢者と子どもの世代間での交流がない。
- ⑤ 高齢者に元気でいてもらうために何ができるのか。

地域課題（地域での交流）

- ⑥ 見守りしてあげたいけど、干渉してほしくない人もいる。
- ⑦ 老人会に関わりたくない人がいる。
- ⑧ 老人会とは違う居場所が必要か。
- ⑨ イベントを企画しても天候等により中止になる。



地域課題（活動の場）

- ① 集会所が少ない。
- ② 場所が少し遠くなると、足の悪い人が参加できない。
- ③ 老人会がない地域がある。
- ④ 老人会でしか集まる機会がない。
- ⑤ 大きな道路で別れている地域間の交流場所がない。
- ⑥ 居場所を創ったが、運営体制をどのように定着させるか。
- ⑦ イベントを継続させていくにはどうしたらよいか。

地域課題（その他）

- ① 月1回は無料で集会所を利用できるが、2回目以降は利用料がかかる。
- ② 公民館の施設の老朽化、階段等バリアフリー非対応
- ③ 介護保険サービスを使うことで地域とは分別されてしまうことがある。
- ④ 一度介護保険サービスを使うと、使い続けてしまう。
- ⑤ 一人暮らしや空き家が増えている。
- ⑥ 協議体を設置したが、方向性がわからない。

課題に対する取り組みについて



地域課題に対する取り組みとして、平成29年度のコーディネーター活動記録簿及び事務局業務記録簿等に記載されていたものを抜粋したものです。

注意)
前ページの地域課題の番号と、次ページの取り組みの番号に関連はありません。



課題に対する取り組み（情報共有）

- ① 情報収集シートを作成して、地域の情報収集を行う。
- ② 地域内に全戸配布して情報の周知を図る。
- ③ 回覧と併せて掲示板に載せるなど周知の場を増やす。
- ④ 他の校区の取り組みの見学や日常生活圏域単位での意見交換の場を設定
- ⑤ 元気づくり・地域づくり会議の構成員に介護保険事業所や医療機関など様々な関係機関に参加してもらい意見交換を行う。
- ⑥ 多職種連携会議等の場に地域の方も参加して意見交換を行う。

課題に対する取り組み（活動の担い手）

- ① 既存活動に重点を置き、集まりの場にひらかた元気くらわんか体操を取り入れるなど、できることから進めていく。
- ② 担い手希望交流会開催し、新たな活動の担い手の発掘に取り組む。
- ③ カフェの参加者の中からオカリナ、ハーモニカの演奏をしてくれるひとが出てきてくれた。

課題に対する取り組み（地域での交流）

- ① 介護保険事業所等を地域に開放してもらい、施設入所者の方にも参加可能なイベントを企画(カフェや体操など)
- ② 新規の方が参加しやすいように「体験会」と表現し、地域のベテランの方が講師として教えてもらうなど交流を図る。
- ③ 世代間交流イベントを企画（もちつき大会、ふれあい祭りなど）
- ④ ウォーキングや体操など気軽に参加できるイベントを企画
- ⑤ 介護予防の講座を企画（出前講座や元気づくり教室）
- ⑥ ふれあいカフェの開設（高齢者居場所づくり事業等）
- ⑦ コミュニケーション麻雀の実施

地域課題（活動の場）

- ① 介護保険事業所等を地域に開放してもらい、活動の場として活用している。
- ② 新たな居場所の開設を行った。
- ③ 空き家を居場所として活用している。
- ④ 子ども食堂との交流を検討している。

課題に対する取り組み（その他）

- ① 高齢者居場所づくり事業を活用し、高齢者が少しでも安心して活動できるよう施設の改修や必要な備品購入を行う。
- ② 校区の取り組みについて中長期的（3年）な方針をまとめた。

元気づくり・地域づくりコーディネーターアンケート 集計結果について



枚方市 長寿社会部
地域包括ケア推進課
平成30年8月

平成30年6月に実施した元気づくり・地域づくりコーディネーターへのアンケート結果より抜粋しています。

紹介したい取り組みや工夫していること

1. 校区は7地区で構成されており、各地区でそれぞれ寄り合う場所・機会をつくって、さらに内容を充実させるよう努力しながら今年も乗り切って行こうとしています。また、校区合同の催事も行っています。
2. 福祉のボランティアや老人クラブ役員で結成、ボランティア8名が2名ずつローテーションでリーダーとなりプログラムを計画。実施前にバイタルチェックを行い毎週木曜日14:00～実施。リーダーは各自体操教室へ参加、リーダー講習受講、地域の福祉活動に参加している。

活動内容

- A. くらわんか体操 B. 健康体操（ストレッチ、ヨガ、童謡、唱歌、演歌体操）
C. 活脳体操 D. 地域の行事に参加、盆踊り等々参加された方々のアンケートから皆さんの声も取り入れて健康維持を目標に和気あいあいと楽しんでいます。

紹介したい取り組みや工夫していること

3. 昨年度のイベントで今年1月に開催した、いきいきまつり（もちつき会）で、校区老人会を中心に、子どもたちに紙ヒコーキ飛ばしや、グランドゴルフホールインワンゲームなど、得意の分野で活躍していただきました。今後もイベント等で、独自の発想で「自分の地域の一員」という自覚を持ってもらえるよう、校区全体で元気づくり・地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。
4. コミュニティスペースを中心とした活動で地域課題を解決する為に集まって頂いているたくさんの地域ボランティアの方々が一番の自慢です。地域住民の方、福祉の方、大学生、就労支援の方など様々な思いで集まっています。そのおかげで、子ども食堂の運営や、高齢者サポート、カフェ、空き店舗での健康測定会など高齢者から子どもまで様々なつながりが出来ています。

紹介したい取り組みや工夫していること

5. ①高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを目指しています。このために「高齢者の元気づくり・地域づくり会議」を実施しています。
- ②校区の参加構成団体は20団体（協議体）でこの内で活動を展開しているのは、コミュニティを始め福祉委員会や老人クラブなど、10団体がひらかた元気くらわんか体操を始め、活動が多岐に至っています。
- ③委託料は活動各団体に分配し、やる気と意識の高揚を図っています。
- ④活動団体の増加を目標として取り組んでいます。
6. 地域において、地域元気づくり教室の活動に積極的に取り組んでおります。

紹介したい取り組みや工夫していること

7. 元気づくりプログラムとして、月1回自治会館等を集まり、ひらかた元気くらわんか体操を行ったあと、近くの公園でグランドゴルフをしています。また、そのあと自治会館等にもどり、お茶菓子をつまみ談笑の時を持ち、次回の予定を発表して「また会いましょう」との雰囲気づくりに役立てています。雨天の場合は、ダーツなどの室内ゲームをグランドゴルフの代わりに用意しています。
8. ①地域包括支援センターの力を添えて頂き、何とか立ち上げれた事は感謝しています。
- ②校区老人会と共同して今後の運営に反映します。
- ③校区コミュニティ協議会、校区福祉委員会と連携した活動にして運営を図ります。
- ④老人会20人組織と共同参画でも運営を図ります。

紹介したい取り組みや工夫していること

9. ①校区が広く大きな行事を行う時は2か所で行っていましたが、今年校区の中央に介護施設が開設し、施設のホールを使わせていただく事が出来るようになり1か所で大きな行事が出来るようになりました。
- ②元気づくり、介護予防に体操を。施設に協力していただいておりますが、体操だけでは人が集まりませんので、2部としてみんなが楽しめるよう行ってみようかなと思う事を考えています。地域には、いろんな事が出来る方が多くいますので、声をかけて協力をお願いしております。スタッフ一同、「自分達が楽しく出来なかったら、みんなも楽しめない」をモットーとしております。
- ③小学校から淀川の堤防を歩き、河川敷公園にてお弁当を食べ、子供から高齢者まで景品をかけてゲームで遊びました。5月20日(月) 五月晴。

紹介したい取り組みや工夫していること

10. 高齢者だけではなく、住民全員を巻きこんで取り組んでいます。特に、高齢者と小学生と一緒に活動出来る取り組みを多く実施しています。
11. ①芝のグラウンドである事を活用した元気づくりを進めています。（グラウンドゴルフ大会開催）
- ②小学校を拠点に地域の高齢者が集える行事を企画（カラオケ教室）
- ③高齢者居場所づくり事業に登録した2箇所それぞれが、有効活用しています。
- ④老人会（自治会）単位のグループから校区全体の地域活動について意見交換をする事で、地域全体が活性化しています。
- ⑤校区内の介護保険事業所の協力による地域開放を行っています。

紹介したい取り組みや工夫していること

12. 平成29年度に組織づくりをし、元気づくり・地域づくりプロジェクトの理解を図りました。福祉委員会は十分に機能して活動しています。今後は各自治会の老人会と連携してプロジェクトをすすめる予定です。
13. ①4地区別に地区に合わせた「元気づくり講座」実施
(A. 振り込め詐欺（枚警より） B. 認知症にならない C. 薬の知識知っておきたい)
②地区ごとで高齢化率が高い、小学生が多い、等々の地区特性に応じた講座を実施しています。

紹介したい取り組みや工夫していること

14. 自治会館内にカフェを設立

- ①設立：自治会、老人会の有志と運営方法を検討し、平成29年12月から実施
- ②対象者：自治会の誰もが参加出来るようにした。自治会長、老人会長および有志が中心になって運営している。参加者は12～20人、親子で一緒に参加して良いふれあいができている。
- ③内容：月2回、第2,4土曜日 13～15時。参加者の中にハーモニカ演奏オカリナ演奏ができる人があり、毎回4～5曲、唱歌を歌った後、コーヒータイトにて2時間おしゃべりをして交流をはかっている。歌詞は大きな文字で、壁に貼っている。上向いて歌っている。

紹介したい取り組みや工夫していること

15. ①ひらかた元気くらわんか体操を行った後に、A.映画鑑賞会、B.認知症予防・健康づくり等の講演、C.シーズンによってお花見等を実施
最後にNHKのラジオ体操第1・2とみんなの体操を行う。
- ②参加者全員の出席カード（名札）を作成。帰宅時に次の開催予定日を出席カード(名札)の中に入れて帰ってもらっています。
- ③ポイント制を実施。例えば、元気づくり体操参加者に10点、ふれあいサロン参加者に5点、夏休みラジオ体操(7月21日～8月25日毎日)・冬休みラジオ体操（12月23日～1月6日毎日）1日参加で2点を与え、3月末日に集計、高得点者にプレゼントを授与
- ④男性参加者を増やすために8月に第1回、体操を兼ねた居酒屋「絆」を開催。男性参加の増加を狙う。

紹介したい取り組みや工夫していること

16. ①参加者がプログラムに参加出来るよう、内容を考える。手芸、工作やクイズ等(誰もが分かりやすい内容)
- ②サロン時間内で、少しでも多く笑ってもらえるよう楽しい会話をするようにしている。(自立したサロンにするには難しい、特に福祉委員のリードを求めているように思う。)
- ③1回は4時間の長時間のサロンだが、誰一人途中で帰る人がいないのは喜ばしいことです。次回を楽しみにして帰られます。
17. 担い手の負担を極力増やさない中で、情報の充実や意識啓発（気づき）を図ることにより、質的な拡大を目指しています。

紹介したい取り組みや工夫していること

18. 喫茶「つどい」 毎週土曜日 AM10:00～PM2:00迄活動

1 回に30～40名の方が楽しみに参加して、元気の源となっています。それを支えるボランティアは6～7名。常時活動、参加者の話し相手等、お手伝いをして頂いて活動の活発化に貢献している。また、近隣の他自治会地域にもチラシ、呼びかけを行っており上記参加者の確保につなげ参加費につなげたいと思う。顔合わせにより地域コミュニケーションが強化されています。また地域包括支援センター主催の定例会議により、校区の情報交換が意義深いです。

紹介したい取り組みや工夫していること

19. 居場所づくりとして、2月から月2回、自治会館にて「健康長寿の会」を開催しています。老人会もなくなり、いきいきサロン等への参加者も少ない地域です。毎回、健康体操の後にみんなで脳トレゲームや歌声喫茶が楽しめます。スタッフが一生懸命ネタを探して提供しています。大きなスクリーンに歌詞を映したり、ゲームの問題を映し、みんなで歌いますが、みんな明るい笑顔で楽しそうです。コミュニケーション麻雀も大人気で、一卓を12名で囲みます。美味しいコーヒーを飲みながら楽しい時間を共有していますよ。
20. 毎月第2・4土曜日を元気広場の日として、グランドゴルフや楽10体操やカーリンコン等行っている。住民が楽しめる行事をもっと多く考えていきたい。

紹介したい取り組みや工夫していること

21. ①「じゅんさん家」での活動を広く周知する。
②「神社カフェasaiku」での活動を広く周知する。
③「のぼり池」での活動を広く周知する。
22. 校区が広いので、1か所だけでは中々足を運んでいただけないので、現在3か所とグランドゴルフの計4か所で細々と取り組んでいる。男性の方の参加を促すような取り組みが中々実現できていない。それなりに頑張っているかな？くらいです。

紹介したい取り組みや工夫していること

- 23. 地域において、地域元気づくり教室の活動に積極的に取り組んでおります。
- 24. 初めての取り組みなので、他の校区の活動を参考にしながら、勉強して行きたいと思います。

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	津田	会 議 名 称	津田校区元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	津田校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター東香会
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	【当面の取り組み】 ・地域の実情や活動を集約して共有する。 ・地域の高齢者の調査と実態把握を行う。 ・参加できる地域イベントや周知方法について検討していく。 ・一人暮らし老人会の再開に向けて方法を検討していく。		
	【取り組みの広がり】 ・仲間がいて、ふらっと気軽に立ち寄れる居場所づくりを検討する。 ・参加することで元気になれる体力づくり(ひらかた元気くらわんか体操を取り入れる) ・元気な高齢者が活動ができて、活躍できる取り組みを検討する。		
主 な 活 動 内 容	枚方市生活支援員養成研修参加	コーディネーター1名と民生委員1名参加	
	居場所づくりの検討	ひらかた元気くらわんか体操実施の周知及び視察、参加者からの聴取	
	ひらかた元気くらわんか体操の実施	月1回から2回程度実施	
	世代間交流イベントの実施	津田校区もちつき大会 ひなまつりにて雛人形、老人会・保育所・児童の作品展示	
	福祉大学(イベント)開催	命を守る歯の健康、コカリナ演奏	
	施設の見学と設備の体験		

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	菅原校区	会 議 名 称	菅原元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	菅原元気づくり地域づくり協議体	事 務 局	地域包括支援センターあおぞら
設 置 届 出 年 月	平成29年9月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	各種行事の時に「ひらかた元気くらわんか体操」を取り入れる等、介護予防体操の普及に努める。 「いきいきサロン」等の高齢者対象の事業への参加の呼びかけ、継続に努める。 住民全体が役割・生きがいを持って参加できる居場所づくりや気軽に集える居場所づくりの検討 ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯等の見守りを継続		
主 な 活 動 内 容	高齢者居場所づくり	ひらかた元気くらわんか体操の継続実施	
	福祉だよりにて認知症予防の呼びかけ	ひらかた元気くらわんか体操普及指導者向けにDVD配布	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	氷室	会 議 名 称	氷室校区元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	氷室校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター東香会
設 置 届 出 年 月	平成29年5月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	【当面の取り組み】 ・3区4自治会がしている活動を集約して共有する。 ・ほっと館を充実させるための検討を行っていく。 ・ほっと館まで来れない人の居場所づくりを検討する。 ・認知症の人の対応、早期発見するための方法について検討する。 ・定年後の若い高齢者の役割を考える。アンケート調査等検討する。 ・一人暮らし老人会、シニア会の参加メンバーを増やすためのPR活動等取り組みを検討する。		
	【取り組みの広がり】 ・出前ほっと館の検討。小さな居場所づくりの広がり。 ・参加することで元気になれる体力づくり(ひらかた元気くらわんか体操を取り入れる) ・元気な高齢者が実践活動ができ、活躍できる取り組みを検討する。 ・ボランティアの充実に取り組む。		
主 な 活 動 内 容	3区4自治会の活動を集約	アンケート調査、現状分析・把握	
	ひらかた元気くらわんか体操の実施	三陽台「モーニングカフェ」、穂谷いきいきサロン、喫茶フレンドリー、ふれあいモーニング、グリーンタウンいきいきサロン公民館等で実施	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	田口山	会 議 名 称	田口山校区ふくしまちづくり計画進行管理委員会
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	田口山校区福祉委員会	事 務 局	田口山校区コミュニティ協議会
設 置 届 出 年 月	平成29年6月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	会議での意見交換に基づき、情報収集シートを作成して、地域の情報収集を行う。 地域の情報収集後、情報共有を行い、今後の活動の検討を行う。		
主 な 活 動 内 容	介護予防・日常生活支援総合事業周知	広報紙にて周知	
	内容把握・会議名称・会議内容の検討、決定	地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員との会議	
	情報収集シートによる情報収集	地域で行われるサークル活動、集いの場について、活動場所の環境等の調査 調査内容を一覧にまとめて配布	
	既存活動の充実	現状把握、改善方法検討	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	津田南	会 議 名 称	津田南校区コミュニティ協議会
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	介護予防・日常生活支援協議体	事 務 局	地域包括支援センター東香会
設 置 届 出 年 月	平成29年5月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	①体力づくり・元気づくり ・ひらかた元気くらわんか体操の普及に努める。各地域行事に取り入れる。 ・積極的に推進した団体・グループには奨励賞として表彰する。		
	②集いと交流 ・校区福祉委員会は高齢者対象行事の拡大継続に努める。 ・各自治会の老人会との活動と連携し、新しい老人会を結成し、高齢者の生きがいができる団体を目指す。		
	③安心と安全 孤独死を出さないために、 ・地域自主防災訓練等に参加し、近隣住民との日常の声かけ、挨拶運動の推進を行う。 ・地域自主防災役員は、地区民生委員と年2回以上高齢者訪問を計画して見守りを行う。		
	④各地域での活動整理、実態調査の整理、課題抽出・課題解決に向けた検討 地区別に課題抽出、整理、地区別に解決プラン立案		
主 な 活 動 内 容	情報収集	地域の資源を整理、地域のニーズの把握を行い、事務局で情報を集約	
	子ども食堂の参加検討	デイサービスなないろと子ども食堂へ的高齢者の参加について検討	
	音楽療法、機能訓練、座談会等について検討・実施	特別養護老人ホームアイリスと実施に向けた打ち合わせを行った。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	菅原東	会 議 名 称	結
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	菅原東校区福祉委員会	事 務 局	菅原東校区福祉委員会
設 置 届 出 年 月	平成29年2月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	閉じこもりや孤立している高齢者への働きかけによる生きがい・役割づくり。 ぶらっとホームを活用した介護予防・集い・楽しみの拠点づくり。 校区だより(全戸配付)による周知・啓発活動		
主 な 活 動 内 容	月3回イベントの開催	イベントと体操を取り入れ、参加者を増やす取り組みを行う。歌と体操を取り入れる(脳内体操など)	
	コミュニティサロンにおける活動支援	コミュニティサロンにおける参加者及びグループ別の参加者を対象に皆勤賞の授与	
	健康フェスタの検討	平成30年度開催に向けて検討・準備	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	藤阪	会 議 名 称	元気かい！藤阪
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	藤阪校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター大潤会
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	藤阪校区内の集いの場や活動内容等の情報収集を行い、会議で共有する。 情報共有後、今年度のテーマや取り組み内容を決定していく。 新しい居場所が開設できる環境づくりを進める。		
主 な 活 動 内 容	元気かい！藤阪会議の取り組みを地域に周知する。	会議で検討した内容について、広報紙等を通じて周知する。	
	高齢者が参加する活動など、居場所事業に参加を促す。	活動に参加している高齢者に元気が持続すること等について意見交換する。	
	校区内で「居場所」「元気づくり」の拡大に向け取り組みを進める。	自治会、老人会、介護保険施設等の協力を得て具体化を図る。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	西長尾	会 議 名 称	西長尾元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	西長尾元気づくり地域づくり協議体	事 務 局	地域包括支援センターあおぞら
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	校区福祉委員会活動として行っているサロンや地域活動等を充実させる。 ひらかた元気くらわんか体操の普及啓発を行う。 地域での集いの場の創出に向けて取り組む。 防災の意識を持って、皆で助け合う地域づくりに取り組む。		
主 な 活 動 内 容	サロンや地域活動の充実	DVDでひらかた元気くらわんか体操を実施	
	老人クラブのサークル活動の充実	活動時にひらかた元気くらわんか体操を実施	
	ひらかた元気くらわんか体操の普及啓発活動	夏休みラジオ体操で大人と子供が一緒に行う。	
	集いの場の創設に向けての準備	現在行っているサークル活動に体操を取り入れるよう普及に努める。	
	ひらかた元気くらわんか体操のサロン立ち上げ	体操の後にヨガ、踊りや民謡を取り入れ活動を行う。	
	地域活動	清掃活動、ミニスポーツ大会、団地内の草刈、剪定作業	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	桜丘	会 議 名 称	桜丘校区第2層協議体
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	地域包括支援センター松徳会	事 務 局	地域包括支援センター松徳会
設 置 届 出 年 月	平成29年2月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	体力づくり元気づくり ・体操できる場など各々活動している団体の情報を取りまとめ、地域住民に向けて周知を行い、活動の拡大・充実を図る。		
	参加・活動、集いの場 ・いきいきサロン、同世代交流などへの出前講座を開催する。 ・各種団体が行う高齢者向け活動の情報を取りまとめる。		
主 な 活 動 内 容	参加・活躍・集いの場の取り組み	コーディネーターが各活動場所へ訪問。課題などの情報収集を行う。アンケートを実施して活動内容の情報を取りまとめる。	
	体力づくり・元気づくりの取り組み	①各自治会・老人会への出前講座を開催し、介護保険等について説明や案内、各種情報提供を行う。体操や脳トレなどのレクリエーション等主催者からの依頼に応じて、講師派遣を行う。 ②各活動場所へ訪問し、情報収集を行う。老人会・自治会・福祉委員・民生委員の活動に加え、自主的な趣味活動のグループの活動を収集する。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	山田	会 議 名 称	山田校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ー ナ ー	山田校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センターサール・ナート
設 置 届 出 年 月	平成29年9月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	既存の活動は継続しながら、それらの活動内容や地域の課題について情報を共有する。 情報を共有し、今後どのような計画を立てていくべきか話し合いをすすめていく。		
主 活 動 内 容	山田校区ふれあいまつり実施	地域世代間交流イベントとして、小学校で、餅つき、豚汁配布を行う。また、ホールインワンゴルフ、紙飛行機作成等を実施することで交流を図る。	
	第5圏域地域ケア会議	介護予防・日常生活支援総合事業について各校区の取り組み状況を報告して、意見交換	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	明倫	会 議 名 称	明倫校区元気づくり地域づくりプロジェクト
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	宮之阪商店街振興組合	事 務 局	地域包括支援センター松徳会
設 置 届 出 年 月	平成29年10月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	高齢者向けの「地域いきいき笑顔カフェ」を毎週開催 宮ノサポのサポーターによる各種教室の開催（生涯活動の推進） 認知症サポーター養成講座の開催（商店街内の会場） 子どもいきいき笑顔食堂の開催（多世代間交流） 上記内容の継続に加え、 ・ちよいサポ サポーター育成講座 ・地域の高齢者の困りごとと、サポーターのできることのマッチング ・みやのさかで朝体操		
主 な 活 動 内 容	宮ノサポ会議との連携	元気づくり・地域づくり会議について報告 校区の取り組み、宮ノサポの取り組みの紹介	
	認知症サポーター養成講座の開催	地域包括支援センターによる講座及び枚方警察による 特殊詐欺について	
	ちよいサポ講座の開催	宮ノサポのサポーター希望者を対象とした講座 ボランティアや老化についての事例紹介など	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	殿山第一	会 議 名 称	殿一校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	殿一校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター安心苑
設 置 届 出 年 月	平成29年5月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	坂が多く外出を阻んでいることから移動支援を検討する。 今ある行事を活性化していく。 老人クラブの活性化と加入促進 商店会・介護保険事業所との連携		
主 な 活 動 内 容	高齢者スタンプラリー	商店会の事業の案内を自治会、福祉委員会が積極的に行う。	
	地域活動把握の推進と「あったらいいな用紙」で自由な発想で考える。	校区福祉委員会、老人会で配布	
	登山会について検討	登山を行い、元気づくりをしていく4ルートを検討	
	ウォーキングイベントについて検討	ウォーキング御殿山について実施検討・準備	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	交北	会 議 名 称	交北校区コミュニティ協議体
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	交北校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センターサール・ナート
設 置 届 出 年 月	平成29年2月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	現活動の情報共有・意見交換を行う。		
	既存活動を継続しながら意見を出し合い、取り組み内容を決定していく。		
主 な 活 動 内 容	老人会や自治会の活動状況の共有	各老人会での現状の取り組みについて共有	
	元気づくり地域づくりに適した活動の選定	校区内団体の活動を元気づくり地域づくりの活動として支援を行う。(今年度9団体支援)	
	第5圏域地域ケア会議	介護予防・日常生活支援総合事業について各校区の取り組み状況を報告して、意見交換	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	中宮校区	会 議 名 称	中宮校区元気づくり地域づくりプロジェクト
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	中宮校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター松徳会
設 置 届 出 年 月	平成29年6月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	【目的】 ・中宮校区の住民に対し、「気軽に」「身近に」「楽しく」をキーワードに介護や介護予防についての啓発を行う。 ・住み慣れた地域で、いくつになっても暮らせるように、「元気づくり」「地域づくり」の両面にアプローチする。 【内容】 運動教室、体力測定会のような取り組みを行い、相談会を行っていくことの啓発を行う。		
主 な 活 動 内 容	ひらかた元気くらわんか体操・グラウンドゴルフ体験会開催	自治会館にて、ひらかた元気くらわんか体操を行い、公園に移動してグラウンドゴルフを実施	
	一人暮らし老人会参加	新年会にて元気づくり地域づくりプロジェクトの広報実施	
	高齢化地域への戸別訪問	民生委員と一緒に一人暮らしの高齢者宅に訪問し「ひらかた元気くらわんか体操とグラウンドゴルフ体験」の周知活動	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	小倉	会 議 名 称	小倉校区健康づくり会
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	小倉校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター安心苑
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	校区コミュニティ協議会主催で介護事業所等と連携を図り、各種講座を行う。 ひらかた元気くらわんか体操の普及啓発を行う。 自治会単位で地域でできることを検討する。		
主 な 活 動 内 容	地域活動の一覧表の作成と配布	各自治会長に資料提供し、情報共有	
	校区全体でけんこう交流会を開催	からだの健康づくり・こころの健康維持を目的に介護予防や感染症などについての交流会(年2回実施)	
	ひらかた元気くらわんか体操の普及	地域のカラオケ大会、区民体育祭、各自治会での集まりの際に体操を行う。 DVDプレーヤーを購入し、活動普及に取り組む。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	磯島	会 議 名 称	磯島校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	磯島校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター安心苑
設 置 届 出 年 月	平成29年12月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	地域課題把握 : 居場所の問題 地域の強み : 校区福祉委員活動が活発 活動方針 : 施設の協力を得ながら、福祉委員の活動をより広げていく。		
主 動 内 容	概ね70歳以上の一人暮らし高齢者の方を中心とした懇親会の実施	介護予防の体操、大道芸手遊び、頭の体操、ビンゴゲーム等、校区全体で集まる場所と地域密着型サービスの地域とのつながりをひろげるために地域密着型介護老人福祉施設(小規模な特別養護老人ホーム)を利用	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	桜丘北	会 議 名 称	桜丘北校区連絡会
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	—	事 務 局	地域包括支援センター松徳会
設 置 届 出 年 月	平成29年2月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	地域の情報共有・意見交換 子供と高齢者がふれあう場「世代間交流」の企画を立案し、実施に向けて進めていく。 今あるものを充実させるための展開を行う。		
主 活 動 内 容	世代間交流イベントの企画、実施	体力測定、ノルディック体験、昔遊び、作品展、地域情報コーナー、スタンプラリーの実施	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	中宮北	会 議 名 称	中北元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	中宮北校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センターサール・ナート
設 置 届 出 年 月	平成29年3月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	高齢者だけでなく地域福祉として支援が必要な方の支援方法等について検討していく。 ふれあいサロンなど各種行事の企画、講師などの手配、関係機関との調整 校区での課題抽出		
主 な 活 動 内 容	高齢者訪問	日常的な声かけ運動	
	ふれあいサロン企画	ダーツ、ペットボトルボーリング、盆踊り、七夕飾り作成、食事会、フラワーアレンジメント	
	世代間交流の参加・協力	校区夏祭り、クイズラリー、給食試食会、親子グラウンドゴルフ大会、親子サロン、もちつき大会 児童への登校指導・あいさつ運動	
	健康講座	ヒートショックの予防啓発講座と脳トレ体操	
	第5圏域地域ケア会議	介護予防・日常生活支援総合事業について各校区の取り組み状況を報告して、意見交換	
	一人暮らし老人会	定例会への参加	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	山田東	会 議 名 称	山田東元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	山田東校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センターサール・ナート
設 置 届 出 年 月	平成29年7月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	現在の地域活動の情報共有や意見交換を行う。 既存の行事、活動を継続しながら、山田東校区らしい取り組みを検討していく。		
主 活 動 内 容	グラウンドゴルフ大会の実施	準備体操でひらかた元気くらわんか体操を実施	
	第5圏域地域ケア会議	介護予防・日常生活支援総合事業について各校区の取り組み状況を報告して、意見交換	
	介護保険事業所の無料開放体験	介護保険事業所の空き時間を活用し、元気高齢者を増やせる取り組みを検討	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	枚方	会 議 名 称	枚方校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	枚方校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センターみどり
設 置 届 出 年 月	平成29年6月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	枚方校区の特色あるイベントの企画・運営を行う。 各自治会独自の運動を共有して、自治会間の絆づくりを推進する。 屋外活動を推進し、「引きこもり生活」から生涯「健康寿命」で生活できる環境づくりを推進する。		
主 な 活 動 内 容	イベント企画	野外劇場での介護予防	
	サロン開催	レクリエーション	
	高齢者居場所づくり事業の推進	高齢者居場所づくり事業の登録	
	作品展開催	作品の展示会	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	枚方第二	会 議 名 称	枚二校区コミュニティ協議会
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	介護予防・日常生活支援協議体(枚二みつば)	事 務 局	地域包括支援センターみどり
設 置 届 出 年 月	平成28年12月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	①体力づくり・元気づくり ・スポーツ推進員は「ひらかた元気くらわんか体操」(以下、体操)の普及に努める。 ・各町自治会および福祉委員会は各種行事の開催に当たり体操を取り入れる。 ・体育振興会は区民体育祭をはじめスポーツ行事(球技大会等)に体操を取り入れる。		
	②参加・活躍つどいの場 ・福祉委員会は「いきいきサロン」等の高齢者対象事業の拡大継続に努める。 ・各町自治会会員は相互に各種町内行事への参加勧誘の強化に努める。		
	③くらしのサポート ・近隣住民は相互に日常の声掛けを励行する。 ・福祉委員会は年2回の高齢者訪問見守りを継続する。 ・各町自治会(主に役員)は年2回の高齢者訪問見守りを行う。 ・「オレンジのわ」は協議体の趣旨に基づき積極的に事業を展開する。 ・校区住民は「配慮を必要とする人」と日常的かつ積極的に関わることを旨とする。		
主 な 活 動 内 容	高齢者居場所づくりを実践する	月1回体操・カフェ・ゲームを3会場で実施 (正月には、体操・カフェ・ゲームに加え、マジックショーを実施)	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	蹉跎	会 議 名 称	蹉跎校区元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	蹉跎校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター美郷会
設 置 届 出 年 月	平成29年9月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	地域の課題について検討する。 会議が多いと参加が困難になるため、他の会議の前後に行うなどして、参加団体を増やしていく。		
主 な 活 動 内 容	地域の活動団体・組織の把握		

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	香里	会 議 名 称	あいさつのまち香里
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	香里校区福祉委員会	事 務 局	香里校区福祉委員会
設 置 届 出 年 月	平成29年3月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	いきいきサロンでのひらかた元気くらわんか体操の継続実施 老人会でのひらかた元気くらわんか体操の継続実施 青パトを活用した徘徊者の見守り活動の継続 ひとり暮らし高齢者の新年懇親会にてひらかた元気くらわんか体操実施 認知症サポーター養成講座を開催認知症サポーター養成ステップアップ編実施 個別支援の継続		
主 な 活 動 内 容	「ひらかた元気くらわんか体操」の導入	いきいきサロンや老人会活動時にひらかた元気くらわんか体操を実施	
	認知症サポーター養成講座を開催	青パト事業協力者を対象に講師による講義と意見交換 認知症サポーター養成ステップアップ編実施	
	青パトを活用した徘徊者の見守り活動の実施	認知症サポーターの研修受講者を同乗してパトロールを実施	
	個別支援の継続	認知症高齢者等の個別支援等	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	開成	会 議 名 称	開成元気づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	開成校区コミュニティ協議体	事 務 局	地域包括支援センターアイリス
設 置 届 出 年 月	平成29年7月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	①体力づくり・元気づくり ・スポーツ推進員は「ひらかた元気くらわんか体操」(以下、体操)の普及に努める。 ・各町自治会および福祉委員会は各種行事の開催に当たり体操を取り入れる。		
	②参加・活躍つどいの場 ・校区福祉委員は「いきいきサロン」等の高齢者対象事業の拡大継続に努める。 ・各町自治会・管理組合会員は相互に各種町内行事への参加勧誘の強化に努める。		
	③くらしのサポート ・近隣住民は相互に日常の声掛けを励行する。 ・校区福祉委員は年2回の高齢者訪問見守りを継続する。 ・各町自治会(主に役員)は年2回の高齢者訪問見守りを行う。 ・校区住民は「配慮を必要とする人」と日常的かつ積極的に関わることを旨とする。		
主 な 活 動 内 容	開成地域交流会	校区コミュニティ全体会終了後に開催	
	「こころ」と「からだ」生き生き講座	保健センターによる講座を開催	
	グランドゴルフ大会及び練習会	開成小学校グランドで計23回実施予定	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	春日	会 議 名 称	春日校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	春日校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター大阪高齢者生協
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	自治会、同好会を中心に実施している活動を継続推進し、活動の支援を行う。 地域で既に実施している活動を支援し、活性化させる。 新たな取り組みを企画、活動の支援を行う。 会議を定期的に行い、情報交換を行う。		
主 な 活 動 内 容	各自治会、老人会における「元気づくり・地域づくり」に関する行事を調査する。(現状把握)	自治会長にアンケート用紙を配付して記入してもらう。	
	地域のふれあいの場や老人会の年間行事計画を調査	校区コミュニティ協議会や自治会のふれあいの行事、老人会にて今年度の計画及び課題を開く。	
	校区コミュニティ協議会に「元気づくり・地域づくり会議」の進め方を説明して協力を得る。	計画や進行状況を報告する。	
	高齢者居場所づくり事業の登録	各自治会長が「高齢者居場所づくり事業」の登録を市に提出する。	
	自治会別「元気づくり・地域づくり」活動計画の推進	「元気づくり・地域づくり」の活動計画を提出してもらう。	
	こーらくカフェ開催	高齢者以外にも夫婦や子供の参加 参加者からオカリナやハーモニカ演奏をしてくれて唱歌を皆で歌う。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	山之上	会 議 名 称	山之上校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	山之上校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センターみどり
設 置 届 出 年 月	平成30年3月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	ひらかた元気くらわんか体操を実施し活動拠点づくりを広げる。 高齢者の居場所づくりに取り組む。 地域のニーズを把握し、解決に向けたプランニングを行っていく。		

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	香陽	会 議 名 称	香陽元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	香陽校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センターアイリス
設 置 届 出 年 月	平成29年2月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	【当面の取り組み】 福祉委員会や老人会、自治会等が取り組んでいる内容を把握し、介護サービス利用者数の把握など、実態把握を行う。 香陽元気クラブ(仮称)の立ち上げに取り組む。		
	【取り組みの広がり】 スポーツ推進委員・体育委員も各行事でひらかた元気くらわんか体操を取り入れる。 色々な活動の場が地域にたくさん生まれる事を目標に、既にある活動の広がりを検討する。 地域のミニデイ等の事業の創設につながる取り組みを検討する。 地域の行事や取り組みに「活動移動支援事業」の活用等を検討しながら、参加者数の増加を目指す。		
主 な 活 動 内 容	居場所の実態把握のため元気づくり地域づくりプロジェクトアンケート実施	校区内60歳以上の住民対象、自治会単位	
	しょうとくまちかどステーションとの交流	見学をかねて会議と情報交換	
	小学生のための認知症サポーター養成講座	6年生と会議メンバーで実施	
	敬老のつどいでひらかた元気くらわんか体操の実施	参加者全員で体操実施	
	多職種連携研修	介護保険事業所と地域住民でパネルディスカッションと交流	
	担い手希望者交流会	元気づくり・地域づくりプロジェクトの説明、助け合い体験ゲーム	
	元気づくり教室の実施	ひらかた元気くらわんか体操や理学療法士を招いてのストレッチや筋トレを実施	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	蹠陀西	会 議 名 称	絆でつなぐ蹠陀西
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	蹠陀西校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター美郷会
設 置 届 出 年 月	平成29年8月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	地域の課題について検討する。 ふれあいサロンや一人暮らし懇談会等にてひらかた元気くらわんか体操の実施を検討する。		
主 活 動 内 容	蹠陀西校区ふれあいサロン	終了後にひらかた元気くらわんか体操を実施	
	蹠陀西校区映画会	映画上映前にひらかた元気くらわんか体操を実施	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	川越	会 議 名 称	川越校区「元気ハツラツ・地域づくり」協議体
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	川越校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター大阪高齢者生協
設 置 届 出 年 月	平成29年2月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	お手軽に利用できる介護予防拠点づくり 高齢弱者が参加できる居場所づくり充実活動		
主 な 活 動 内 容	元気ハツラツ・地域づくり事業の実施	歩こう会、グラウンドゴルフ大会、ラジオ体操、ボーリング大会、長寿の集い、川越フェスティバル、年賀交歓会、元気講座等の開催支援	
	弱者等の見守り活動	地域別に要支援者の把握・見直し、見守り活動	
	野外・室内ゲーム・競技等普及活動	囲碁・将棋 毎週土曜日午後1時 毎月開催	
	地域サロンの支援	校区内6か所実施	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	蹉跎東	会 議 名 称	蹉跎東校区元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	蹉跎東校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター美郷会
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	高齢者が地域で「自分らしく」元気に暮らし続けるための仕組みづくりに取り組む。 地域の課題を抽出することから始めて、現在行っている活動に新たに組み入れていけるようにしていく。今後、地域からの課題に対しどのような取り組みが可能か検討する。		
主 な 活 動 内 容	高齢者との集いの実施	幼児、児童、学生（小・中・高・大）、高齢者が舞台出演（台風接近のため中止）	
	元気づくり・地域づくり「グラウンド大会」の実施	小学校と高齢者がチームを組んで世代間交流を行う。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	東香里	会 議 名 称	東香里元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	東香里校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター大阪高齢者生協
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	①体力づくり・元気づくり ひらかた元気くらわんか体操の普及に努める。		
	②活動・仲間づくり 福祉委員会、自治会、老人クラブ主催の地域行事への参加の声かけを行う。		
	③くらしのサポート ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるように、近所の理解と、ちょっとした手助けや見守りを心がける。		
主 な 活 動 内 容	福祉委員会のVタイム内に工作のコーナーを設ける。	参加自由で、簡単な手作業をしてもらう。 平成29年4月から平成30年3月までの第1と第4木曜日 (8月、1月と開催日が祝日に当たる場合は休み)	
	ひらかた元気くらわんか体操を実施	Vタイム内で体操を実施し、手作業はドンダリのマスコット作り	
	認知症予防の講義開催。	脳と体の運動、脳のトレーニング、脳と体に良い食生活、脳機能改善メニューなど	
	居場所づくりについて検討	高齢者居場所づくり事業の推進	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	伊加賀	会 議 名 称	暮らすメイト伊加賀
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	伊加賀校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター美郷会
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	平成28年度の伊加賀校区活動計画内容を継続し、卓球イベントの追加など活動を活性化させる。 ふれあい交流会や食事会等開催している内容に、介護予防の取り組みとして出前講座や元気はつらつ事業等を追加して、介護予防の意識向上を図っていく。		
主 な 活 動 内 容	ふれあい交流会・いきいきサロン	新年のつどい等	
	世代間交流	七夕のつどい、クリスマス	
	ふれあい食事会	A班・年4回、B班・年4回、合同で1回	
	地域ふれあいリハビリ活動	グラウンドゴルフ(第4土曜日)、カーリンコン & 卓球ウォーキング(年4回)	
	見守り声かけ活動と相談機能の強化	日常的支えあい活動の定着、信頼関係の構築	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	殿山第二	会 議 名 称	殿二校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ー ナ ー	殿二校区福祉委員会	事 務 局	殿二校区福祉委員会
設 置 届 出 年 月	平成28年12月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	殿二校区第3次計画の行動方針と同様に、重点目標の視点を取り入れ、既存事業の見直しや拡充によって、質的な拡大を目指していく。 第3次 殿二校区ふくしのまちづくり計画 1. 校区目標「人と人とのつながり、安全・安心のまちづくり」 第1次計画次時に設定した校区目標を、持続的な指針として継承していく。 2. 重点目標「いのちを健やかに、育む・保つ」 殿二校区では、高齢化が徐々に進行する一方で、年少人口率は横ばいを保っている。貴重な地域の「子宝」で ある子どもたちを健やかに育むとともに、ただ長生きするのではなく、健やかな生活を長続きさせ、健康寿命を		
主 な 活 動 内 容	殿二校区黄金世代のグランドチャンピオン表彰	卓球大会やグラウンドゴルフ大会における校区高齢者の最上位者をグランドチャンピオンに認定する。	
	悪質な訪問勧誘ステッカーの校区全体での掲出	高齢者の消費者被害拡大防止のため、見守り活動従事者による啓発を進める。	
	殿二校区安心安全フェスタにおける防犯教室の実施	高齢者の消費者被害拡大防止のため、防犯教室を実施し、校区住民の啓発を図る。(2回実施)	
	校区元気づくり教室等の検討	次年度へ向けて、地域元気教室や、元気はつらつ活動事業の検討を進める。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	樟葉	会 議 名 称	第1圏域元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	地域包括支援センター社協こもれび	事 務 局	地域包括支援センター社協こもれび
設 置 届 出 年 月	平成29年5月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	新たな居場所や活動拠点づくりを検討する。 常設の居場所づくり・居場所における世代間の交流に取り組む。 元気な高齢者が参加、活動できる取り組みの検討を行う。		
主 な 活 動 内 容	介護保険事業所での居場所づくり活用	日曜日に居場所として開放できるか検討	
	「じゅんさん家」プロジェクト	空き家を借りた居場所カフェを実施	
	「美郷カフェ」プロジェクト	施設のスペースを日曜日に開放してもらい居場所カフェを実施	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	樟葉南	会 議 名 称	第1圏域元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	樟葉南校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター社協こもれび
設 置 届 出 年 月	平成29年3月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	介護予防・日常生活支援総合事業の地域としての取組みの具体化 実態把握とニーズ調査を目的に、校区内全自治会(13)が高齢者の調査とリストを作成する。 校区内の拠点(居場所)づくりに取り組む。 校区福祉委員と全面的に協力して健康体操を実施する。		
主 な 活 動 内 容	居場所づくりの推進	きずなの輪の活動の実施 北船橋喫茶つどいの活動実施 高齢者居場所づくり事業の検討	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	樟葉西校区	会 議 名 称	樟葉西校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ー ナ ー	樟葉西校区コミュニティ協議会	事 務 局	地域包括支援センター社協ふれあい
設 置 届 出 年 月	平成29年2月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	①地域の実情や活動を共有し、構成員間の情報交換、交流、連絡、地域課題の共有に関すること。 ②事業の企画及び実施に関すること。 ③活動場所や人材を増やしていくこと。 ④アイデアを出し合い、できるところから進めていくこと。 ⑤上記①～④のほか、地域の活性化を目的とする事業を実施していくこと。		
主 な 活 動 内 容	並木カフェの開催	偶数月に開催	
	笑いヨガ講習会の実施	講師による笑いヨガ実施	
	樋上100円喫茶の開催	月2回開催	
	歌ってスマイルの実施	高齢者の口腔の課題と予防トレーニングを学ぶ。	
	校区だより全戸配布	校区だよりを地区内全戸配布	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	西牧野	会 議 名 称	西牧野校区元気づくり・地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	地域包括支援センター安心苑	事 務 局	地域包括支援センター安心苑
設 置 届 出 年 月	平成29年4月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	西牧野校区内における課題の抽出と課題解決に向けた意見交換を行う。 会議での意見を踏まえ、地域課題の整理と解決プランの策定・提案活動を行うとともに、関係部門への調整や報告を行う。		
主 な 活 動 内 容	地域の活動の集約	地域の活動を集約後、地域に配布	
	校区全体の新たな居場所づくり	・地域の会館をトイレ改修し集いの場として活用する。 ・ポスター、回覧作成、チラシ戸別配布し周知を図る。 ・運営は当初は元気づくり地域づくり会議メンバーで行う。徐々に地域で運営できるようにしていく。	
	お助け隊の活動の推進	グレースコーポお助け隊を結成。校区お助け隊と連携してかんたんな困りごと支援に取り組む。 お助け隊の隊員を募集して活動の担い手の確保につなげる。	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	樟葉北	会 議 名 称	第1圏域元気づくり地域づくり会議
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	地域包括支援センター社協こもれび	事 務 局	地域包括支援センター社協こもれび
設 置 届 出 年 月	平成29年5月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	新たな居場所や活動拠点づくりを検討する。 常設の居場所づくり・居場所における世代間の交流に取り組む。 元気な高齢者が参加、活動できる取り組みの検討を行う。		
主 な 活 動 内 容	介護保険事業所での居場所づくり活用	日曜日に居場所として開放できるか検討	
	「じゅんさん家」プロジェクト	空き家を借りた居場所カフェを実施	
	「美郷カフェ」プロジェクト	施設のスペースを日曜日に開放してもらい居場所カフェを実施	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	船橋	会 議 名 称	元気！ふなはし
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	船橋校区福祉委員会	事 務 局	地域包括支援センター聖徳園
設 置 届 出 年 月	平成29年7月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	地域課題について検討し、できるところから少しずつ始めていく。 地域住民のほか、校区内にある介護保険事業所も参加し、皆が意見を出し合うことで意義ある活動としていく。		
主 な 活 動 内 容	ふなはし元気づくりサロン	毎月第1～3金曜日 10～12時開催 ひらかた元気くらわんか体操、コーラス、茶話会等	
	枚方ハイツ元気いきいきサロン	毎月第1・2・3土曜日 10時～12時開催 ひらかた元気くらわんか体操、麻雀、手芸、カーリンコン、茶話会	
	東フルール体操サロン	毎月第2・4木曜日 午後1～2時 ひらかた体操、脳トレ、コーラス	
	グラウンドゴルフ開催	毎週月曜日 隔週水曜日 9～11時（毎週火曜日は他の地域の方も参加可能）	

平成29年度 元気づくり・地域づくりプロジェクト 活動内容			
小 学 校 区	平野	会 議 名 称	平野校区元気広場
コ ー デ ィ ネ ー タ ー	介護予防・日常生活支援協議体	事 務 局	地域包括支援センター聖徳園
設 置 届 出 年 月	平成29年3月		
検 討 内 容 ・ 活 動 方 針	地域の行事(グランドゴルフ大会・夏祭り・校区体育祭・平野フェスティバル)に関する事項を協議体で検討し活動を充実させる。 地域の高齢者の健康づくりや行事の参加を呼びかけを行う中で、課題抽出を行っていく。		
主 な 活 動 内 容	グランドゴルフ大会の開催	毎月第2、3土曜日に開催グランドゴルフ後に交流会を実施	
	楽10体操の実施、居場所づくり	体操の後、気軽に談笑できる場として活用する。	
	活動の周知	グラウンドゴルフの開催案内チラシを全戸配布	

高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果 【平成 29 年度】

平成 29 年度登録の高齢者居場所の数：51 か所

延べ利用者数：**18,221 人**（65 歳以上：16,985 人、その他：1,236 人）
 延べ開催回数：1,336 回（うち、9 か所は平成 30 年度開設予定等で 0 回のため 42 か所の開催回数）
 月あたりの開催頻度（平均）：4 回（最大 23 回、）

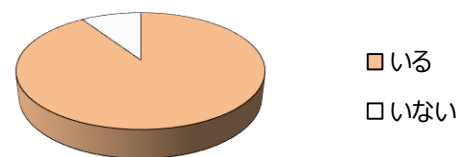
アンケート集計結果（回答：42 か所）

1. 高齢者居場所の運営について

Q：世話人はいますか。

核となるリーダー的存在の人がいる居場所、
 みんなで役割分担しながら運営している
 居場所がある中で、9 割の居場所で世話
 人がいる状況であった。

居場所の世話人



2. 会場使用料や光熱費等の運営費用について

Q：会場費、光熱費はどのようにしていますか。

実施主体の会費等で運営	20 か所	
場所の無償提供	11 か所	
その他	5 か所	寄付金等の別事業の負担
参加者の実費負担	4 か所	1 人 1 回あたり 500 円以下
無回答	2 か所	

実施主体の会費、場所
 の無償提供により運営し
 ている高齢者居場所は
 半数を超え、その他（別
 事業の売上等からの負
 担）をあわせると約 7 割と
 なる。

3. 講座等の開催について

Q：講座等を実施している場合、講師料はどのようにしていますか。

活動の周知、様々な知識を得るといった様々な理由から講
 座等を開催されている居場所は 34 か所（80%）
 講座等を実施していない居場所は 8 か所（20%）

無償で依頼（ボランティア）	21 か所
公的な機関に依頼	12 か所
実施主体の会費等で支払う	8 か所
参加者から徴収	1 か所

※複数回答あり

4. 高齢者居場所の地域での公開について

Q：居場所の情報を地域に自主的に公開していますか。

情報の公開



自治会等の看板・掲示板等で周知
 しているのが最も多く 48%
 地域の役員が周知活動を行っている
 のが 38%で、あわせると 86%が地域
 の中で情報を公開している。

高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果 【平成29年度】

5. 開設の支援について

Q：補助金以外の方法で、開設に必要なものはどのように集めましたか。（自由記載）

実施主体の会費等	19 か所
寄付	8 か所
各自で必要な物を用意	6 か所
その他 ● すでに会場にある物を活用 ● その他の事業収入から購入等	9 か所

実施団体の負担で購入したり、メンバーが必要な物品を持ち寄ったり、材料を購入して皆で制作するなど、それぞれの居場所で工夫されている。

6. 困り事について（自由記載）

Q：現在運営するにあたり、お困りのことはありますか。

順調、困り事なし。との回答は 11 か所（26%）	
「活動内容の周知が困難」、「ボランティアの確保が困難」との声がある一方で、「他の地区にも広めたいが会場がない」、「参加者が増えて会場に入らない」、「仲良く地域の輪が広がっています」という声もある。	
参加者について	行事毎に参加者が偏っている。 参加者の拡大ができない。 参加者が固定されており、もっと多くの方を集めたい。 平日に行っているため高齢者で仕事をしている人々の参加がない。 会員以外の一般の方への周知徹底が課題、まずは気軽に足を運んでくれるサロンづくりに努めたい。 回覧や掲示告知では人が集まりにくい。 人が集まらない。 口コミで居場所の情報が伝わり、毎回参加者が増加、会場が狭くなり椅子が足りない状況である。 利用人数が増加し、利用定員を超えた場合、後から来られた方にお待ちいただくか、お断りさせていただく可能性が出てきた。
人材について	担当役員の後任者がいない。 世話役が必要なため、世話役の増員が大変 ボランティアも高齢となり、次の担い手に悩む。
運営について	交流を目的にカフェをオープンしたが、高齢者が多く若い方へのアピールが必要 ほとんど後期高齢者で運営が大変難しい。 活動がマンネリになりがち。 集会所が狭く 20 名以上入らないが、2 階を使った運営は難しい。 活動内容をどうするのか初めから課題が多い。 プログラムをどう変化させていくのが課題 実施場所の改修の計画があり、利用できない可能性がある。

高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果 【 平成 29 年度 】

資 金 について	運営費が不足し、様々な企画ができない。
	活動に必要な資金が不足気味である。
	運営はボランティアの協力で活動できているが、運営費の捻出を協議中
	地域元気づくり教室の補助金では、備品の購入や集客イベントの開催が難しい。
設 備 について	足の悪い人が多いが、畳の部屋で椅子の使用ができない。
	トイレが和式のため、高齢者が使用するには負担がある。
その他	他の地区にも広めたいが会場がない。自治会館や集会所の使用がややこしい。
	皆さん協力的で仲良く地域の輪が広がっています。
	参加者が変わっても使用できるように体操時に使用する用具を個人購入ではなく会で購入してもらいたい。
	集会所が建て直しのため、50 人以上集まれる場所が遠くて困っている。
	駐車スペースが少ない。
	現在使っている集会所は市から借用している。修理など生じたら当方で負担している。しかし内扉、屋根の修理が必要と感じているが資金不足で実施できない。このような助成を一考願いたい。
	古いプレハブ教室であるため、屋根や外壁の痛みが出ている。今後改修が必要となってくるが、その費用の工面に苦勞している。市での処置・対処を願いたく考えている。



登録及び補助金交付申請の手引き



高齢者居場所づくり事業

高齢者居場所づくり事業は、高齢者が住み慣れた地域の中で、健康でいきいきとした暮らしができるように、自由に集まり、交流することができる場所を創るため、実施場所の登録と登録した実施場所の改修費用や備品等購入の費用を補助金として交付するものです。

一人ひとりが、それぞれの人生の主役です。地域の中で人とつながり、居場所があって、役割があって、することがある。集う人々が「やらされ感や義務感」ではなく、「やりがい感や満足感」が生まれる場所、本市ではそのような居場所づくりを目指しています。

(平成 30 年 8 月 1 日)

枚方市 長寿社会部 地域包括ケア推進課

高齢者居場所づくり事業に関しては、この資料以外に次の2つの資料があります。

- 高齢者居場所づくり事業の説明資料
- 高齢者居場所づくり事業の様式集

目 次

1. 高齢者居場所の活動要件	3ページ
2. 高齢者居場所としての登録	4ページ
3. 高齢者居場所の活動報告	4ページ
4. 登録の手続きの流れ	5ページ
5. 補助金の交付申請	6ページ
6. 補助金の手続きの流れ	7ページ
7. 補助金の交付と実績報告	8ページ

枚方市 長寿社会部 地域包括ケア推進課

〒573-8666 枚方市大垣内町2丁目1番20号

電話：072-841-1458（直通） FAX：072-844-0315

E-mail：houkatsu@city.hirakata.osaka.jp

1. 高齢者居場所の活動要件

高齢者居場所として登録するには、次の活動要件を全て満たしている必要があります。

- (1) 3年以上継続して活動を行う意思を有すること。
- (2) 月2回以上、1回あたり概ね90分の活動が行われていること。
- (3) 市内に居住する高齢者5人以上が参加する見込みであること。
- (4) 活動するための場所は、12㎡以上であること。
- (5) 特定の者に参加を限定していないこと。
- (6) 飲食代や材料費等の実費負担を除き、参加費は無料であること。
- (7) ひらかた元気くらわんか体操（※）などの介護予防活動を取り入れること。
- (8) 年に1回参加者数等の報告を行い、情報の公開（インターネット等）に同意すること。
- (9) 活動が営利・政治・宗教活動を目的としたものでないこと。
- (10) 暴力団、暴力団員の統制下でないこと。

（※）「ひらかた元気くらわんか体操」は、枚方市のご当地体操です。



ひらかた元気
くらわんか体操は、
3つの体操を順番に行う
約10分の体操です！

仲間と一緒に体操すること
で、転ばない身体をみんな
と一緒に作りましょう！

「ひらかた元気くらわんか体操」は3つの体操に3つの効果があります。

ラジオ体操第1	柔軟性など
ロコモ体操（片足立ち・スクワット）	筋力・バランスアップ
ひらかた体操（枚方市オリジナル体操）	脳の刺激

2. 高齢者居場所としての登録

高齢者居場所として市に登録されると、市のインターネット等で広報するため、活動の内容を周知することができます。また、実施場所の改修費用や備品等購入の費用として活用できる補助金の交付申請をすることができます。高齢者居場所として登録する場合は、「枚方市高齢者居場所づくり登録申込書兼同意書」を市（地域包括ケア推進課）に提出してください。

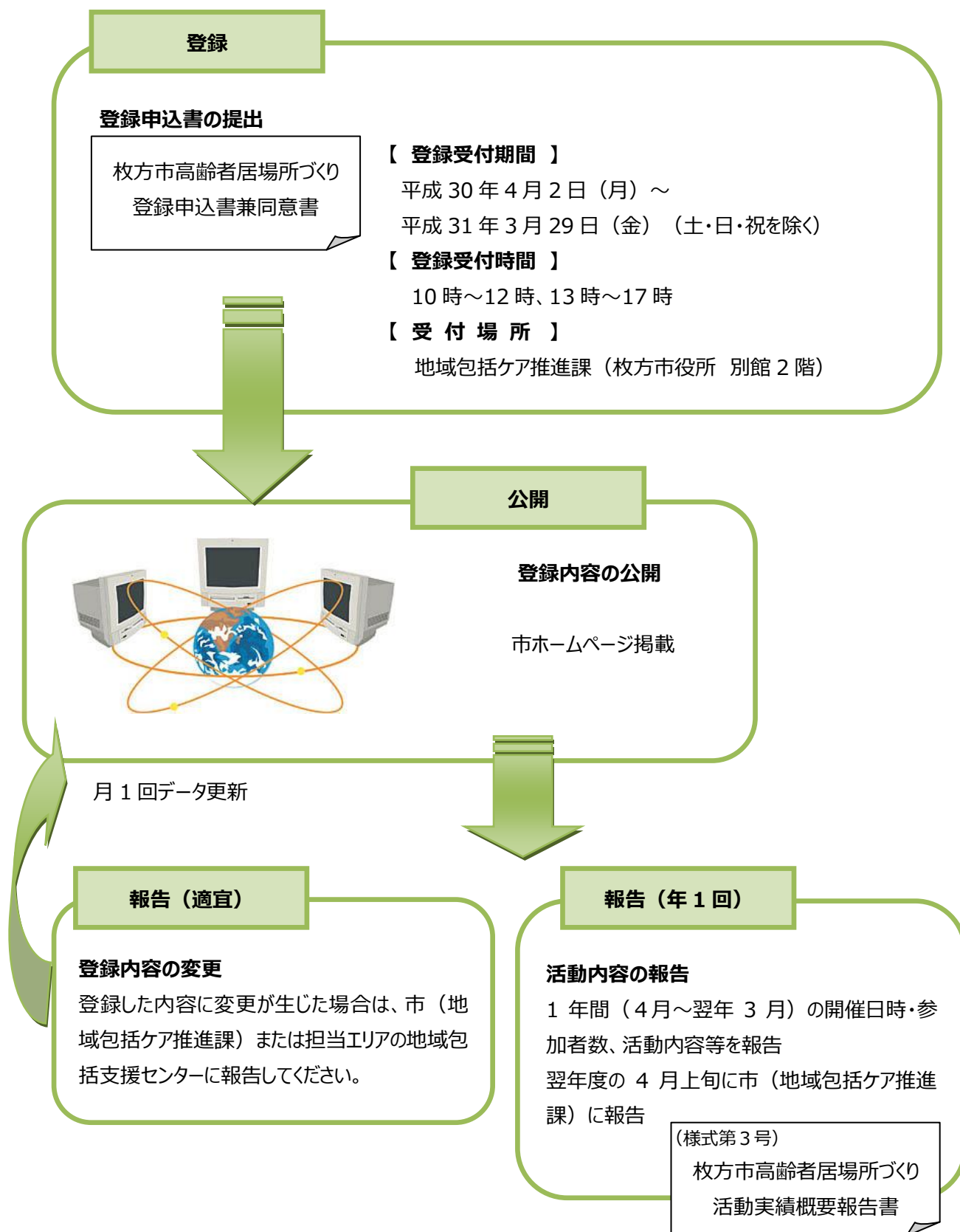
3. 高齢者居場所の活動報告

高齢者居場所づくり事業として登録した次の（１）～（６）の内容に変更がある場合は、市または担当エリアの地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）に報告してください。

- （１）居場所の名称
- （２）居場所の所在地・参加定員
- （３）連絡先の電話番号・FAX 番号
- （４）活動日・活動時間
- （５）活動内容
- （６）参加費（実費負担額）

また、上記の変更時の報告とは別に、１年間（４月～翌年３月）の開催日時、参加者の数（65歳以上の人数・65歳未満の人数）、活動内容等をまとめて翌年度の４月上旬に「（様式第３号）枚方市高齢者居場所づくり活動実施概要報告書」を市（地域包括ケア推進課）に報告してもらいます。

4. 登録の手続きの流れ



※ 「登録」と「補助金の交付申請」を同時に行うことも可能です。

5. 補助金の交付申請

(1) 補助金の交付対象者

高齢者居場所づくり事業の登録をしていること。

※居場所の所在地がある小学校区内で、既に2か所以上に、居場所に対して高齢者居場所づくり補助金を交付している場合は、地域格差や不均衡が生じないように、申請書類の受付の可否について第1層協議体で検討させていただきます。なお、第1層協議体は平成30年12月の開催を予定しています。開催前に予算上限に達する場合がありますのでご了承下さい。

(2) 補助額・対象経費

補助対象となる経費は、登録した居場所1か所につき次の区分に掲げる経費として20万円を上限に補助金を交付します。(1回限り) (平成30年度は、先着順で約50か所)

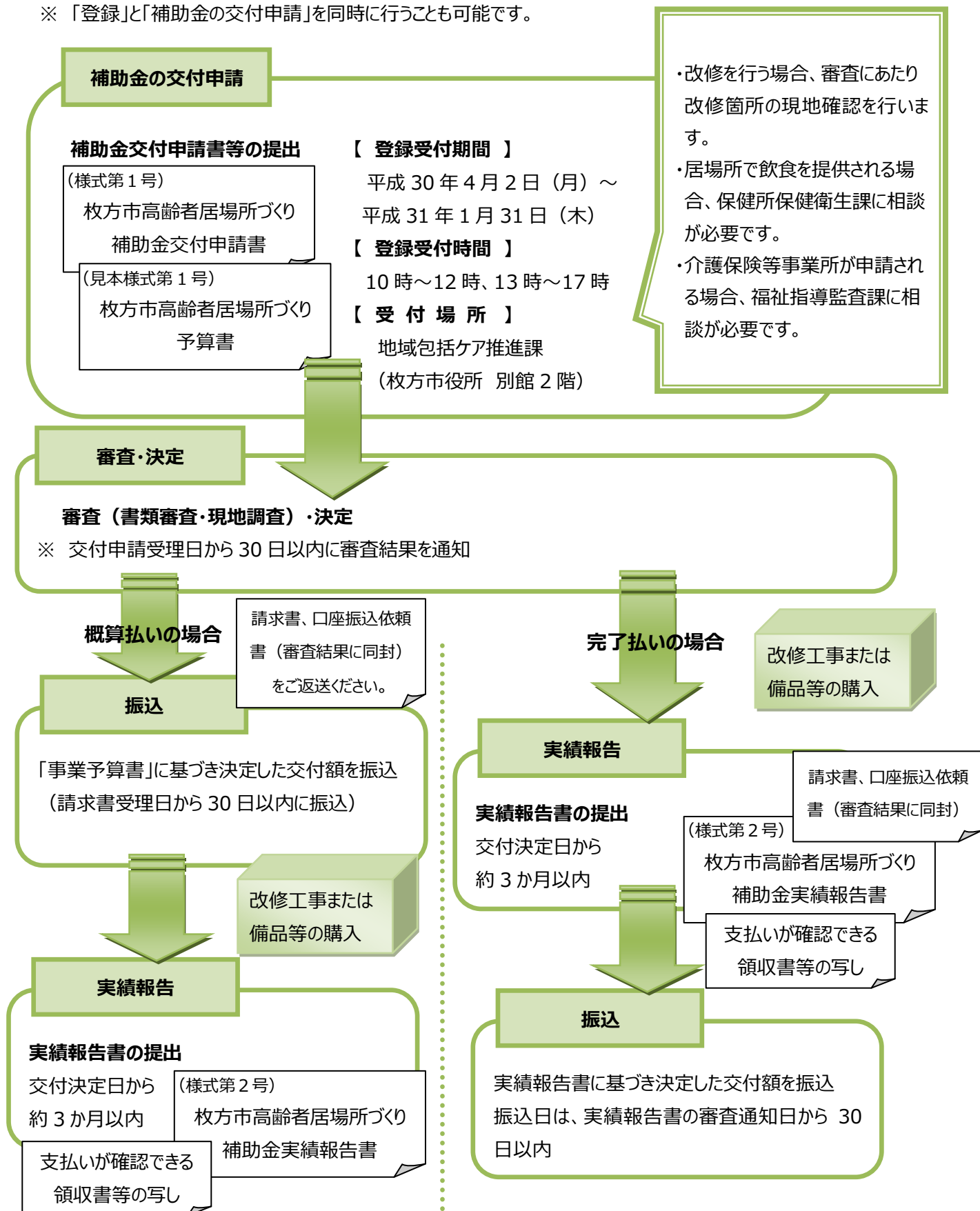
ただし、改修費が対象とならない施設(※)については、補助額の上限額が10万円になります。

区分	対象経費	備考
改修費	たたみ張替え、障子張替え、手すりの設置、床材の滑りにくい素材への取り替え、引き戸等への扉の取り替え、雨漏り修繕、壁紙の交換、照明器具・エアコン設置工事 その他、建物等を居場所として利用できる状態にするための改修に要する費用	【(参考) 改修費の対象の施設】 個人所有の住居や空き家、空き店舗、地域住民団体所有の自治会館等 他の助成事業と重複する場合は、当該補助金の額を減額することがあります。
備品等購入費	段差解消のための可動式スロープ、滑り止めマット、エアコン、暖房器具、血圧計、体重計、体脂肪計、AED、ポット、食器、机、いす、座布団、本棚、ラジカセ、DVDプレーヤー、プロジェクター、スクリーン、その他、居場所の運営に必要な備品の購入に要する費用	
介護予防用品	運動用品(スポーツ用具、体操用マット、セラバンド、バランスボール、ノルディックポール等) レクリエーション用品(囲碁、将棋、オセロ、本、CD、カラオケ、テレビ等)	

(※)「改修費が対象とならない施設」とは、現在営業している喫茶店等の個人商店や介護保険等事業所など、同一場所で別の事業を実施している施設です。

6. 補助金交付の手続きの流れ

※ 「登録」と「補助金の交付申請」を同時に行うことも可能です。



7. 補助金の交付と実績報告

枚方市高齢者居場所づくり補助金交付の申請をする場合は、「（様式第 1 号）枚方市高齢者居場所づくり補助金交付申請書」及び「（見本様式第 1 号）枚方市高齢者居場所づくり予算書」及び添付書類を市（地域包括ケア推進課）に提出してください。

（1）補助金の交付

補助金については、補助金交付申請書等の審査・職員による現地調査を経て、補助金の交付を決定した後にお支払いします。補助金の交付の方法は、「概算払い」と「完了払い」の 2 つの方法があります。

概算払い	完了払い
予算書に基づき、改修または備品等の購入前に支払いします。（最短でも補助金交付申請書を提出された月の翌月末になります。）改修工事の終了または備品等の購入後に、実績報告書及び領収書の写し・請求書等の提出により精算するものです。	改修または備品等の購入後に予算書に金額を記載し、補助金交付決定後に実績報告書及び領収書の写し・請求書等の提出により、実際に要した費用を支払います。

（2）実績報告

補助金交付の決定通知に基づき、改修工事の開始または備品等の購入を行ってください。

改修工事の終了または備品等の購入後に「（様式第 2 号）枚方市高齢者居場所づくり補助金実績報告書」及び領収書の支払いが確認できる書類の写し等を提出してください。

概算払いにより、予算書の額より交付した補助額を実支出額が下回った場合は、その差額を返還いただきます。なお、領収書の写しなど実績に関する書類については、10 年間の保管をお願いします。

※ 交付決定通知日から 3 か月以内に必ず実績報告の手続きをしてください。

※ 請求書、（様式第 2 号）補助金実績報告書は、（様式第 1 号）補助金交付申請書に記入した住所、

団体名で記入して下さい。

※ 領収証の名前は、代表者の名前もしくは団体名で発行して下さい。

(3) 補助金交付申請内容の変更

補助金交付決定後に、交付申請内容が変更となる場合は、必ず事前に市（地域包括ケア推進課）との協議が必要です。協議のうえで、「（様式第4号）枚方市高齢者居場所づくり補助金変更交付申請書」の提出が必要となる場合があります。

(4) 補助金交付申請の取り下げ

補助金交付決定後に、交付申請内容を中止する場合は、事由発生後すみやかに、「（様式第5号）枚方市高齢者居場所づくり補助金取下申請書」を市（地域包括ケア推進課）に提出してください。

(5) 補助金交付の取り消し

次に示す内容に1つでも該当する場合は、補助金の交付決定の全部または一部を取り消し、取り消しに係る部分の補助金を返還いただきます。

- 1 偽りその他不正の手段により補助金の交付を受けたとき。
- 2 法令、条例、規則、補助金の交付の決定の内容に違反したとき。
- 3 補助金を他の用途に使用したとき。
- 4 補助対象行為により取得し、または効用が増加した財産を補助金の交付の目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、または担保に供したとき。
- 5 補助金交付の実績を確認できないとき。
- 6 暴力団等であることが確認されたとき。

人と人がつながり、

絆や縁がある場所



高齢者居場所づくり事業 登録一覧

枚方市 長寿社会部 地域包括ケア推進課

平成30年7月23日現在

東部ブロック

- ▶ 津田校区（第13圏域）
- ▶ 菅原校区（第11圏域）
- ▶ 氷室校区（第13圏域）
- ▶ 田口山校区（第12圏域）
- ▶ 津田南校区（第13圏域）
- ▶ 菅原東校区（第12圏域）
- ▶ 藤阪校区（第12圏域）
- ▶ 長尾校区（第11圏域）
- ▶ 西長尾校区（第11圏域）



自治会<長尾区・西 2 2 組>すこやかクラブ

実施場所	メロディーフォレスト枚方長尾集会室（長尾元町2-1-35）		
実施日時	毎月2回（9時～10時30分） 第2・4金曜日		
参加費等	1人 100円（管理費）		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	体操の実施とお茶の時間を設けて、健康管理情報の交換、活動内容提案・実施	ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話・FAX 072-851-3813		
事前の参加申込	必要	参加者定員	5人





ひむろ卓球クラブ



実施場所	氷室台自治会館（氷室台1丁目1-20）			
実施日時	毎月2回（9時～12時） 第1・4土曜日			
参加費等	1回 300円（自治会館使用料として）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	① ラジオ体操の実施 ② 卓球の実施 ③ 卓球実施後の談話		左に同じ。	
連絡先	電話 090-9997-7640（市原氏）			
事前の参加申込	不要		参加者定員	10人

氷室台カラオケサークル



実施場所	氷室台自治会館（氷室台1丁目1-20）			
実施日時	毎月3回（13時～15時） 第1・2・4土曜日			
参加費等	1回 300円（自治会館使用料として）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	茶話会		① ラジオ体操の実施 ② カラオケの実施 ③ カラオケ実施後サークル員の談話	
連絡先	電話 090-3943-5115			
事前の参加申込	必要		参加者定員	10人

カラオケ野の華



実施場所	尊延寺公民館（尊延寺3丁目3-15）			
実施日時	月4回 ①13時～16時 第2・4日曜日 ②18時～21時 第1・3日曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	①ひらかた元気くらわんか体操 ②カラオケ ③カラオケ交流後絆を深める		同上	
連絡先	電話 072-859-0168			
事前の参加申込	不要		参加者定員	49人

杉公民館



実施場所	杉公民館（杉1丁目22-1）			
実施日時	毎月2回（13時～15時） 第2・4土曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	カラオケ		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話・FAX 072-858-8488			
事前の参加申込	必要		参加者定員	10人

野村永友会



実施場所	野村公民館（野村南町 1 - 1）		
実施日時	活動内容参照		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	健康マージャン（毎週水曜日9:00～16:00） 手芸（第3水曜日13:00～16:00） 童謡・懐メロを歌う（第1・3月曜日13:30～16:00） カーリンコン（第2・4月曜日13:30～16:00） グランドゴルフ（毎週火・金曜日9:00～11:30） ゲートボール（毎週月・木曜日8:30～11:00）		ひらかた元気くらわんか体操を各クラブ活動のはじめに行う。（ただし、グランドゴルフ及びゲートボールは除く）
連絡先	電話・FAX 072-858-8488		
事前の参加申込	—	参加者定員	一人

日生長尾台住宅 明寿会



実施場所	日生長尾台集会所（長尾台4丁目11番15号）			
実施日時	毎月2回（13時～15時30分） 第1・3水曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	映画鑑賞を中心にサークル活動（カラオケ部、編物部、パソコン部、詩吟部、健康麻雀部、卓球部、ダンス部、健康体操部、グラウンドゴルフ部、歩こう会部、道路美化部、踊りの会部）を実施		ひらかた元気くらわんか体操 健康講座や体力テストなど	
連絡先	電話・FAX 072-858-4840			
事前の参加申込	必要	参加者定員	60人	

ぶらっとホーム



実施場所	菅原東自治会館（長尾宮前1-21-1）			
実施日時	毎週5回 水・日・祝日を除く（10時～16時）			
参加費等	メニューにより都度とする			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	誰もが気軽に立ち寄れる場所として月平均23日開催しているサロン。CSWの「何でも相談日」やオレンジカフェ（月2回）を開催、囲碁や将棋、手芸などで集う人達や参加者を中心に「元気づくり」を広めていく。		毎週金曜日10:00～10:30に介護予防の体操を取り入れる集い、月に2回イベント時に体操や介護予防の講座など開催	
連絡先	電話・FAX 072-859-5005			
事前の参加申込	不要		参加者定員	一人

すこやか元気体操教室



実施場所	すこやか長尾台鍼灸整骨院（長尾台2-1-1）		
実施日時	毎月2回 火曜日（13時30分～15時）		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	介護予防体操、レクリエーション	ウォーミングアップ 筋肉トレーニング ひらかた元気くらわんか体操 脳トレ クールダウン	
連絡先	電話・FAX 072-859-5517		
事前の参加申込	必要	参加者定員	7人

フルーレ藤阪コミュニティセンター



実施場所	フルーレ藤阪コミュニティセンター (藤阪元町2丁目50-6)			
実施日時	毎週1回 木曜日 (9時30分～12時)			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	囲碁・将棋		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話 072-856-3989			
事前の参加申込	必要	参加者定員	16人	

わくわくサロン

実施場所	長尾谷町自治会館（藤阪元町3丁目11-31）			
実施日時	毎月2回（13時30分～15時30分） 第2火曜日、第4木曜日			
参加費等	無料（実費負担 100円）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	茶話会（実費負担） 囲碁・将棋 ボードゲーム等レクリエーション		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話・FAX 072-851-3511			
事前の参加申込	不要		参加者定員	20人



藤阪平和苑自治会



実施場所	藤阪平和苑自治会集会所 (藤阪元町3丁目19-11)			
実施日時	毎月2回（第3・4月曜日） 13時00分～15時00分			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	①最初にひらかた元気くらわんか体操、他のストレッチを15～20分 ②ラミーキューブ、両手指先・目・頭脳をフルに使うゲーム1時間30～40分（途中軽く体を休めお茶タイム10分）		・ひらかた元気くらわんか体操、ラジオ体操等で体をほぐす ・両手指先・目・頭脳をフルに使うゲームで脳を活性化	
連絡先	電話 072-868-5189			
事前の参加申込	不要		参加者定員	9～10人

アミスタ集会室



実施場所	ひらかた北山アミスタ（マンション管理棟内） （北山1丁目66-10）			
実施日時	毎月2～3回（9時～17時） 第1・3金曜日、不定期で第3日曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	マンション内高齢居住者の交流・情報交換・助け合い活動として運営する。 上記活動について、必要に応じて指導者を招いて楽しく有効な交流の場とする。 内容によっては、子どもたちを交えた世代間交流も行う。 ガーデニング（花植えなど）活動とも交流する。		・ひらかた元気くらわんか体操 ・食の安全と高齢者向け料理教室と食事会 ・ストレッチ体操、認知症予防運動 ・カラオケ、名画DVD観賞など	
連絡先	電話・FAX 072-855-9546			
事前の参加申込	不要		参加者定員	約10人

四つ葉会



実施場所	社会福祉法人わらしべ会 ふれあい喫茶わらしべ (長尾荒阪2丁目3545番地1)			
実施日時	毎月2回 第2土曜日(13時～15時)、第3土曜日(11時～15時)			
参加費等	第2土曜日 200円、第3土曜日 400円			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	ラジオ体操と参加者みんなで歌える唱歌を10曲ほど歌います。 ジャンケンポンなどのゲームをします。 ひらかた元気くらわんか体操を練習しています。		認知症予防のため歌の体操、コミュニケーションづくり、身体を動かす、お口の体操(嚥下体操)、歌の合唱など	
連絡先	電話 072-850-6518			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30人

西長尾元気づくり地域づくり

実施場所	招提御殿郷公民館（招提大谷3丁目19-26）			
実施日時	毎週1回 木曜日（14時～17時）			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	地域の高齢者が自分らしく地域で活動出来る拠点とし、社会貢献できる励みの場所としたい。公民館まわりの清掃活動また、学童との世代間交流・学童の登下校の見守り活動にも参加している。今後は一人暮らし高齢者の見守りにも目を向けていきたい。		ひらかた元気くらわんか体操 リズム体操、脳活体操、踊り、ヨガ	
連絡先	電話・FAX 072-868-5573			
事前の参加申込	必要	参加者定員	35人	



中部ブロック

- ▶ 桜丘校区 (第6圏域)
- ▶ 山田校区 (第5圏域)
- ▶ 明倫校区 (第6圏域)
- ▶ 殿一校区 (第4圏域)
- ▶ 高陵校区 (第5圏域)
- ▶ 交北校区 (第5圏域)
- ▶ 中宮校区 (第6圏域)
- ▶ 小倉校区 (第4圏域)
- ▶ 磯島校区 (第4圏域)
- ▶ 桜丘北校区 (第6圏域)
- ▶ 中宮北校区 (第5圏域)
- ▶ 山田東校区 (第5圏域)



いきいき体操クラブ



実施場所	印田会館（印田町7番15号）		
実施日時	毎月2回（10時30分～12時） 第2・4火曜日		
参加費等	200円（お茶・お菓子代）		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	いきいき歌体操、体力測定 秋の野菜作り 特殊詐欺や地域防災等の勉強会 手品や落語、クリスマス会など	地域のシニア層を対象に健康寿命を伸ばすために体操など運動を行い、生活の中に軽運動を取り込んでいただくことと合わせて、関心のある認知症などの勉強会、懇親会などで交流する。	
連絡先	電話 072-847-0787	FAX 072-847-0707	
事前の参加申込	不要	参加者定員	30～40人

リハボ健康づくりサロン

実施場所	医療法人田中外科デイサービスリハボ (中宮西之町 1 4 番 6 号)			
実施日時	毎週 1 回 土曜日 (10時～12時)			
参加費等	無料 (給茶機使用料 1 回50円)			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	利用する方々のコミュニケーションスペースとして開放		機能訓練用マシン機器を使用しての運動 フロア内でのストレッチや軽体操 ひらかた元気くらわんか体操の啓発と実践 エクサルク教室の開催	
連絡先	電話 072-898-3551		FAX 072-898-3555	
事前の参加申込	不要		参加者定員	20人



田口共栄・さつき集会所

実施場所	田口共栄・さつき集会所 (田口1-28-15)			
実施日時	毎月4～5回(13時～15時)			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	ゲーム(カーリング・ボーリング・輪投げ・卓球・ダーツ・カラオケ) 集会所・児童公園の清掃		健康体操(ひらかた元気くらわんか体操)	
連絡先	電話 080-6164-1622			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30人



片鉾老人クラブ



実施場所	片鉾会館（片鉾本町 1 5 - 3 0）			
実施日時	毎月 2 回（9 時～11 時） 第 2・4 木曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	ちびっこ広場の清掃 カラオケ大会 勉強会		ひらかた元気くらわんか体操の実施 介護予防についての勉強会	
連絡先	電話 090-9051-1350 FAX 072-857-5274			
事前の参加申込	不要		参加者定員	13人

西田口よもぎクラブ



実施場所	西田口自治会館（交北1丁目22-13）			
実施日時	毎月2回（13時～16時） 第2・4日曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	①会員相互の親睦を図る事業 ②会員の健康増進に関する事業 ③社会奉仕に関する事業 ④地区内諸団体との連絡協調 ⑤その他老人福祉に寄与するための事業		ひらかた元気くらわんか体操、 ラダー、ウォーキング、輪投げ、 ダーツ	
連絡先	電話 090-4309-3399			
事前の参加申込	不要		参加者定員	一人

三栗渚園集会所



実施場所	三栗渚園集会所（三栗1丁目12-1）			
実施日時	毎週4回（10時～12時、13時～17時） 月・火・木・金			
参加費等	無料（教材料費等の実費負担あり）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	自治会、老人会と趣味の各サークル（3B体操、カラオケ、マージャン会やサロンいこい） 【自治会】サロンいこいとして、お茶会、手芸会や、各種話題のことを取り上げた講演会等 【老人会】折々に集まって演芸会を開いたり、音楽会を開催		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話・FAX 072-856-1278			
事前の参加申込	必要	参加者定員	15～65人	

小倉校区コミュニティ集会所

実施場所	小倉校区コミュニティ集会所 (小倉町29-1 小倉小学校内)			
実施日時	毎月2～3回(13時30分～15時) (基本的には水曜日)			
参加費等	無料(教材料費等の実費負担あり)			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	開催は平日(火～金曜日)を主とし、状況にて土・日曜日開催も考える。活動内容は右記の活動を主とする。校区の皆さんが興味を持って参加いただける行事の開催を考える。(時節に応じた公園、実技指導、演芸など)		介護予防の諸講演、実技指導などの活動。各地区自治会等の活動状況の報告会なども設けて、終えたあと茶話会的なことも開きたい。ひらかた元気くらわんか体操を実施	
連絡先	電話・FAX 072-857-7883			
事前の参加申込	必要	参加者定員	40人	



なかよし憩の場



実施場所	三栗住宅コミュニティ会館 (三栗2丁目5番)			
実施日時	毎月3回程度（詳細は下記参照）			
参加費等	コーヒー・ジュース代のみ100円			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	カラオケ（月1回第3木曜日13:00～）、映画会（2ヶ月に1回第2火曜日13：00～）、手芸（2ヶ月に1回第2火曜日13:00～）、喫茶（月1回第3土曜日10：00～14：00）		医療相談（専門医のボランティア参加）	
連絡先	電話・FAX 072-857-9571			
事前の参加申込	不要		参加者定員	50～70人

絵画グループ



実施場所	渚西2地区集会所（渚西2丁目2411-4）		
実施日時	毎月2回（14時～16時） 第2・4水曜日		
参加費等	1人1回 200円（会場費として）		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	絵画教室 杵築せいはい氏の指導（ボランティア）により、 色エンピツ画、クーピー画、クレパス画、水彩画、油彩画		ひらかた元気くらわんか体操
連絡先	電話・FAX 072-849-5925		
事前の参加申込	不要	参加者定員	6人

アミティ中宮北町集会所



実施場所	UR都市機構 アミティ中宮北町集会所 (中宮北町2)		
実施日時	毎月2回(第2金曜日、第3日曜日)		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	健老会 11:30~14:30 食事会、ゲーム等 13:00~15:00 あおい会 10:00~12:00 外部訪問、見学他		ひらかた元気くらわんか体操
連絡先	電話・FAX 072-848-3020		
事前の参加申込	必要	参加者定員	50人

甲斐田新町集会場



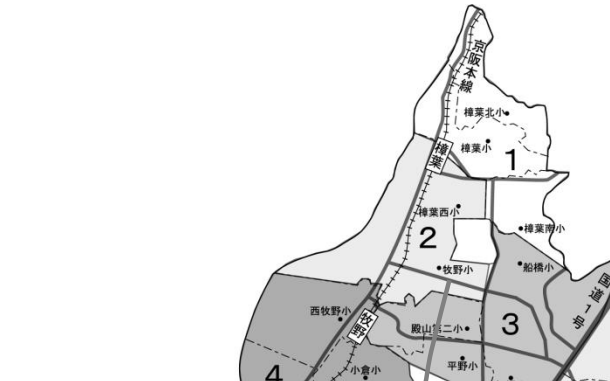
実施場所	甲斐田新町集会場（甲斐田新町 7 6 - 1 4）		
実施日時	毎週日曜日（10時～14時）		
参加費等	内容により自己負担あり、カラオケ100円		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	カラオケ 節分、ひな祭り、花見、日帰り旅行、七夕、 夏祭り、クリスマス会などの季節の行事		ひらかた元気くらわんか体操
連絡先	電話 090-3866-2108 FAX 072-848-1182		
事前の参加申込	不要	参加者定員	40人

ひまわり



実施場所	甲須地区自治会館（須山町１１４５－３）			
実施日時	毎週月曜日（１０時～１５時）			
参加費等	１か月に１００円程度（コーヒー代）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	談話、手芸、ぬりえ、お絵かき、合唱など		ひらかた元気くらわんか体操 ストレッチ体操など	
連絡先	電話 ０８０－４６４０－６４１８			
事前の参加申込	不要		参加者定員	一人

南部ブロック

- ▶ 枚方校区 (第8圏域)
 - ▶ 枚二校区 (第8圏域)
 - ▶ さだ校区 (第7圏域)
 - ▶ 香里校区 (第9圏域)
 - ▶ 開成校区 (第9圏域)
 - ▶ 五常校区 (第9圏域)
 - ▶ 春日校区 (第10圏域)
 - ▶ 山之上校区 (第8圏域)
 - ▶ 香陽校区 (第9圏域)
 - ▶ さだ西校区 (第7圏域)
 - ▶ 川越校区 (第10圏域)
 - ▶ さだ東校区 (第7圏域)
 - ▶ 東香里校区 (第10圏域)
 - ▶ 伊加賀校区 (第7圏域)



くつろぎ Tsutsumi (つつみ)



実施場所	村田邸 (堤町9番28号)		
実施日時	毎週5日(10時～16時)月～金曜日		
参加費等	お茶代 100円		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	■童謡教室(福祉部会)第3金曜日14:30～ ■伊加賀公園花壇の手入れ(みどり部会)第2金曜日10:00～ ■花の植え付け・育成会(みどり部会)季節毎 ■折り鶴の会 事前連絡 ■茶話会 随時 申し込み		ひらかた元気くらわんか 体操、認知症予防講座
連絡先	電話・FAX 072-841-7604		
事前の参加申込	必要	参加者定員	10人

グリーン広場



実施場所	グリーンコーポ枚方公園 管理組合 集会室 (伊加賀南町10-1)		
実施日時	毎週3回 土曜日：午前・午後、月曜日：午後		
参加費等	お茶代 100円 (月1回)		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	住民交流会として、季節ごとにお花見・夏まつり・秋まつり・忘年会など、高齢者に限定せず、住民全体に呼びかけての行事を催しており、その準備の場としても集会室を活用しています。また、年に一回程度、不定期ですが講習会や、花壇の手入れ、季節ごとの花苗の植え替えなども、住民に呼びかけて行っております。	●土曜10:00～11:00健康体操 ●土曜13:00～16:00将棋クラブ ●月曜14:00～16:00おしゃべり会 ひらかた元気くらわんか体操を実施	
連絡先	電話・FAX 072-846-4636		
事前の参加申込	必要	参加者定員	30人



伊加賀本町ふれあいの家



実施場所	民家（伊加賀本町2-2）		
実施日時	毎月2～3回（10時～16時）		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	家に閉じこもらず出来るだけ外に出て多くの人達との出会いを求める。多くの出会いがあれば、多くの知り合いが出来る。知り合う事が深まれば、わかり合え、理解しあえる。そんな積み重ねが助け合いにとつながる。このような思いで、少人数から輪を広げていき、高齢者から子供までふれあえる場にしていきたいが、団らん、場、お互いの趣味を楽しむ場等に広げ、一人にならず、多数の人と語り合える場としてやっていきたい。		家に閉じこもる事なく、まず屋外に出れるよう、また多くの人と語り合えるような活動を考えている。体力の衰えを防ぎ、また多くの人と語り合う事により、脳の活性化を図り、歩く事、ラジオ体操などを取り入れ、いつまでも元気で楽しく過ごしてもらえよう場所として考えている。
連絡先	電話・FAX 072-841-3885		
事前の参加申込	不要	参加者定員	15人

カモンハウス ゆずり葉



実施場所	民家（堤町2番7号 田中邸）		
実施日時	毎週2回（水・木曜日） 毎月2回（第1・3日曜日） 10時30分～16時		
参加費等	700円／回		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	パソコン学習 脳トレ麻雀	健康カラオケ 茶話会	ひらかた元気くらわんか体操
連絡先	電話・FAX 072-845-2677		
事前の参加申込	必要	参加者定員	15人

長松会 (ちょうしょうかい)



実施場所	枚方元町蔵ノ谷集会所（枚方元町 1 - 2 5）			
実施日時	活動内容参照			
参加費等	参加種目により 無料～200円（別途、材料費あり）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	生花（第 2 木曜日10:00～） パッチワーク （第 3 水曜日10:00～） ガーデニング（不定期）		ひらかた元気くらわんか体操 （日曜祝日除く毎日7:30～） 吹矢（第 1・3 火曜日13:30～） オカリナ（毎週日曜日9:30～） 囲碁・将棋（毎週日曜日13:30～）	
連絡先	電話 072-845-2190			
事前の参加申込	必要	参加者定員	80人	

枚二みつば



実施場所	岡集会所 新町会館 田宮公民館		
実施日時	毎月3回（第1金曜日13時～16時） 3か所で、「カフェ」「ゲーム」「体操」のプログラムをそれぞれ実施		
参加費等	コーヒー等の飲み物代金 100円		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	①喫茶室を開設し、地域の高齢者を中心に集い、情報交換及び交流を図る。 ②ひらかた元気くらわんか体操などで体を動かし、健康に暮らせる体力づくりを行う。 ③元気で過ごせるように、クイズ・ゲームなどで頭の体操を行う。		気力・知力・体力の衰えを克服すべく、地域住民の集う場を提供し、世代間を超えた交流を図る。
連絡先	電話 090-3055-6890	FAX 072-846-4656	
事前の参加申込	不要	参加者定員	
			20人

岡集会所（岡南町3-19）

新町会館（新町1-4）

田宮公民館（田宮本町9-31）

ゆるり



実施場所	ひらかたサンプルザ1号館6階 (岡東町12-1-605)			
実施日時	月2回(10時30分~12時)第1・3木曜日			
参加費等	コーヒー等の飲み物代金 200円			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	手芸、ハイキング 毎週木曜日10:30~14:30は、高齢者が自由に集う場所として開放		ひらかた元気くらわんか体操 囲碁・将棋、脳トレゲームなど	
連絡先	電話 090-8216-3790			
事前の参加申込	不要		参加者定員	8人

まちかど元気クラブ



実施場所	「しょうとく*まちかどステーション」CORIO内 (香里ヶ丘4丁目2-3)		
実施日時	毎週1回 月曜日 (9時30分～11時)		
参加費等	1,000円/月		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	① 講話とストレッチ体操 ② ラジオ体操 ③ ひらかた体操		会員の健康維持向上
連絡先	電話・FAX 072-853-6150		
事前の参加申込	必要	参加者定員	15人

みどりヶ丘自治会館



実施場所	みどりヶ丘自治会館（東中振1丁目56-20）		
実施日時	毎週1回 木曜日（10時～11時30分）		
参加費等	お茶代として 200円／月		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	いきいき体操教室（上記実施日時） 麻雀教室（毎週金曜午後・定員16名） 習字教室（偶数土曜午後・定員10名） 園芸教室（会員のみ） ラジオ体操（土日祝除く毎朝7:30） ゴルフ（年4回）、グラウンドゴルフ（週3回）		ひらかた元気くらわんか体操、 ラダー、踏み台、お座敷 （風船）バレー、丸太蹴り、 じゃんけん遊びなど90分か けて行う。
連絡先	電話・FAX 072-831-7607		
事前の参加申込	必要	参加者定員	16人

自由学級

実施場所	高田2丁目自治会館（高田2丁目15-50）		
実施日時	毎月4回（10時～15時） 第1・2月曜日、第3・4木曜日		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	活動のコンセプト ■高齢者の寝たきりを無くす。 ■家よりも外出して活動する。 ■4回/月の活動を通じ、小物類の作品作り、映画鑑賞、カラオケ、弁当を持参して皆で食す。 ※自由学級はひまわり会（老人会）及び自治会活動を含んでいます。		・ひらかた元気くらわんか体操の実施（月4回） ・健康体操と脳トレーニング（月2回）
連絡先	電話・FAX 072-853-6418		
事前の参加申込	不要	参加者定員	8～9人



香友会 (こうゆうかい)



実施場所	香楽自治会館 (茄子作1丁目42-11)		
実施日時	毎月4回 (13時～15時) 第1木曜日・第2火曜日・第4木曜日・第5水曜日		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	■カラオケ (月2回) ■川柳 (月1回) ■詩吟 (月1回) ■新年会 (年1回) ■敬老会 (年1回) ■友愛サロン (年1回)		ひらかた元気くらわんか 体操、認知症講習会 (年1回)
連絡先	電話・FAX 072-853-3840		
事前の参加申込	不要	参加者定員	60人

五月会 (さつきかい)



実施場所	茄子作広野自治会館集会所 (茄子作4丁目40-9)		
実施日時	毎月5回 (13時～16時) 第1・2・4水曜日、第1・3日曜日		
参加費等	無料 (活動により実費負担あり)		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	歌う会 第1水曜日 13:00～16:00 俳画 第2水曜日 " 俳句 第3水曜日 " 日曜喫茶 第1・3日曜日 "		各定例活動にて、ひらかた元気くらわんか体操または、いきいき百歳体操を実施
連絡先	電話・FAX 072-853-1826		
事前の参加申込	不要	参加者定員	25人

春日丘自治会館 老人憩の家



実施場所	春日丘自治会館 老人憩の家 (茄子作4丁目5 1 番2 5号)			
実施日時	毎月2回 (13時～16時) 第1・3土曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	長年続いている自治会老人会主催の月2回のカラオケの会の内容に、新たにひらかた元気くらわんか体操、ティータイム、軽いストレッチ体操を取り入れ、精神面と体力面の両方から体調の現状維持、更には体力・気力増強を目指す。		定刻に集まった者で、ひらかた元気くらわんか体操を行う。 カラオケに合わせリズムを取り、メロディ通声を発し歌う。 ティータイムで身近な人と語り合うことにより社会参加を実感し、共に地域に生きる連帯感を感じながら談笑しストレスを解消する。	
連絡先	電話 090-9113-8262 FAX 072-854-7128			
事前の参加申込	不要		参加者定員	20人

春日丘自治会館 京阪ひろ野



実施場所	春日丘自治会館 老人憩の家（茄子作4-5 1-2 5）		
実施日時	毎月2回（10時～12時、13時～17時） 第2月・土曜日		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	第2月曜日はカラオケをメインに空き時間 を利用し、体を動かす。 第2土曜日はパソコン教室を行い、ワー ド・エクセルやデジカメからの写真の取り込 み方法をみんなで学び、自治会の資料作 成や個人での年賀状や挨拶状の作り方 を勉強します。	ひらかた元気くらわんか体操やチューブを 利用しての筋力トレーニング。 介護予防の体操DVD再生や、定期的 な映画上映会を開催し、住民同士の繋 がりを増やし、元気にいきいきと生活出 来る場を作りたいと考えています。	
連絡先	電話 072-807-2324		
事前の参加申込	不要	参加者定員	30人

悠々クラブ



実施場所	茄子作団地自治会館（茄子作1丁目11番26号）			
実施日時	毎月2回（14時～16時） 木曜日と第4金曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	今の元気健康を維持することを目標に、介護予防活動を展開していく。更に「悠々サロン」、「歌って元気講座」、「カラオケ同好会」など楽しみながら健康を考える活動を実施。また、地域社会内に留まらず、外の見学として「社会見学バスツアー」による新しい知識も得る。		ひらかた元氣くらわんか体操 音楽療法士による認知症予防講座（参加者が歌い、先生が歌のクイズを出す）、元気講座（健康維持のための各分野の医師の話を聞く）	
連絡先	電話・FAX 072-853-3180			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30人

NJHN元気



実施場所	茄子作住宅集会所（茄子作1-4-8）			
実施日時	毎月3回（10時～12時） 第1・3木曜日、第4金曜日			
参加費等	コーヒー代 50円（1回）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	カフェ、DVD鑑賞、カラオケ、手芸		ひらかた元気くらわんか体操 ゲーム（脳トレ）	
連絡先	電話・FAX 072-854-1712			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30人

東香里新町集会所



実施場所	東香里新町集会所（東香里新町2675-12）			
実施日時	毎月2回（10時～16時） 毎月10日と第4土曜日			
参加費等	100円（お茶・お菓子代）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	出前講座の受講 コーヒー喫茶		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話・FAX 072-853-7295			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30人

香里ヶ丘 1 1 丁目老人常設集会所



実施場所	香里ヶ丘 1 1 丁目老人常設集会所 (香里ヶ丘 1 1 丁目 3-3 4)			
実施日時	毎月 7 回 (13時～15時 各回 2 ～ 3 時間)			
参加費等	内容により実費			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	■フラダンス教室 (第 1 火曜日) ■謡曲教室 (第 1・3 水曜日) ■絵画教室 (第 3 木曜日) ■カラオケ教室 (第 2 金曜日)		■ひらかた体操 (第 1・3 金曜日) ■健康体操 (")	
連絡先	電話・FAX 072-852-7061			
事前の参加申込	必要		参加者定員	7人以上

すみれ香陽 (こうよう)



実施場所	(UR) 都市再生機構香里団地 けやき東街 第2集会所 (香里ヶ丘3丁目9-4 15棟内)		
実施日時	毎月2回(10時~12時) 第1・3水曜日		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	忍にん体操、手遊び、筋トレ、しりとり		ひらかた元気くらわんか体操
連絡先	電話 090-6676-6210 FAX 072-854-2174		
事前の参加申込	不要	参加者定員	30人

ふれあいの家



実施場所	旧店舗住宅（釈尊寺町35番36号）			
実施日時	毎月2回（10時～12時） 第2・3月曜日			
参加費等	200～300円（材料費）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	健康体操、小物づくり（趣味の手ほどき）、囲碁、将棋、頭の体操（謎解きゲーム）茶話会		ひらかた元気くらわんか体操 地域での生きがいを自ら率先して活動する場を提供する。 脳の活性化、体の活性化、心の活性化、支え合い、地域の和づくり活動	
連絡先	電話・FAX 072-853-2665			
事前の参加申込	不要		参加者定員	15人

東香里元気づくり地域づくりVタイム

実施場所	東香里元町会館（東香里元町30-19） 東香里京阪住宅自治会館ルミノザ （東香里2丁目5-20）			
実施日時	毎月2回（10時～14時） 第1・4木曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	各自で作成する手芸・工作 カラオケ、囲碁、将棋、ゲーム、体操、会 話		ひらかた元気くらわんか体操 脳トレゲーム	
連絡先	電話・FAX 072-852-3262			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30人



リバティパーク枚方



実施場所	リバティパーク枚方 きっずルーム・C棟集会室 (伊加賀西町2-4、2-3)			
実施日時	毎週1回水曜日(10時～14時) C棟集会室 毎月2回(10時～14時) 第2・4土曜日 きっずルーム			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	麻雀、歌をとおして親睦をはかり、 認知症予防に取り組む。		ひらかた元気くらわんか体操で身体 をほぐしてから毎回スタートする。	
連絡先	電話・FAX 072-841-2974			
事前の参加申込	必要		参加者定員	20人

北部ブロック

- ▶ 殿二校区 (第3圏域)
- ▶ 樟葉校区 (第1圏域)
- ▶ 牧野校区 (第2圏域)
- ▶ 招提校区 (第3圏域)
- ▶ 樟葉南校区 (第1圏域)
- ▶ 樟葉西校区 (第2圏域)
- ▶ 西牧野校区 (第4圏域)
- ▶ 樟葉北校区 (第1圏域)
- ▶ 船橋校区 (第3圏域)
- ▶ 平野校区 (第3圏域)



牧野本町囲碁クラブ



実施場所	牧野本町会館（牧野本町1丁目22番9号）			
実施日時	毎週1回 月曜日（13時～17時30分）			
参加費等	1か月500円（空調代）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	囲碁対局 星取りなし 級位者からアマ3段までのグループ		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話 072-850-7759			
事前の参加申込	不要		参加者定員	10～12人



雀の学校

実施場所	牧野本町会館 (牧野本町1丁目22番9号)			
実施日時	毎月2回(13時～16時) 第2・4金曜日			
参加費等	無料 (その都度、実費徴収あり)			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	カラオケ		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話・FAX 072-857-4792			
事前の参加申込	不要		参加者定員	50人

ベルビー牧野



実施場所	養父丘2-7-13		
実施日時	毎月2回（13時～15時） 第2・4木曜日		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	講師を招き、脳トレーニング、手話教室あるいはマンドリン演奏		ひらかた元気くらわんか体操
連絡先	電話 072-804-3435 FAX 072-804-3448		
事前の参加申込	不要	参加者定員	10人

紬会（つむぎかい）リメイククラブ



実施場所	牧野生涯学習市民センター			
実施日時	毎月2回（13時～17時） 第1・3水曜日			
参加費等	1か月 500円（室代及びお茶代）			
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容		
	着る機会のなくなった大切な着物、親の心のこもった嫁入り道具だった着物を少しでも活用出来ればとの思いで着物でリメイクをする教室（洋服、カバン、小物など）	服作りを通じて①家から1歩出る、②手を動かす事で頭の活性化、③友達作り、④お茶をしながら楽しく会話、⑤自分の洋服が作れる達成感、⑥ひらかた元気くらわんか体操		
連絡先	電話 090-6730-8802			
事前の参加申込	不要	参加者定員	一人	

じゅんさん家（ち）



実施場所	民家（町楠葉2丁目23-5）		
実施日時	毎週1回 金曜日（13時～16時）		
参加費等	飲み物代 50円		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	参加者は開催時間内であればいつでも参加・退出可能。セルフカフェを常時設置。将棋・囲碁・麻雀・オセロ等を常時設置し、カフェの談笑も含め自由に過ごしてもらう。月1回程度、講師を招いての講座や出張相談会を実施。地域住民であればどなたでも参加可能		ひらかた元気くらわんか体操、将棋・囲碁・オセロ・健康麻雀、講師を招いての各種講座の開催
連絡先	電話 072-856-9177 FAX 072-856-9188		
事前の参加申込	不要	参加者定員	20人

憩の家



実施場所	養父西集会所（養父西町6-12）			
実施日時	毎月2回（10時～11時30分）第1・3木曜日			
参加費等	1回 100円（コーヒー、お茶代）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	楽しいゲーム みんなで歌を唄う 映画や落語などを見る、聞く 自由な話し合い		ひらかた元気くらわんか体操 脳トレ フリーなお話	
連絡先	電話・FAX 072-868-4402			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30人

公社自治会館



実施場所	招提団地公社自治会館 (招提南町3丁目17-9)			
実施日時	毎週1回 土曜日 (10時～11時30分)			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	体操、脳トレーニング 茶話会		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話 072-868-0620 FAX 072-867-3435			
事前の参加申込	不要		参加者定員	20人

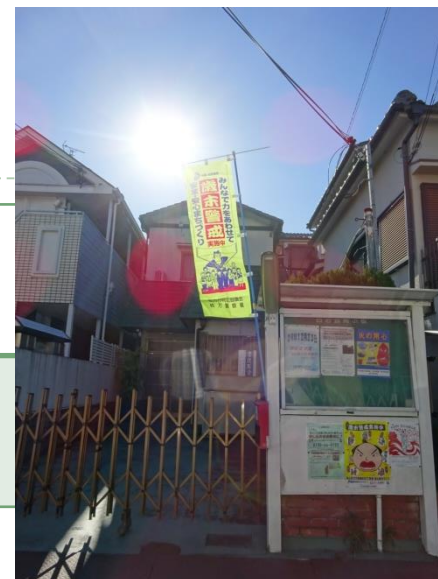
きずなの輪 (きずなのかい)



実施場所	面取・咲きが丘集会所（楠葉面取町1丁目21-21）			
実施日時	毎月2回（10時～12時） 第2・4火曜日			
参加費等	昼食代 600円（お弁当）、お茶・お菓子 100～200円			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	春のお花見 地域の近況報告（見守り活動）		ひらかた元気くらわんか体操 認知症対策ゲーム カラオケ、ビンゴゲームなど	
連絡先	電話 072-850-7190			
事前の参加申込	必要		参加者定員	20人

喫茶「つどい」

実施場所	北船橋町集会所（北船橋町2-2）		
実施日時	毎週1回 土曜日（10時～14時）		
参加費等	無料（基準実費負担額100円）		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	1人住まいの方、軽度認知症、身体の弱い方等、誰でも自由に楽しくおしゃべりする中でお互いの元気を確認し、思いやり、助け合いの心を深め、きずなを一層深め認知症予防につなげる。近隣住民との交流、コミュニケーションを深める。		ひらかた元気くらわんか体操 月1回なんでも相談会、月1回CSW出張相談会の開催
連絡先	電話 072-856-8235		
事前の参加申込	不要	参加者定員	40人



趣味の会

実施場所	北船橋町集会所（北船橋町22）		
実施日時	毎週水曜日 10：00～15：00		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	・映画会、手芸、マージャン等によりお互いの元気を確認し、きずなを一層深める ・近隣地域の参加を促し、交流促進する	・ひらかた元気くらわんか体操 ・血圧測定による健康管理 ・手芸、マージャン、囲碁将棋により認知症予防につなげる	
連絡先	電話 072-851-5322		
事前の参加申込	不要	参加者定員	20人



五月会夢グループ



実施場所	西船橋自治会館（西船橋1丁目1-11）		
実施日時	毎週1回 土曜日（13時～16時）		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	カラオケ、談話、囲碁、将棋	ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話・FAX 072-850-3788		
事前の参加申込	不要	参加者定員	20人



並木健康クラブ



実施場所	並木集会所（楠葉並木2丁目18-8）		
実施日時	毎月2回（10時～11時30分） 第2・4火曜日		
参加費等	無料		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	談話、ゲーム、歌、工作、講習会など		ひらかた元気くらわんか体操
連絡先	電話 090-5120-8332		
事前の参加申込	不要	参加者定員	40人

阪一会館



実施場所	阪一会館（牧野阪2丁目1-69）			
実施日時	毎月2回（13時30分～15時） 第2・4水曜日			
参加費等	100円／回			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	茶話会		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	—			
事前の参加申込	不要		参加者定員	10人

老住まきのハイツ 集い



実施場所	老住まきのハイツ集会所（牧野北町５番）		
実施日時	毎週５回（火・水・木・金） 毎月３回（第２水・土曜日、第４月曜日）時間は活動内容参照		
参加費等	無料（喫茶１００円・コーヒー代）		
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容
	喫茶（毎週２回：火・木）９：３０～１１：３０ 卓球（毎週２回：火・水）１３：００～１５：００ カラオケの集い（毎週１回：金）１３：００～１５：３０ みんなで歌おう会（毎月１回：第２土曜） １３：３０～１５：３０ 映画会（毎月１回：第４月曜）１３：３０～１５：３０		ひらかた元気くらわんか体操 毎週金曜日 １３：３０～１４：００
連絡先	電話　０７２-８６７-５１８８		
事前の参加申込	不要	参加者定員	活動内容により異なる

なごむ会



実施場所	西牧野1丁目集会所 (西牧野1丁目20-22)			
実施日時	毎月2回(10時~12時) 第1・3水曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	映画鑑賞会、講演会、ゲーム大会、 地域清掃等		ひらかた元気くらわんか体操 脳トレゲーム 昔なつかしい歌を全員で合唱等	
連絡先	電話 072-851-6860			
事前の参加申込	不要		参加者定員	25人

グレースコーポまきの集会室



実施場所	グレースコーポまきの (三栗2丁目12)			
実施日時	週1回（13時～14時30分）毎週金曜日			
参加費等	原則無料（茶話会100円、グランドゴルフ100円）			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	グランドゴルフ（毎週金曜13:00～14:30）、茶話会（毎月1回金曜日13:00～15:00）、映画鑑賞会（毎月1回金曜日13:00～15:00）、定例報告会		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話 090-2625-4755 FAX 072-866-6378			
事前の参加申込	不要		参加者定員	35人

西牧野3丁目老人クラブ 常設集会所



実施場所	西牧野3丁目自治会館 (西牧野3丁目16-15)			
実施日時	月2回 第2・4火曜日 10：00～12：00 ※変更の場合あり			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	月例会 脳トレ・ゲーム等（第2火曜日）、映画会（第4火曜日）		ひらかた元気くらわんか体操を催しの間に実施	
連絡先	電話 072-856-0316 FAX 072-856-0316			
事前の参加申込	不要		参加者定員	60人

船橋学区集会所



実施場所	船橋学区集会所（東船橋2-43）			
実施日時	毎月2回			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	「ひらかた元気くらわんか体操」のつどい 老人クラブの集い、カラオケのつどい、 麻雀のつどい、趣味の会のつどい		ひらかた元気くらわんか体操 健康講座の開催	
連絡先	電話・FAX 072-851-4454			
事前の参加申込	不要		参加者定員	30～40人

枚方ハイツ 元気いきいきサロン



実施場所	枚方ハイツ集会所 9 棟（高野道 2 - 2 0）			
実施日時	毎月 3 回（10 時～12 時）第 1・2・3 土曜日			
参加費等	無料			
活動内容	主な活動内容		介護予防の活動内容	
	カーリンコン、麻雀、手芸、囲碁、将棋 談話室		ひらかた元気くらわんか体操	
連絡先	電話 072-855-5699			
事前の参加申込	不要		参加者定員	50人

お茶とおしゃべりの会

実施場所	民家（牧野本町 1 - 1 - 9 4 桂宅）		
実施日時	毎月 2 回（13 時～16 時）第 1・3 水曜日		
参加費等	100 円		
活動内容	主な活動内容	介護予防の活動内容	
	お茶、コーヒーを飲みながらおしゃべり 歌をうたい、コーラスをする。	ひらかた元気くらわんか体操 コミュニケーションと活性化 みんなで合唱	
連絡先	電話・FAX 072-857-7937		
事前の参加申込	不要	参加者定員	30 人



平成30年8月7日（火）14時00分～16時00分

枚方市市民会館 3階 第3会議室

参 加 者	所 属	
	枚方市民生委員児童委員協議会	会長
	枚方市老人クラブ連合会	
	枚方市コミュニティ連絡協議会	幹事
	枚方市校区福祉委員会協議会	会長
	シルバー人材センター	総合事業担当者
	大阪高齢者生活協同組合	専務理事
	枚方市介護支援専門員連絡協議会	副会長
	枚方市デイサービス連絡協議会	会長
	枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会	会長
	枚方市特別養護老人ホーム施設長会	副会長
	枚方市訪問介護事業者会	会長
	枚方市社会福祉協議会	
案 件 名	1. サービス事業等の実績報告について 2. 第2層協議体（元気づくり・地域づくり会議）の設置状況報告について 3. その他	
決 定 事 項	10月か11月頃に各校区の活動情報の共有等を目的に活動内容に関して発表や意見交換を行うことで合意。	
事 務 局	枚方市 長寿社会部 地域包括ケア推進課 枚方市高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）	

発言者	内 容
司会 (地域包括ケア推進課)	それでは定刻となりましたので、平成30年度第1回第1層協議体を開催いたします。 本日はご多用のなか、本会議にご出席くださりまして誠にありがとうございます。 本日、司会進行を担当させていただきます よろしくお願ひします。 開催にあたり、地域包括ケア推進課課長より、挨拶させていただきます。
課長	日盛りの暑い中ご出席いただきましてありがとうございます。この場をお借りし、一言お礼を申し上げさせていただきます。6月18日の大阪北部地震、それに続く西日本豪雨、台風18号につきまして高齢者の方の安否確認や支援、避難所開設の支援など、これにつきまして、地域の方、介護事業所の方、高齢者サポートセンターの皆様方には、多大なご尽力をいただきましたことにこの場を借りて、お礼を申し上げたいと思います。今回、改めて、高齢者を取り巻くネットワークの大切さ、これがあって初めて、災害時などの非常時にも高齢者の方の命や生活が守られるということをつくづく実感致しました。今回の災害

課長	で本市は、比較的大事には至らずに済んだものの、今後、どのように対応していけばよいのか、ネットワークからこぼれおちた高齢者をどのようにアウトリーチしていくかという課題も見えてきております。また、この会議をはじめとして、皆様方のご意見をお伺いしながら、そのような危機管理についても検討していきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。
司会 (地域包括ケア推進課)	続きまして、本日の案件と、お手元の資料の確認をさせていただきます。 本日の案件は3つありまして、1つ目がサービス事業等の実績報告について、2つ目が第2層協議体、元気づくり・地域づくり会議の状況報告について、3つ目がその他として、高齢者居場所づくり事業のアンケート結果及び設置状況についてご報告させていただきます。 それでは、案件1の介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年度サービス事業等の実績報告について市より報告させていただきます。
事務局説明	資料1 介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年度サービス事業等の実績報告について
司会 (地域包括ケア推進課)	続きまして、枚方市訪問介護事業者会が枚方市内における訪問介護事業所の運営状況の把握、ヘルパー確保における課題抽出を目的に枚方市内の事業所に対してアンケートを実施し、取りまとめられましたので報告して頂きます。よろしくお願いいたします。
枚方市訪問介護事業者会	参考資料 大阪府枚方市2018年度（平成30年）介護保険法改正における訪問介護事業所の実態調査アンケート報告書
司会 (地域包括ケア推進課)	ありがとうございます。訪問介護事業者だけの問題ではなく施設やデイサービスなど、介護業界すべてにおいて人手不足になる中で、今後どうやって高齢者の生活を支えていくのかということを考えていく必要があるのではないかと思います。 枚方市訪問介護事業者会の報告及び市の報告に関して意見交換したいと思います。
枚方市特別養護老人ホーム施設長会	介護の人材に関しては、各施設単独で求人をかけていたとしても限界があるので、高齢者のための施設、思いを共有しているところが顔を合わせながら求人活動をしたほうが良いという意見から当会が発足した経緯があります。 当会での人材確保の活動としては、ラポールひらかたで就職フェアを行っています。大阪府社会福祉協議会として年に2回、インテックス大阪・京セラドームで介護福祉就職フェアを実施しているものの年々新卒学生は減っている状況です。大阪府北部で京都と境目という地域である枚方で働いていきたいという人を確保するためにも枚方市内で就職フェアを行ったほうが良いとラポールひらかたでの就職フェアを実施しているものです。 しかし、就職フェアではなかなか就職につながらないことも多く3年前からはハローワークと共同でバスツアーを開催し、働く場所を見てもらい、就職につなげていこうという取り組みを行っています。施設単体での求人は難しくなっており、また施設長会でも難しくなりつつあり、枚方市とも市全体の問題として共有し、福祉業界全体で人材確保をどのようにしていくかを考えていく必要があると考えます。また、枚方市においても外国人雇用が始まっているということが実態としてあります。

司会 (地域包括ケア推進課)	そうですね。今後は事業所や団体だけで考えていくのではなく、みんなで考えていく必要があると感じています。 また、枚方市では介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」という。）で、研修を受けた高齢者などの新しい人材が福祉のサービスを担っていただければと、生活援助訪問事業を創設し、シルバー人材センターや大阪高齢者生協、ニッポン・アクティブライフ・クラブ枚方拠点で事業を担っていただいています。 他市ではヘルパーが緩和型サービスの提供を行っていることが多いです。枚方は独自の研修を受けた高齢者等がサービスを提供をしています。そのため、サービスのマッチングが難しいことも以前より聞いています。そのあたりはどうでしょうか。
シルバー人材センター	生活援助訪問事業で登録していただいている方は30名ほどですが、実際に活動していただいている方は3~4名です。20名以上に声をかけても、他の仕事をしている、遠いなどの理由で断られることが多いです。地域包括支援センターからお話を頂いてもサービス提供できないこともあります。 また、今年度の5月の生活支援員養成研修の申込者数は38名でしたが、昨年度は60数名いたので半減しており、新しく登録していただく方も減少しているのが現状です。
大阪高齢者生活 協同組合	現在の生活支援員の登録は90名、稼働は30名。6月のサービス提供は49名で時間では164.5時間です。9割以上が掃除の依頼です。継続した経営を考えると、最低賃金の上昇や雇用保険、設備維持の経費等もあるので80~90件が最低ラインであり、それ以下であれば赤字経営となります。 また、訪問介護に関しては、今後身体介護が中心になってくることを考えると専門スキルを上げて対応していく必要があります。そのためには、市も一緒になってスキル向上に向けて考えていく必要があると考えています。
司会 (地域包括ケア推進課)	生活支援員の減少に対しては、今年度中に生活支援員養成研修修了者全員を対象としたフォローアップ研修の実施を予定しています。 今後、訪問介護は身体介護が中心になってくることを考えると、身体介護ができる訪問介護員の養成が必要であると思います。これは、事業所単独で考えていくのではなく、市や事業者会、各種連絡会等が協力していきたいと考えています。 それでは、案件2に移りたいと思います。
事務局説明	<u>資料2-1</u> 元気づくり・地域づくり会議の設置状況 <u>資料2-2</u> 元気づくり・地域づくりプロジェクトの地域課題・取り組みについて <u>資料2-3</u> 元気づくり・地域づくりコーディネーターアンケート集計結果について <u>資料2-4</u> 平成29年度元気づくり・地域づくりプロジェクト活動内容
司会 (地域包括ケア推進課)	今年度の10月か11月頃に各校区の活動情報の共有等を目的に活動内容に関して発表や意見交換をしたいと考えていますがいかがでしょうか。
	出席者全員異議なし。

司会 (地域包括ケア推進課)	異議がないようなので開催に向けた準備を進めていきたいと思います。また、その中でパネルディスカッション等があれば第1層協議体メンバーの皆様のご協力をお願いすることもあると思いますがご協力よろしくお願いします。 続きまして、地域の方で出席されている方にお尋ねしたいのですが、まず津田校区で取り組まれている福祉大学について具体的な取り組みについて少しお聞きしたいと思います。
枚方市 コミュニティ連絡協議会	福祉大学では校区福祉委員が中心で取り組んでいるので詳しい内容までは把握していませんが、できる限り高齢者の参加者を増やそうと福祉委員会と共同して企画をしていますが、なかなか難しいと感じています。また若い方に関しても自治会活動に参加してもらえない状況であり、これらが課題と考えています。
司会 (地域包括ケア推進課)	ありがとうございます。続きまして、菅原東校区で取り組まれています、コミュニティサロンにおける参加者及びグループ別の参加者を対象に皆勤賞を授与していると思いますが、その点についてお話をお聞きしたいと思います。
枚方市民生委員 児童委員協議会	菅原東校区では、コミュニティサロンにおける活動支援として、ラーメン体操や歌に合わせての体操などゲーム感覚で楽しくできる場所と考え実施しています。また、小さい時に経験したラジオ体操の皆勤賞など楽しかったことを取り入れようと、皆勤賞等も取り入れ参加者の皆様は喜ばれています。他にも、たくさんのブースがあるようなイベントでは、すべてのブースを回ってもらうために、イベントの最後に抽選会を行うなど工夫して実施しています。
司会 (地域包括ケア推進課)	ありがとうございます。続きまして樟葉南校区での取り組みとして、高齢者のリストを作成されたということですが具体的に教えて頂いてもよろしいでしょうか。
枚方市校区 福祉委員会協議会	樟葉南校区では、実態把握とニーズ調査を目的に、校区内全自治会が高齢者の調査とリストの作成に取り組み、自主防災会と共同して全世帯に家族構成調査を行っています。その中で管理を行うという活動です。また、何かあったときに誰に連絡を取ったらよいかなども把握しています。調査は同意をもとに行っており 90%以上の同意を取っています。
司会 (地域包括ケア推進課)	それでは、次の案件のその他に移りたいと思います。その他として、高齢者居場所づくり事業のアンケート結果及び設置状況についてご報告させていただきます。
事務局説明	参考資料 ・高齢者居場所づくり事業実施状況 アンケート集計結果（平成29年度） ・高齢者居場所づくり事業 登録及び補助金交付申請の手引き ・高齢者居場所づくり事業 登録一覧
司会 (地域包括ケア推進課)	何かご意見等はございますか。
枚方市校区 福祉委員会協議会	確認ですが、ゲートボール等の集まりは申請可能でしょうか。
司会 (地域包括ケア推進課)	高齢者居場所の要件を満たしていれば申請可能です。 しかし、同じ校区ですでに2か所以上に補助金交付されている場合は、次回の第1層協議体にて皆様のご意見を頂きたいと思います。 また、居場所の要件の改定に関しては広報にて周知していこうと考えております。

枚方市通所・訪問 リハビリテーション 連絡協議会	はじめて来られている方もいるので、第1層協議体、第2層協議体の役割を整理して伝えて頂けますでしょうか。
司会 (地域包括ケア推進課)	先ほどの案件2であったように、地域ごとで課題は見えてきています。これらの課題に対して市全体で必要な施策等に関して第1層協議体で意見交換しながら施策化に向けて具体的に進んで行きたいと思いますが、まだ取り組みが始まったばかりであり、当分の間は第1層協議体では情報共有していけたらと思っております。 今後は、第1層協議体では、地域の課題に対して市全体で取り組んでいく方向性等を検討したいと思っておりますのでご協力お願いします。
枚方市校区 福祉委員会協議会	意見が2点あります。1点目は、高齢者居場所づくりに関して、多い地域に補助金を交付しないということはおかしいと考えています。なぜならば、熱心に活動しているところはだめだということになるのではないのでしょうか。限定すること自体が良くないと思います。2点目は、居場所の運営費を市として考えるべきであると思います。
司会 (地域包括ケア推進課)	高齢者の居場所の数に関してですが、予算の関係で100か所としていますが、100か所であればいけないということではないと考えています。また、先着順となっているので、高齢者居場所の少ない地域を先に進めていきたいと考えています。ランニングコストに関しては、アンケートにも入れさせていただいたが、さらに、居場所を見に行く等しながら考えていきたいと思います。
枚方市老人クラブ 連合会	超高齢社会になり、今後高齢者はどんどん増加してくることが分かっている。その中で自立を目指すことは重要ではあると思います。 しかし、介護職の育成の重要性は変わらない。その中で、看護師の大学学部は増加しているが介護の大学学部が減少している中においては、全ての対応に関して各団体で実施する時代は終わっていると思います。市等と共同して底上げしていくことが重要だと感じています。
枚方市訪問 介護事業者会	介護福祉士の養成校に関して、11年間で33校が閉校しています。平成18年の入学者19,200人でしたが、平成28年には7,700人と6割も減っている状況です。求人者数はここ5年で1.8倍になり83,000人に急増しているが、実際就職する人は3割減少しています。この状況の中、高齢者はどんどん増えていっている。この状況を考えると人材育成等市と協力して進めていく必要があると考えています。
枚方市特別養護 老人ホーム施設長会	介護の仕事のイメージは3Kとなっている状況。今の学生はどこを目指しているかというと看護師や理学療法士、作業療法士と思われます。介護福祉学部が減少し、医療系学部へと変わっている状況があります。 また、親のイメージとして自分の子供が福祉学部を目指すことへの不安があることもあります。そのようなイメージが生まれないようにしていきたいが各団体が頑張っても限界があります。処遇改善加算だけでも限界を感じます。市等とタッグを組んで介護業界全体のイメージアップを図れないだろうかと考えています。

司会 (地域包括ケア推進課)	事業者、団体、市とそれぞれ単体で動くのではなく、みんな一緒に同じ方向を向いてひとつずつやっていくことが大切であると考えています。その中には、地域の協力も重要であると考えておりますので皆様のご協力をお願い致します。 まだまだ皆様のお話をお伺いしたいところではございますが、そろそろお時間となりましたので、これで平成30年度第1回第1層協議体を終了いたします。 本日はどうもありがとうございました。
---------------------------	--